

官報

號外

大正十四年三月十三日 金曜日

內閣印刷局

第五十回衆議院議事速記録第二十六號

大正十四年三月十二日(木曜日)午後一時二十八分開議

議事日程 第二十五號

大正十四年三月十二日

午後一時開議

- 第一 大正三年臨時事件ニ關スル臨時軍事費特別會計ノ終結ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第三 鐵板ノ輸入稅ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第四 大正十三年法律第二十四號中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第五 關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入稅免除ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
- 第六 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
- 第七 醫師法中改正法律案(神部爲藏君外六名提出) 第一讀會
- 第八 登錄稅法中改正法律案(猪野毛利榮君外一名提出) 第一讀會
- 第九 大正十一年法律第六十號中改正法律案(增田義一君外四名提出) 第一讀會
- 第十 會計士法案(高木益太郎君外一名提出) 第一讀會
- 第十一 國幣中社眞清田神社陸格ニ關スル建議案(服部英明君提出)
- 第十二 高等師範學校設置ニ關スル建議案(佐々木春作君外三名提出)
- 第十三 國立公園調査會設置ニ關スル建議案(鈴木隆君外四名提出)

- 第十四 國立公園調査ニ關スル建議案(小西和君提出)
- 第十五 磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案(八田宗吉君外一名提出)
- 第十六 日光國立公園設置ニ關スル建議案(高橋元四郎君外二名提出)
- 第十七 琵琶湖ヲ中心トスル國立公園設置ニ關スル建議案(兼松寅太郎君外二名提出)
- 第十八 瀬戸内海ヲ中心トスル國立公園設定ニ關スル建議案(山下谷次君外一名提出)
- 第十九 本州ト島嶼間ノ交通ニ關スル建議案(吉川清君提出)
- 第二十 拓殖省設置ニ關スル建議案(牧山耕藏君外十三名提出)
- 第二十一 貴生川加茂間鐵道速成ニ關スル建議案(高井面二君外三名提出)
- 第二十二 淡水魚族増殖施設ニ關スル建議案(藤澤萬九郎君外一名提出)
- 第二十三 苫小牧廣尾間鐵道速成ニ關スル建議案(手代木隆吉君外一名提出)
- 第二十四 京極紋隆間及京極壯曾間鐵道速成ニ關スル建議案(手代木隆吉君外一名提出)
- 第二十五 速記ノ事項ヲ國定教科書ニ記載ニ關スル建議案(作間耕逸君外二名提出)
- 第二十六 下關漁港速成ニ關スル建議案(秋田寅之介君外一名提出)
- 第二十七 高等工業學校設置ニ關スル建議案(柳仲次郎君外六名提出)

- 第二十八 北海道高等學校設置ニ關スル建議案(柳仲次郎君外六名提出)
- 第二十九 刑餘者ニ對スル法令ノ差別待遇撤廢ニ關スル建議案(原夫次郎君外四名提出)
- 第三十 生計調査ニ關スル建議案(加藤綱一君提出)
- 第三十一 日南鐵道東部線速成ニ關スル建議案(山道襄一君提出)
- 第三十二 酒田、觀音寺及直室川間鐵道敷設ニ關スル建議案(熊谷直太君外四名提出)
- 第三十三 今泉坂町間鐵道起點變更ニ關スル建議案(石塚三郎君外四名提出)
- 第三十四 借家人ノ利益保護ニ關スル建議案(廣瀬德藏君外四名提出)
- 第三十五 鳥栖長尾間鐵道建設ニ關スル建議案(加藤十四郎君提出)
- 第三十六 金鷲勳章年金令改正ニ關スル建議案(中野寅吉君外五名提出)
- 第三十七 鐵絲局設置ニ關スル建議案(武藤金吉君外六名提出)
- 第三十八 鐵絲織物ノ單科大學設置ニ關スル建議案(清水留三郎君提出)
- 第三十九 高等鐵絲學校建設ニ關スル建議案(岡本實太郎君外一名提出)
- 第四十 農業教育振興ニ關スル建議案(加藤知正君外一名提出)
- 第四十一 鳥栖白井間鐵道建設ニ關スル建議案(山内範造君外三名提出)
- 第四十二 野岩羽鐵道速成ニ關スル建議案(高橋元四郎君外二名提出)
- 第四十三 教員俸給支給法改定ニ關スル建議案(建部遊吾君提出)
- 第四十四 青森港ニ領事機關設置ノ交渉ニ關スル建議案(工藤鐵男君提出)

- 第四十五 敦賀港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案(河崎清君外一名提出)
 - 第四十六 伏木港ニ露國領事館設置ニ關スル建議案(石原正太郎君外四名提出)
 - 第四十七 酒類專賣ニ關スル建議案(湯淺凡平君提出) (委員長報告)
 - 第四十八 武道普及ニ關スル建議案(田中善立君外一名提出)
 - 第四十九 高等師範學校設置ニ關スル建議案(黑住成章君外二名提出) (委員長報告)
 - 第五十 青少年訓練實施ニ關スル建議案(田中萬逸君提出) (委員長報告)
 - 第五十一 高等師範學校設置ニ關スル建議案(柳仲次郎君外六名提出) (委員長報告)
 - 第五十二 鶴岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(齋藤直三郎君提出) (委員長報告)
 - 第五十三 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出) (委員長報告)
- 副議長(小泉又次郎君) 諸般ノ報告ガアリマス
〔書記官朗讀〕
一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
鐵板ノ輸入稅ニ關スル法律案 (以上三月十日提出)
大正十三年法律第二十四號中改正法律案(警澤中等ノ輸入稅ニ關スル件)
關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入稅免除ニ關スル法律案 (以上三月十一日提出)
一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
刑餘者ノ資格ニ關スル法律案

官報號外 大正十四年三月十三日(明治三十五年第三種郵便物認可) 衆議院議事速記録第二十六號 議長ノ報告

提出者 袴 苗代君 鳩山 一郎君

借家法中改正法律案 提出者 作間 耕逸君 廣瀬 徳藏君

森田 茂君 (以上三月十日提出)

高等繻絲學校建設ニ關スル建議案 提出者 齋藤 隆夫君 小寺 謙吉君

中馬 興九君 川崎安之助君

農會法中改正ニ關スル建議案 提出者 高田 松平君 西村丹治郎君

齋藤眞三郎君 鹽田 團平君

松本糸魚川間鐵道速成ニ關スル建議案 提出者 長田 桃藏君 高鳥 順作君

陸軍現役除隊者ニ軍服支給復活ニ關スル建議案 提出者 高鳥 順作君 大竹 謙治君

松井 郡治君 高見 之通君

開墾助成ニ關スル建議案 提出者 荒川 五郎君 高田 松平君

長田 桃藏君 有馬 頼寧君

三輪市太郎君 池田 龜治君

土井 權大君 岡田 溫君

松山兼三郎君 湛増 庸一君

庄原區裁判所管轄區域變更ニ關スル建議案 提出者 渡邊 伍君 嶋居 哲君

吉田 眞策君 (以上三月十日提出) 新舞鶴港ノ商港指定ニ關スル建議案 提出者 村上 國吉君 (以上三月十一日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ如シ

永樂銀行支拂停止ニ關スル質問主意書 提出者 筒井氏次郎君 (以上三月十日提出)

山林政策ニ關スル質問主意書 提出者 村山喜一郎君 (以上三月十一日提出)

一去十日政府ヨリ受領シタル答辯書左ノ如シ 衆議院議員三善清之君提出港灣行政統

一ニ關スル質問ニ對スル答辯書 港灣行政統一ニ關スル質問主意書 右成規ニ據リ提出候也 大正十四年三月二日 提出者 三善 清之

港灣行政統一ニ關スル質問主意書 一通商貿易上ノ機關及其ノ行政事務ヲ統

一シテ英國ノ如クニ内閣直屬ノ下ニ港灣行政廳ヲ特設シテ目下内務大藏兩省其

ノ他地方廳等分掌ノ制度ヲ改廢シ其ノ便益ヲ企畫スルノ意思ナキヤ

一本邦ニ於テモ自由港制度ヲ設クルノ意思ナキヤ

一内地及殖民地ノ鐵道新線ノ完成ニ從ヒ交通網ノ變化ヲ來シ之ヲ連絡機關ニ供

スル港灣ノ修補又ハ新設ハ國策上政府直轄國費ヲ以テ工事ヲ施行スルノ意思

ナキヤ 一河川法及道路法鐵道法等ノ法規ハ既ニ具備セリ然ルニ我カ邦未ダ港灣法ノ制定ナキハ行政上ノ一大缺陷ナリト認ム

之ニ對スル政府ノ所見如何 右及質問候也 大正十四年三月十日 内閣總理大臣 子爵加藤 高明 衆議院議長 粕谷義三殿

衆議院議員三善清之君提出港灣行政統一ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候 (別紙) 内務省衆土第三號

衆議院議員三善清之君提出ニ係ル港灣行政統一ニ關スル質問答辯書

一港灣ニ關スル行政事務ノ統一ニ關シテハ政府ハ常ニ意ヲ用ヒツアルトコロニシテ最近ニ於テハ之カ爲メニ内務省所管

府縣港務部ノ事務ノ一部及農商務省所管植物檢査ノ事務ヲ稅關ニ移シ以テ目

的達成ノ一端ヲ實現シタリ而シテ港灣ニ關スル行政事務ハ其ノ内容ニ於テ各

般ノ事務ヲ包含シ其ノ性質上各省所管事務ト實質離ルヘカラサルノ關係ヲ有

スルモノアリテ其ノ凡テノ事務ニ就キ各省ヨリ分離シテ獨立行政廳ヲ特設ス

ルハ却テ事務ノ複雜ヲ來シ延イテハ行政ノ敏活ヲ缺キ一般ノ利便ヲ阻害スル

ノ虞ナシトセス目下政府ニ於テハ質問ノ如キ内閣直屬ノ特設官廳ヲ置クノ意思ヲ有セス

一自由港制度ハ主トシテ仲繼貿易ヲ發達セシムル爲メ設ケラル、モノナルモ我國

ニ於テハ之カ爲メニ保税倉庫及假置場等ノ制度アリ且我仲繼貿易ノ實況ニ鑑ミ

自由港制度ハ現行制度ニ比シ必スシモ適實ナリト認メ難シ仍テ政府ハ目下自

由港制度ヲ採用スルノ意思ヲ有セス 一我國港灣修築政策ニ關シテハ曩ニ港灣

調査會ニ諮詢シテ北海道ヲ除キ全國ニ互リ第一種重要港及第二種重要港通シ

テ二十四港(別表參照)ヲ選定シ第一種重要港ハ國費ヲ以テ修築シ第二種重要港ハ地方ノ經營ニ任シ國ハ財政上ノ都合ニ依リ之ニ助力ヲ與フルコト、シ既

北海道ノ諸港ニ付テモ其ノ主要ナルモノニ關シテハ既ニ其ノ工ヲ竣ヘ又現ニ施行中ニ屬スルモノアルモ尙今後必要

ニ應シ財政ノ如何ヲ考慮シテ之カ實行ヲ期セムトス

一港灣法ニ付テハ夙ニ其必要ヲ認メ目下内務省ニ於テ調査中ニ屬スルモ未タ議會ニ提案ノ運ニ至ラス

右及答辯候也 大正十四年三月十日 内閣總理大臣 加藤 高明 内務大臣 若槻禮次郎 大藏大臣 濱口 雄幸

第一種重要港 神戶港 門司港 下關港 敦賀港 橫濱港

第二種重要港 鹽釜港 新潟港 長崎港 清水港 境港 高松港 今治港 小松島港 鹿兒島港 伏木港 青森港 四日市港 名古屋港 那覇港 船川港 大阪港 若松港 伊萬里 東京

一去十日加藤内閣總理大臣ヨリ粕谷本院議長宛大正十一年度國有財産増減總計算書及之ニ添付スヘキ各省ノ同増減報告書並會計檢査院檢査報告ヲ受領セリ

一昨十一日貴族院ニ於テ本院ノ送付ニ係ル左ノ議案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

輸出組合法案(政府提出) 重要輸出品工業組合法案(政府提出) (左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲

茲ニ掲載ス) 去十日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如

如シ 漁業財團抵當法案委員 吉原 義雄君 澤田 利吉君

山本 勝次君 千葉宮次郎君

中村 嘉壽君 渡邊 伍君

中村 清造君 堤 清六君 高草美代藏君

大正十二年度第一豫備金支出ノ件外七件
(承諾ヲ求ムル件)委員

高木益太郎君 中馬 興丸君
小島 七郎君 菅原 英伍君
服部 英明君 中野 猪之助君
藏園三四郎君 井上 虎治君
加藤 謙五郎君 志村 清右衛門君
長峰 與一君 小野 義一君
野田 俊作君 藤川 清助君
嶋居 哲君 竹内 友治郎君
小川 郷太郎君 小橋 謙三衛君
治安警察法中改正法律案委員

作間 耕逸君 内ヶ崎 作三郎君
信太儀右衛門君 高木 正年君
原 夫次郎君 原 惣兵衛君
吉田 眞策君 有馬 頼寧君
松本 君平君

北海道農地特別處理法案委員
一柳 仲次郎君 淺川 浩君
奥村 千藏君 栗林 五朔君
奥野 小四郎君 齋藤 珪次君
松實喜代太君 坂東 幸太郎君
土井 權大君

新聞紙法中改正法律案委員
橫山 金太郎君 淺賀 長兵衛君
石川 安次郎君 工藤 鐵男君
由谷 義治君 河野 曉君
清水 長郷君 工藤 十三雄君
伊坂 秀五郎君 前田 兼實君
牧山 耕藏君 安藤 正純君
山口 政二君 志賀 和多利君
山崎 達之輔君 山下 谷次君
山本 慎平君 山本 芳治君
一去十日鐵道敷設法中改正法律案委員
坂豐 一君 辭任ニ付其ノ補闕トシテ秋田寅
之介君ヲ、教育ノ機會均等ニ關スル建議
案委員若尾 幾太郎君 辭任ニ付其ノ補闕ト
シテ西方利馬君ヲ、染料製造獎勵ニ關ス
ル法律案委員山本 芳治君、大里 廣次郎君
辭任ニ付其ノ補闕トシテ土井 權大君、橋
本 喜造君ヲ、鹽ノ賠償價格均衡ニ關スル
建議案委員戶澤 民十郎君 辭任ニ付其ノ補

關トシテ高島兵吉君ヲ執レモ議長ニ於テ
選定セリ

一昨十一日鐵道敷設法中改正法律案委員
大石 大君 辭任ニ付其ノ補闕トシテ井出 繁
三郎君ヲ、裁判所構成法中改正法律案委
員山田 道兄君 辭任ニ付其ノ補闕トシテ高
木 益太郎君ヲ、明治三十二年法律第七十
號中改正法律案外三件委員齋藤 太兵衛君
辭任ニ付其ノ補闕トシテ武内 作平君ヲ、
染料製造獎勵ニ關スル法律案委員土井
權大君、山本 厚三君 辭任ニ付其ノ補闕ト
シテ馬場 義興君、澤田 利吉君ヲ、漁業財
團抵當法案外二件委員澤田 利吉君、千葉
宮次郎君 辭任ニ付其ノ補闕トシテ一柳 仲
次郎君、青山 憲三君ヲ執レモ議長ニ於テ
選定セリ

一去十日理事補闕選舉ノ結果左ノ如シ
鐵道敷設法中改正法律案
理事 秋田 寅之介君 (理事石坂 豐一君
補闕)
染料製造獎勵ニ關スル法律案
理事 馬場 義興君 (理事山本 芳治君補
闕)

一昨十一日委員長及理事互選ノ結果左ノ如
シ
漁業財團抵當法案外三件
委員長 吉原 義雄君
理事 中村 清造君
大正十二年度第一豫備金支出ノ件外七件
委員長 小野 義一君
理事 小川 郷太郎君

治安警察法中改正法律案外三件
委員長 作間 耕逸君
理事 吉田 眞策君
北海道農地特別處理法案
委員長 齋藤 珪次君
理事 奥村 千藏君
新聞紙法中改正法律案
委員長 橫山 金太郎君
理事 山本 慎平君
安藤 正純君
山本 芳治君

一昨十一日常任委員補闕選舉ノ結果左ノ如
シ

第九部選出
諸願委員 永井 作次君 (吉良 元夫君補
闕)
○副議長(小泉 又次郎君) 諮問事項ガアリ
マス。是ヨリ會議ヲ開キマス、諮問事項
ガアリマス、町野 武馬君 病氣ニ付、三月十
日ヨリ十九日マデ、吉松 忠敬君 病氣ニ付、
三月十二日ヨリ三月二十三日マデ、請假ノ
申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマ
セヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○副議長(小泉 又次郎君) 御異議ナケレバ
許可致シマス、尙ホ諸君ニ御斷リ致シテ置
キマス、本議場ノ空氣其他衛生上ノ試驗ヲ
スル爲メ、係リノ者ヲ數名入場致サセマス、
尙ホ今後時々此試驗ヲ行ヒマスカラ、左様
御承知置テ願ヒマス。日程第一、大正三
年臨時事件ニ關スル臨時軍事費特別會計ノ
終結ニ關スル法律案ノ第一讀會ヲ開キ、政
府委員ノ趣旨辯明ヲ求メマス。濱口 大藏
大臣

第一 大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費特別會計ノ終結ニ關スル法律
案(政府提出) 第一讀會
大正三年臨時事件ニ關スル臨時軍事費
特別會計ノ終結ニ關スル法律案
第一條 大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費特別會計ノ年度ハ大正十四年四
月一日ヲ以テ終結ス
第二條 大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費特別會計ノ歳入歳出ノ出納ニ關
スル事務ハ大正十四年七月三十一日迄
ニ悉皆完結スヘシ
第三條 大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費ノ支辨ニ係ル工事、製造又ハ物
品ノ買入若ハ運搬ノ經費ニシテ其ノ會
計年度内ニ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ
支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ使
用スルコトヲ得一時賜金ノ支出ヲ終ラ
サルモノニ付亦同シ

第四條 前條ニ規定シタルモノヲ除クノ
外大正三年臨時事件ニ關スル臨時軍事
費支辨ノ諸費ニシテ既ニ契約ヲ爲シ又
ハ支拂ノ義務ヲ生シ其ノ會計年度内ニ
支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ
豫算額ヲ一般會計ニ移シ使用スルコト
ヲ得
第五條 大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費特別會計ニ於テ歲計ニ剩餘アル
トキハ之ヲ一般會計ノ歳入ニ繰入ルヘ
シ
第六條 大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費特別會計ノ歳入歳出決算ニシテ
大正十二年九月ノ震災ニ因リ成規ノ様
式ニ依ルコト能ハサルモノニ付テハ特
別ノ様式ニ依ルコトヲ得
第七條 政府ハ大正三年臨時事件ニ關ス
ル臨時軍事費特別會計ノ歳入歳出決算
ヲ調整シ大正十四年度歳入歳出ノ總決
算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
〔國務大臣濱口 雄幸君登壇〕
○國務大臣(濱口 雄幸君) 只今議題トナリ
マシタ大正三年臨時事件ニ關スル臨時軍事
費特別會計ノ終結ニ關スル法律案ニ付テ、
大體ノ說明ヲ申上ゲマス、本會計ハ御承知
ノ通り大正三年臨時事件ニ關スル臨時軍事
費ヲ一般ノ政費ト區別シテ、特別ニ整理ス
ル爲ニ設ケラレタルモノデアリマシテ、事
件ノ終局マデ一會計年度トシテ取扱フコ
トニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ右臨
時事件ハ數年前大體終了致シマシテ、之ニ
關スル經費ハ最早特別會計トシテ區分整理
スルノ必要ナキニ至リマシタルニ依リ、本
會計ハ夙ニ之ヲ閉鎖スベキデアッタニモ拘
ラズ、今日マデ之ヲ延期致シテ居リマシタ
ノハ、主トシテ其財源調達ノ困難ナリシガ
爲デアリマス、即チ本會計ノ財源ヲ公債又
ハ借入金ニ待ツベキ額五億五千五百餘万圓
ノ中、一億四百餘万圓ハ我國經濟界ノ狀況
ガ公債ノ發行ニ不利デアリマシタ關係上、
未ダ調達ノ運ビニ至ラナクッタガ爲ニ、已

大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費特別會計ノ終結ニ關スル法律
案(政府提出) 第一讀會
大正三年臨時事件ニ關スル臨時軍事費
特別會計ノ終結ニ關スル法律案
第一條 大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費特別會計ノ年度ハ大正十四年四
月一日ヲ以テ終結ス
第二條 大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費特別會計ノ歳入歳出ノ出納ニ關
スル事務ハ大正十四年七月三十一日迄
ニ悉皆完結スヘシ
第三條 大正三年臨時事件ニ關スル臨時
軍事費ノ支辨ニ係ル工事、製造又ハ物
品ノ買入若ハ運搬ノ經費ニシテ其ノ會
計年度内ニ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ
支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ使
用スルコトヲ得一時賜金ノ支出ヲ終ラ
サルモノニ付亦同シ

ムナク一時國庫金ヲ流用シテ、一時ヲ彌縫シ來タノデアリマス、然ルニ政府ハ來年度ヨリ補助貨幣改鑄基金ノ中ヲ以テ、新ニ教育改善及農村振興基金ヲ設置スルコトヲ計畫致シマシタノデ、此基金ノ中カラ本會計ノ資金調達未済額一億四千萬圓ヲ借入レ、以テ大正十四年四月一日限り本會計ヲ閉鎖スルコト、致シ、茲ニ大正十三年九月以來十年ノ久シキニ互テ存積致シマシタ所ノ臨時軍事費特別會計ニ向テ、終局ヲ告ゲシムルコト、致シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上速ニ協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告ガアリマス——武藤山治君

(武藤山治君登壇)

○武藤山治君 本案ハ本會議ノ當初ニ於キマシテ、濱口大藏大臣ヨリ大正十四年度歳入總預算ヲ御紹介ニ相成ル際ニ、政府ノ財政計畫ノ大體ヲ御説明ニナリマシタ其中ニ、臨時軍事費特別會計ノ一般會計ニ移ス御計畫ニ在リ、其御一端ヲ漏サレテ居ル所ノ御説明ヲ承リマス、茲ニ藏相ノ御説明ヲ仰ギタイノハ、斯ノ如キ重大ナル議案ニ對スル大藏大臣ノ御説明ガ甚ダ物足りナク感ズルノデアリマス、此臨時軍事費ノ總額ニ付キマシテハ、私ハ此所ニ綿密ナル數字ヲ手ニシテ居リマセヌケレドモ、私ノ承知致シテ居リマス所デハ、少クモ八億圓以上ニ上テ居ルト承テ居ルノデアリマス、諸君、八億圓ト云フ金ハ我國ノ資本ノ狀態ニ於キマシテハ、大ナル資本デアリマス、我國ニ於ケルニ大工業タル蠶絲業ト紡績業ガ、明治初年ヨリ今日マデ積立テマシタ積立金ト資本金ト合計致シマスルト、正ニ八億圓ニ達シテ居ルノデアリマス、故ニ此臨時軍事費トシテ支出サレタ金ガ若シハ億圓ニ達シテ居リマスルナラバ、此臨時軍事費トシテ我國ノ費消シタ金ト云フモノハ、日本ノ二大事業ノ資本金ト積立金トニ匹敵スル所ノ大ナル金額デアリマス、斯ノ如キ重大ナル議案ニ對シマシテ、而モソレ

ガ大正三年カラ今日マデ十餘年ノ久シキニ及ビ、此度ソレガ漸ク一般會計ニ移サレテ、又一般會計ニ移スコトニナタ後モ、尙ホ追加豫算ヲ以テ一億四千萬圓ノ公債ヲ募集シテ、是ガ完結ヲ御告ゲニナルト云フコトニ付テハ、私ハ此場合ニ於テ濱口大藏大臣ハ、今少シク大正三年以來ノ臨時軍事費ノ内容ニ付テ、深切ニ吾々ノ前ニ私ハ御説明ニ相成テ、サウシテ本法律案ノ協賛ヲ御求メニナルノガ至當デナイカト思フノデアリマス、勿論委員會ニ於テ詳細ナル御説明ガアルト考ヘマスケレドモ、八億圓或ハ九億圓ニモ互テ居ルヤウナ金額デアリマシタナラバ、諸君ハ此本會議ノ席上ニ於テ、大藏大臣カラ今少シク詳細ノ御説明ヲ私ハ御聽キニナルコトガ必要ト考ヘルノデアリマス、故ニ私ハ詳細ノ御説明ハ委員會ニ御譲リニナテ結構デアリマスケレドモ、此八九億圓ニ互ル臨時軍事費ト云フモノガ、陸海軍ノ間ニ如何ナル方面ニ向テ消費サレタカ、少クモ青島ノ戰爭ニハ何程ヲ費シタカ、西伯利亞陸路、其他各方面ニ如何ナル方法ニ依テ費サレテ居ルカ、又今日追加豫算トシテ要求サレル所ノ一億四千萬圓ト云フモノハ、何ガ故ニ今日マデモ此臨時軍事費ノ會計ガ未解決ニ居タカ、斯ウ云フヤウナ事ニ付テ詳細ノ御説明ガアルノガ私ハ必要デナイカト思フノデアリマス、勿論本法律案ノ第七條ニ「政府ハ大正三年臨時事件ニ關スル臨時軍事費特別會計ノ歳入歳出決算ヲ調製シ大正十四年度歳入歳出ノ總決算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ」ト云フコトハ規定シテアリマス、併ナガラ若シ其大正十四年度ノ總決算ヲ帝國議會ヘ御出シニナル時ヲ待タツトスレバ、今後兩三年ノ後ニナル、苟モ國民ノ費用ヲ八九億圓モ支出シタ所ノ此大ナル臨時軍事費特別會計ニ對シテハ、大藏大臣トシテハ此際今少シク私ハ嚴密ナル御説明ヲ承リタイト考ヘルノデアリマス

○國務大臣(濱口雄幸君) 只今武藤君ノ御質問ニ對シマシテ大體ノ御答ヲ致シマス、臨時軍事費此會計ノ總額デアリマスガ、最初ヨリ大正十四年一月十五日ニ至リマスルマデノ勅裁済ノ金額、並ニ大正十三年度中ニ於ケル所ノ支出ノ見込額ヲ合計致シマスルト云フト、其金額ハ八億九千九百萬九千七百九十九圓ニシテ陸海軍ニ於ケル所ノ内譯ヲ申シマスレバ、陸海軍所管ニ於テ六億四千九百萬圓、海軍省所管ニ於テ二億五千八百餘萬圓デアリマス、陸軍省關係ノ内譯ヲ大體申上ゲマスレバ六億四千餘萬圓ノ中、青島關係ガ約七千七百餘萬圓、西伯利亞關係ガ約四億八千八百餘萬圓、陸路關係ガ約六千六百餘萬圓、間島及朝鮮關係ガ約九百萬圓ト云フ内譯ニナテ居リマス、海軍省ニ付キマシテモ其内譯ハ分テ居リマスケレドモ、是ハ其方面ガ大分澤山ノ方面ニ分レテ居リマシテ、一々讀上ゲマスコトハ却テ煩雜ニ互ル虞ガアルト考ヘマスカラ、是等ノ點ニ付キマシテハ何レ委員會ニ於キマシテ詳細ニ説明ヲスルコトニ致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 日程第二、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○井本常作君 本案ハ委員ノ數ヲ特ニ二十八名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス——日程第三乃至第五ノ同種議案デアリマスルカラ、一括議題トスルニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ日程第三、鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案、日程第四、大正十三年法律第二十四號中改正法律案、日程第五、關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入税免除ニ關スル法律案ヲ一括シ、其一讀會ヲ開キ、政府ノ趣旨辯明ヲ求メマス——濱口大藏大臣

第三 鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案 (政府提出) 第一讀會

鐵板ノ輸入税ニ關スル法律案

關稅定率法別表輸入税表中第四百六十二號第四項甲ノ三イノ内珪素鋼板(珪素ノ重量カ全重量ノ百分ノ一以上ノモノ)並同項乙ノ一イ及同項乙ノ二ニ掲クル物品ノ輸入税ハ當分ノ内同輸入税表ニ依ラス別表ニ依ル

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

品名	單位	稅率
輸入稅表番號		
四六二鐵板		
甲 金屬ヲ鍍セサルモノ		
甲ノ三 其ノ他		
イ 厚〇・七ミ		
リノ一ト		
ルヲ超エ		
サルモノ		
ノ内珪素		
鋼板(珪素ノ重量カ全重量ノ百分ノ一以上ノモノ)		
乙 卑金屬ヲ鍍シタルモノ		
乙ノ一 錫鍍シタルモノ(葉鐵及葉鋼)		
イ 尋常ノモノ		
ノ		
同		
乙ノ二 電鍍シタルモノ(波		

〇・七〇

形ト否トヲ別
タス) 從價一割八分
備考 從價稅率ノ單位ハ圓トス

第四 大正十三年法律第二十四號中改

正法律案(政府提出) 第一讀會
大正十三年法律第二十四號中改正法律
案
大正十三年法律第二十四號中左ノ通改正

ス
同法ニ左ノ二項ヲ加フ

切リ若ハ磨カサル番石若ハ半貴石又ハ工
ヲ加ヘサル琥珀ニシテ機械用品又ハ工業
用品ノ製造ニ供スルモノニハ命令ノ定ム
ル所ニ依リ本法ニ依ル輸入稅ノ一部ヲ免
除スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ輸入稅ノ免除ヲ爲ス場
合ニ於テハ輸入ノ際免除スヘキ稅金ニ相
當スル擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

別表輸入稅表番號第三十二號ノ項中「紅
茶粉ヲ除ク」ヲ「紅茶粉及包種茶ヲ除
ク」ニ改ム

同第九十四號ノ項ヲ左ノ如ク改ム
九四ノ内化學試驗用ハイドパウダー
以外ノ皮毛骨角齒牙甲殼類製品
(別號ニ掲ケサルモノ)

同第九十五號ノ項中「芳香性ノモノ」ノ下
ニ「大茴香油、桂皮油、桂葉油、シトラ
ネラ油、スパイク油、レモングラス油、
シダー油、流動蘇合香、ジンジャグラス
油、カエプト油、タイム油、ユーカリプ
ラス油、ローズマリー油、ベイ油、カナン
ガ油、ラウエンダー油、ゼラニウム油、
パルマローザ油、ブチゲレン油、パッチ
ェリ油、丁香油、アジヨールン油、ロー
ズウッド油、冬線油及日本藥局方所定ノ
白檀油ヲ除ク」ヲ加フ

第百三十四號、第百三十五號、第百三十
六號及第百三十七號ノ項ヲ削ル
同第二百二十九號ノ内ノ項中「人造香料」
ノ下ニ「リナリールアセテート、ベンヂ
ールアセテート、アミルサリシレート、イ

オノーン、タービネオール及ベンヂル
ルコールヲ除ク」ヲ加フ

同第二百九十九號ノ項中「四十キログラ
ムヲ七十キログラム」ニ「總數三十」ヲ
「總數四十」ニ改ム

同第三百一號ノ項中「毛絹製ノモノ及毛
綿絹製ノモノ」ノ下ニ「絹ノ重量全重量
ノ百分ノ五ヲ超エサルモノヲ除ク」ヲ加
フ

同第三百四十七號ノ項中「手袋」ノ下ニ
「設謀製ノモノヲ除ク」ヲ加フ

同第三百五十五號ノ項中「設謀製ノモノ
ヲ除ク」ヲ「設謀製ノモノ及支那靴ヲ除
ク」ニ改ム

同第三百九十二號ノ項中「書畫」ノ下ニ
「轉寫用繪畫ヲ除ク」ヲ加フ

同第四百十二號ノ項中「寶石」ノ下ニ「機
械用又ハ工業用ニ供スル爲形ツクリタル
モノヲ除ク」ヲ加フ

同第四百十三號ノ項中「別號ニ掲ケサル
半貴石製品」ノ下ニ「切リ又ハ磨カサル
水晶及機械用又ハ工業用ニ供スル爲形ツ
クリタルモノヲ除ク」ヲ加フ

同第四百十五號ノ項ヲ左ノ如ク改ム
四一五 琥珀及機械用又ハ工業用ニ供
スル爲形ツクリタルモノ以外
ノ琥珀製品(別號ニ掲ケサル
モノ)

同第五百五十三號ノ項中「幅十一センチ
メートル未満ノモノ」ノ下ニ「但シ活動寫
眞用ノモノ、顯微鏡用ノモノ及航空機用
ノモノヲ除ク」ヲ加フ

同第五百五十四號ノ項中「幅十一センチ
メートル未満ノモノ」ノ下ニ「但シ活動寫
眞用ノモノ、顯微鏡用ノモノ及航空機用
ノモノヲ除ク」ヲ加フ

同第六百三十六號ノ項中「活動寫眞用ノ
モノヲ除ク」ヲ「活動寫眞用ノモノ及
エキス光線用ノモノヲ除ク」ニ改ム

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第五 關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入
稅免除ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入稅免除
ニ關スル法律案

關稅定率表別表輸入稅表ニ掲ケル物品ニ
シテ關東州ノ生産ニ係リ本法別表ニ掲ケ
ルモノノ輸入稅ハ之ヲ免除ス

前項ノ規定ニ依リテ輸入稅ノ免除ヲ受ク
ル物品ニ付テハ命令ノ定ムル所ニ依リ其
ノ關東州ノ生産ニ係ルモノナルコトヲ證
明スルコトヲ要ス

附則
本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(別表)
輸入稅
表番號

品名
三ノ内生菜
七ノ内綿羊革及山羊革(塗リタル
モノヲ除ク)

一四ノ二 甘草越葛斯
一四五 阿膠
一四六 ゼラチン
一五一ノ二 ブローム

一六五ノ内曹達灰
一六九 硫酸曹達
二〇四 ナフタリン
二二九ノ内硫酸マグネシウム及コ
ルタル分節物

二三〇ノ内コイルタルヲ主要原料
トシタル消毒劑
二七八ノ内苧麻絲及苧麻線
二八一ノ内黃麻絲及黃麻線

二八三 毛織絲
二八四 毛織織絲
二八六ノ内野蠶蠶綿
二八八ノ内野蠶紡績織絲

二八九ノ内野蠶綿
二九六ノ内苧麻
二九九ノ内黃麻布(關東州ノ生産ニ
係ル黃麻絲ヲ原料トシタルモノ)

三〇一ノ内天鵝絨プラウシユ其ノ他
ノパイル織物以外ノ毛織物及毛綿

交織物(關東州ノ生産ニ係ル毛織絲
又ハ毛織織絲ヲ原料トシタルモノ)

三一四内油布(關東州ノ生産ニ係ル
布帛及油ヲ原料トシタルモノ)

三二六ノ内毛製又ハ毛織製ノブラン
ケット(關東州ノ生産ニ係ル毛織絲
又ハ毛織織絲ヲ原料トシタルモノ)

四三二ノ内ボートラソドセメント
四三六ノ内耐火煉瓦
四三八 耐火性粘土製品(別號ニ掲
ケサルモノ)

四四一 硝子塊
四四二 硝子粉
四四四 硝子板

六一七ノ内骨炭(徑一、二五ミリメ
ートルノ圍眼ヲ有スル篩ヲ通過スル
モノヲ除ク)

(國務大臣濱口雄幸君發壇)
○國務大臣(濱口雄幸君) 鐵板ノ輸入稅ニ
關スル法律案ニ付テ大體ノ說明ヲ致シマ
ス、御承知ノ通り日英通商航海條約ニ依リ
マスル所ノ日英協定稅率ハ、三月十日限り
其效力ヲ失フコトニナリタリデリマス、然
ルニ該協定品目ノ中ニ於キマシテ、鐵板中
ノ或物ハ本邦ニ於テ其生産ガ十分デアリマ
セマガ爲ニ、協定稅率ノ失効ト共ニ、是等
ノ物品ニ對シ現行ノ國定稅率ヲ其儘適用ヲ
致シマスルコトハ、實際上不都合ヲ來シマ
スルト同時ニ、右鐵板ノ申或ル種類ノモ
ノ、稅率ハ、其原料品ニ對スル稅率ガ高ク
ナリマスル結果、内地産業ヲ維持致シマス
ル上ヨリシテ、原料品ノ稅率ト間ニ相當
權衡ヲ保タシムルノ必要ガアルノデアリマ
ス、仍テ是等ノ物品ノ稅率ニ付キマシテハ、
此際當面ノ急ニ應ジマスルガ爲ニ、適當ナ
ル稅率ヲ設クベキ必要ニ迫ラレテ居ルノデア
リマスカラ、茲ニ此法案ヲ提出致シタル次
第デアリマス、其次ニハ大正十三年法律第
二十四號中改正法律案ノ說明ヲ致シマス、
政府ハ昨年第四十九議會ノ協贊ヲ得マシ
テ、同年七月ヨリ發澤品等ノ輸入稅ニ關ス
ル法律ヲ施行致シタルデアリマス、其後本
法案施行ノ結果ニ徴シ、多少修正ヲ加フルノ

必要ヲ認メタノデアリマス、即チ是等ノ物品中ニハ、概括的ニ申セバ警備品デアリマシテモ、一面輸出品ノ原料トナルモノ、若クハ工業品ノ製造ニ供セラル、モノ、又ハ其一部ガ學術用品若クハ醫藥用品トナルモノ等ガ含まレテ居ルノデアリマス、斯ル物品ニ對シマシテ、例外ナシニ從價十割ト云フ高率ノ輸入税ヲ課シマスルコトハ、固ヨリ立法ノ精神デアリマセモノナラズ、國民生活上ハ勿論、輸出貿易ノ進展ヲ圖ル上ヨリ致シマシテ、是等物品ヲ同法ニ掲ゲテアリマス所ノ品目中ヨリ除外致シ、又ハ之ニ對シ相當免稅ヲ爲ス等、適當ニ緩和ノ途ヲ講ズルコトガ必要デアルト認メマスルガ故ニ、茲ニ此改正法律案ヲ提出致シマシタル次第デアリマス、最後ニ關東州ノ生産ニ係ル物品ノ輸入税免除ニ關スル法律案デアリマスルガ、御承知ノ通り關東州ハ帝國ノ租借地トナリマシタル以來、我が官民多年ノ結核經營ニ依リマシテ、經濟及産業上漸次進展ヲ遂ゲツ、アルノデアリマス、然ルニ同州内ニ生産セラレ、又ハ生産スルコトヲ得ベキ物品ノ中ニハ、内地ニ於テ需要セラル、モノガ相當存在スルノデアリマシテ、レドモ、現在ノ制度ニ於キマシテハ、關東州ハ本邦ノ關稅法域外ニ在ルノデアリマスカラ、同州ノ生産品ハ内地ニ於キマシテハ全ク外國品ト同様ノ課稅ヲ受クルコトニナツテ居ルノデアリマス、其結果ト致シマシテ、同州生産品ノ内地ヘノ輸入ハ頗ル不利ナル状態ニ在ルノデアリマス、斯様ナ次第デゴザイマスルカラ、内地ノ産業上支障ノ無イ限リ、成ベク此關稅ノ障礙ヲ撤去致シマシテ、我が必要ナル物資ノ補給ヲ圓滑ナラシメマスト同時ニ、租借地ノ産業開發ニ資スルコト云フコトハ、國策上肝要ナル事柄ト認メラル、ノデアリマス、以上ノ理由ニ依リマシテ、關東州ノ生産品中特殊ノ物品ニ對シマシテ、其輸入税ヲ免除スルコト、致ス爲ニ、此法案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒三案共ニ慎重御審議ノ上、速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シ多數

質疑ノ通告ガアリマス、其順序ニ依テ之ヲ許可致シマス——柏田忠一君

(柏田忠一君登壇)

○柏田忠一君 私人關東州ニ對スル特惠關稅法案ニ付テ政府三質問致シタイノデアリマス、先ツ質問ノ第一點ハ、現内閣ハ大陸政策ヲ執ルニ當リマシテ、從來統一政策ヲ執テ居タモノニ餘程ノ變化ヲ加ヘマシテ、又之ヲ元ニ戻シテ個々別々ニ引直サントスルノデハナイカト云フ疑ガアルノデアリマス、最近ニ於キマシテハ朝鮮鐵道ヲ滿鐵ヨリ分離シテ、總督府ニ之ヲ經營セシムルト云フコトニシ滿洲ト朝鮮ト鐵道政策ノ上カラシテ之ヲ二ツニ分離シテシマシタノデアリマス、更ニ本案ヲ提出致シマシテ、關東州ト州外ト産業上ニ於テ相反目セシムルヤウナ結果ニナリハナイカト思フノデアリマス、現ニ此二月二日デアリマシタカ、奉天ニ於キマシテ州外ノ商業會議所全部ガ集リマシテ、該法案ガ議會ヲ通過シナイヤウニ、而シテ該法案ノ提出サレルコトニ反對シテ居ルノデアリマス、詰リ要スルニ該法案ガ議會ヲ通過スルコトニナレバ、關東州ノ産業ヲ發展サセルカモ知レヌケレドモ、大滿洲、詰リ州外ノ産業ト云フモノハ非常ニ是ガ爲ニ打撃ヲ被ルト云フノデアリマス、デソレ等ノ點ニ付テハ政府モ餘程考慮シテ、本案ガ提出セラレル前ニ當リマシテ、餘程品目ニ削減ヲ加ヘテアルト云フノデアリマス、僅ナガラ私ハ其結果ニ付キマシテハ、必ズ州内ト州外ノ軋轢ヲ來シ、州外ノ産業ガ是ガ爲ニ非常ナ壓迫ヲ被ルモノデアルト思フノデアリマス、政府ニ於キマシテハ左様ナ心配ハ無イカト仰セラル、ナラバ、實際之ヲ適用シタモノ、上ニ付テ、毛頭サウ云フ心配ハ無イト云フ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス、第二點ハ國際法上カラ見解デアリマス、關東州ハ我が領土デアリマセヌケレドモ、我が領土ノ延長ナリト云フコトハ既ニ旅順ニ於ケル高等法院ノ判例ニ徵シテモ明デアリマス、隨テ是ト同一ノ狀況ニ在ル所ノ滿鐵ノ附屬地、是亦我が領土ノ延長ナリトシテ高等法院ハ我が

領事裁判權ヲサヘ行テ居ラナイノデアリマス、詰リ領事裁判權ヲ其處ニ行ハナイ、關東州ト同一法域ニ置イテ居ルノデアリマスカラシテ、詰リ關東州並ニ滿鐵ノ附屬地八千万坪ト云フモノハ、同一法域、同一法律ノ施行セラル、地域デアルト解釋シテ差支ナカラウト思ヒマス、果シテ然ラバ本法ヲ關東州ニ限テ施行シテ、而シテ之ヲ州外ノ滿鐵附屬地ニ及ボサナイト云フノハドウ云フ譯デアルカ、此點ニ付キマシテハ隨分學說ナドモ一致シテ居ルノデアリマス、租借地内ニ於キマシテハ、支那ノ關稅權ト云フモノハ租借條約ニ依テ當然拋棄セラレタモノデアルト、斯ウ云フ風ニ學說ハ一致シテ居リマスカラ、同一ノ論法ヲ以テ進メバ、關東州ト同一ノ法域ニ置カレテアル滿鐵附屬地モ、是ト同一ニ取扱ハナケレバナラヌト思フノデアリマス、デ近來ニ於キマシテハ、此滿鐵沿線ニ於キマシテ、日本ノ實際ノ實業ニ當テ居ル人々ハ、支那人ノ壓迫ヤ、外國人ノ壓迫ニ依ツテ、ドウシテモ將來ノ發展ヲ期セラレナイト云フノ弱テモ居ルノデアリマスカラ、更ニ此法案ヲ布イタナラバ、州外ノ産業ト云フモノハ非常ナ壓迫ヲ被ツテ、折角發展シタ滿洲ノ日本ノ商權ノ地位ト云フモノハ、是ガ爲ニ非常ナ打撃ヲ被リハシナイカト云フコトヲ慎レルノデアリマス、第三點ハ在滿洲邦人間ニ於テスラ、州内外ノ産業政策ニ影響アリトシテ全部反對シテ居ルノデアリマスカラシテ、況ヤ此州外ニ於ケル所ノ支那人モ、矢張此法案ニ對シテハ餘リニ好感情ヲ持テ居ナイヤウニ見受ケルノデアリマス、果シテ然リトスレバ、此日支ノ親善、共ニ俱ニ滿蒙ノ開發ニ付テ一緒ニ行カナケレバナラヌト云フ支那人ノ反感ヲ買フテサヘモ、尙ホ此法案ヲ實行セラル、ト云フ利益ガ何所ニ在ルカト云フコトヲ發見スルニ苦シムノデアリマス、又特惠關稅ヲ施行致シマシテモ、支那側ガ輸出税ヲ課シタ場合ニハドウスルカ、日本ノ輸入税ガ免除サレマシテモ、關東州ハ支那關稅ノ支配下ニ在ルノデアリマスカラ、支那ガ若モ日本

ニ輸出スル場合ニ於テ、ソレニ輸出ノ税金ヲ課シタラドウスルカ、或ハ支那人ガ此報復手段トシテ、支那人ノ商人ガ政府要路ヲ壓迫シテ、或ハサウ云フ手段ニ出ナイトモ限ラレナイノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、折角安物品物ヲ日本ニ入レヤウト致シマシテモ、其結果ハ何等消費者ニ利益ヲ與ヘナイト云フ結果ニナリハシナイカト思フノデアリマス、デ現在ノ支那トノ關稅協約ノ第六條ニ依リマシレバ、支那ノ内地カラ租借地ニ輸入シタ所ノ原料ニ加工ノ上、大連ヨリ輸出スル所ノ製造品ニ對シテハ、青島ニ於ケルト同種ノ製品ト同一ノ課稅ヲ爲スモノトスルコトニナツテ居リマスカラ、若モ支那側ニ於テ大連港ヨリ輸出スル物品ニ課稅セントスルナラバ出來ルノデアリマス、果シテ然リトスレバ、折角安物品物ヲ内地ニ入レヤウトスル該法案ノ目的ハ、達成セラレナイコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、第五ノ點ハ國際關係ヲドウスルカ、今日英國ノ對支政策ハ今將ニ行詰ラントスルヤウナ現況ニ在ルノデアリマスガ、假ニ日本ト英國トノ間ニ於テ、特惠關稅ニ付テノ默約ガ成立シタ致シマシテモ、米國或ハ伊太利、佛蘭西等トノ協定ガ出來ナケレバ、私ハ將來ニ於テ容易ナラヌ事ヲ惹起シヤシナイカト思フノデアリマス、此點ニ付テ政府ハ豫メ佛蘭西、伊太利、或ハ米國ト協議ヲ爲サレタカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、ソレカラ第六ニ於キマシテハ、州ノ内外ノ區別ニ依リマシテ、關東州ニ於テ生産セラレタルモノニハ免稅ヲスルト申シマスケレドモ、其間ニ州内ト州外トニ於テ其生品ヲ區別スルト云フコトハ、實際ノ問題ニナルト申シテ困難デアアル、是ガ州内ニ於テ生産セラレタト云フ證明書ヲ取ルト申シマスケレドモ、個々ノ場合ニ於テ實際ニ之ヲ當嵌メルトスルナラバ、中々其間ノ區別ヲスルコトハ容易ナ事デハ出來ナイ、場合ニ依リマシテハ、隨分惡手段ガ行ハレテ、折角ノ該法案モ減茶減茶ニナリハシナイカト思フノデアリマス、ソレカラ第七點ハ、内地産業ヲ壓迫シ

ニ輸出スル場合ニ於テ、ソレニ輸出ノ税金ヲ課シタラドウスルカ、或ハ支那人ガ此報復手段トシテ、支那人ノ商人ガ政府要路ヲ壓迫シテ、或ハサウ云フ手段ニ出ナイトモ限ラレナイノデアリマス、サウ云フ場合ニ於キマシテハ、折角安物品物ヲ日本ニ入レヤウト致シマシテモ、其結果ハ何等消費者ニ利益ヲ與ヘナイト云フ結果ニナリハシナイカト思フノデアリマス、デ現在ノ支那トノ關稅協約ノ第六條ニ依リマシレバ、支那ノ内地カラ租借地ニ輸入シタ所ノ原料ニ加工ノ上、大連ヨリ輸出スル所ノ製造品ニ對シテハ、青島ニ於ケルト同種ノ製品ト同一ノ課稅ヲ爲スモノトスルコトニナツテ居リマスカラ、若モ支那側ニ於テ大連港ヨリ輸出スル物品ニ課稅セントスルナラバ出來ルノデアリマス、果シテ然リトスレバ、折角安物品物ヲ内地ニ入レヤウトスル該法案ノ目的ハ、達成セラレナイコトニナリハシナイカト思フノデアリマス、第五ノ點ハ國際關係ヲドウスルカ、今日英國ノ對支政策ハ今將ニ行詰ラントスルヤウナ現況ニ在ルノデアリマスガ、假ニ日本ト英國トノ間ニ於テ、特惠關稅ニ付テノ默約ガ成立シタ致シマシテモ、米國或ハ伊太利、佛蘭西等トノ協定ガ出來ナケレバ、私ハ將來ニ於テ容易ナラヌ事ヲ惹起シヤシナイカト思フノデアリマス、此點ニ付テ政府ハ豫メ佛蘭西、伊太利、或ハ米國ト協議ヲ爲サレタカト云フコトヲ御尋スルノデアリマス、ソレカラ第六ニ於キマシテハ、州ノ内外ノ區別ニ依リマシテ、關東州ニ於テ生産セラレタルモノニハ免稅ヲスルト申シマスケレドモ、其間ニ州内ト州外トニ於テ其生品ヲ區別スルト云フコトハ、實際ノ問題ニナルト申シテ困難デアアル、是ガ州内ニ於テ生産セラレタト云フ證明書ヲ取ルト申シマスケレドモ、個々ノ場合ニ於テ實際ニ之ヲ當嵌メルトスルナラバ、中々其間ノ區別ヲスルコトハ容易ナ事デハ出來ナイ、場合ニ依リマシテハ、隨分惡手段ガ行ハレテ、折角ノ該法案モ減茶減茶ニナリハシナイカト思フノデアリマス、ソレカラ第七點ハ、内地産業ヲ壓迫シ

ヤシナイカ、是ハ随分内地ノ製造工業者カ
ラモ反對ガアリマシテ、安イ物ガ滿洲、植
民地カラシテド、日本ニハルト云フコ
トニナレバ、同一ノ品物、同一ノ製品ハ餘
程ノ壓迫ヲ被ルニ違ヒナイノデアリマス、
是等ノ點モ餘程考慮シナクレバナラヌ、是
等ノ點ニ付テ政府ハドウ云フ御考ヲ御持
ニナッテ居ルカト云フ點デアリマス、尙ホ最
後ニ私ハ御伺シタイノハ最近ニ於キマシテ
米國ノ領事法廷ニ於テ、關東州ニ於テハ米
人ノ治外法權ガ無い、斯ウ云フ判決ヲ下シ
テ居リマス、關東州ニ於テ米人ガ治外法權
ヲ持タナイ、詰リ日本ノ法權ニ服スルノデ
アル、斯ウ云フコトヲ米國ノ領事館ニ於テ
モ判決ヲ下シテ居ルノデアリマス、果シテ然
ラバ今日ノ國際ノ議論ヲ進メテ行ケバ、全
ク是ハ内地ノ延長ト見テ差支ナカラウト思
フ、同一ノ論法ニ依ッテ前ニ申シマシタ通
リ、滿鐵ノ附屬地モ亦私ハ外國ノ領事裁判
權ノ關與ヲ許サナイモノト考ヘテ居ルノデ
アリマス、然ラバ該法ヲ關東州外、詰リ滿
鐵附屬地ニ之ヲ適用シテ差支ナイト思フノ
デアリマス、若モサウデナイトシタナラバ、
折角發展シタル所ノ州外ノ我ガ商工業者ト
云フモノハ、非常ナ打撃ヲ被ルノミナラズ、
州内ト州外トニ對立トナリマシテ、滿
洲ニ於テ一致シテ發展セントスル途ガ茲ニ
破レントスルノデアリカト云フコトヲ心
配スルノデアリマス、是等ノ點ニ付テ當局
ノ御答辯ヲ御願スルノデアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 黒田政府委員

(政府委員黒田美雄君登壇)

○政府委員(黒田美雄君) 御答ヲ致シマス
ガ、御尋ノ第一ノ點ハ、此法案ノ結果ト致
シマシテ、關東州ト關東州外トノ間ニ非常
ニ不權衡ヲ來ス虞ハナイカト云フ御尋デ
アッタノデアリマス、其爲ニハ奉天ノ商業
會議所ニ於キマシテ、此法案ノ提出サレル
コトニ付テ反對ヲシテ居タヤウナ事實ガ
アルト云フ風ナ御話デアリマシタガ、之ニ
就キマシテハ以前新聞紙等ニ此法案ノ内容
ト致シマシテ、非常ニ廣イ品目ヲ掲ゲラレ
タノデアリマス、其内ニハ關東州内或ハ關

東州外ニ於テモ生産セラル、ヤウナ品物ガ
アッタノデアリマスガ、今回ノ法案ニ於キ
マシテハ主トシテ關東州内ニ於テ多ク生産
セラル、品物デアアルノデアリマス、關東州
外ニ於キマシテハ生産セラレマス原料品、
即チ税率表ニ依リマシテハ無稅デアリマス
ヤウナ原料品ヲ用キマシテ、關東州ニ於テ
生産セラレタ物ヲ掲ゲテ居ルノデアリマス
カラ、左様ニ關東州内州外トノ間ニ不權衡
ヲ來スト云フ風ナコトハ無イヤウニ考ヘテ
居ルノデアリマス、關東州内ニ於テ州外ノ
原料ヲ用キマシテ生産ヲ致シマス結果ト致
シマシテ、却テ州外ニモ好イ影響ヲ與ヘル
ヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ此結
果ト致シマシテ、内地ノ産業ニ惡影響ヲ及
ボス虞ナキヤト云フ風ナ御尋デアッタヤウ
デアリマスガ、之ニ就キマシテハ關東州ニ
於テ有利ニ生産セラレ尙ホ將來有望ナル産
業ニシテ、而モ今日内地ニ於テ起ッテ居リ
マス所ノ産業ニ對シマシテ、著シキ惡影響
ヲ及ボスヤウナモノハ、之ヲ避ケルト云フ
方針ヲ執ッタノデアリマス、此所ニ掲ゲテ
居リマス品目ニ付キマシテハ、左様ナ心配
ハ無イコト、考ヘテ居ルノデアリマス、尙
ホ其他ノ點ニ付キマシテハ、他ノ政府委員
ヨリ御答ヲ申上ゲルコトニ致シマス

○副議長(小泉又次郎君) 中村政府委員

(政府委員中村藏君登壇)

○政府委員(中村藏君) 只今ノ御質問ノ第
二、關東州ヲ我ガ領土ノ延長トスルナラバ、此
沿線ニモ本法ヲ適用シテ保護スル必要ガア
ルデナイカト云フ御質問デアリマスガ、關
東州ノ租借地ト滿洲沿線トハ、其性質上區
別ガゴザイマス、國際關係上之ヲ同一視ス
ルコトガ出來マセヌ、此關係ハ第四ト第五
問ノ時ニ今少シ詳シク説明ヲ致シマス、第
三ニ支那人ノ反感ヲ挑發スルコトハ無イカ
ト云フコトデアリマス、關東州ニハ支那人
モ相當澤山居住致シテ居リマスカラ、此法
律實施ノ結果ト致シマシテ、支那人モ共ニ
其恩惠ニ浴スルコトデアリマスカラ、是ガ
爲ニ反感ヲ挑發スルモノトハ思ヒマセヌ、
第四ニ關東州ノ產物ニ特惠關稅ヲ課スルト

云フト、外國カラ最惠國條款ニ依ッテ均霑
ノ申出ガナイカ、此點ニ付キマシテハ帝國
政府ノ方針ト致シマシテ、均霑セシムル必
要ナシト云フコトニ決定致シテ居リマス、
現ニ此主義ヲ明ニスル爲ニ、日本ト瑞典ノ
條約ニモ其規定ヲ設ケテ居ルノデアリマ
ス、同條約ノ第十九條ニハ「特ニ帝國ノ管
治スル地域」ト云フ字ヲ用キマシテ、均霑ヨ
リ除外スルコトニ致シテ居リマス、ソレカ
ラ現ニ英吉利ノ如キニ於キマシテモ庫倫、
彼ノ租借地ヲ全然香港ト一體ニ見マシテ、
特惠關稅ヲ實施致シテ居ルノデゴザイマ
ス、サウ云フ都合デゴザイマスカラ、此帝
國政府ノ決定致シテ居リマス方針ニ對シ、
外國ニ於テモ異議ガ無い積リデ居リマス、
第五ノ御質問ハ第四ノ答辯ニ依リマシテ明
瞭ニナッテ居ルト存ジマスガ、先程申シマ
シタ第二問ト關聯スルト云フノハ、滿鐵ノ
沿線ノ地帯ニ付テハ、國際間ニ於テ租借地
ノ如ク明ニ特惠關稅ヲ適用シテ差支ナイト
云フコトニ決定シテ居ナイ、ソレ故ニ滿洲
鐵道ノ沿線地ニ此法律ヲ適用シマス、諸
外國カラ均霑ヲ申込マレル憂ガアルノデ、
此地域ニ對シテ本法ヲ適用スルコトハ出來
ナイノデアリマス

○柏田忠一君 一寸此席ヨリ尙ホ一點御質
問申上ゲタイト思ヒマス、只今中村政府次
官ノ御話ニ依リマシマスル關東州内ノ鐵道沿
線ニハ及ボサナイト云フコトデアリマスガ
關東長官ガ二月二日附東京ヨリシテ奉天ニ
向ッテ打電シタ其電報ニ依リマシマスル「關東
州」鐵道附屬地トハ事情ヲ異ニシ、國際關
係上今日ノ所特惠關稅ヲ州外ニ及ボスコト
ハ不可能ナルヲ以テ、先ツ關東州生産品ニ
特別ヲ設ケ、國際關係上支障ナキニ至リタ
ル時期ヲ待テ之ヲ州外ニ及ボサントスル
趣旨ナリ云々」トアリマス、是ハ近キ將來
ニ於テ國際關係上支障ナキニ至ルトキガ到
來スルノデアリマスガ、到來セシメヤウト
スルノデアリカ、此點ニ付テ御伺致シタイ
ノデアリマス

(政府委員中村藏君登壇)

○政府委員(中村藏君) 只今關東長官ノ話
ヲ引用サレテ居リマスルガ、將來國際關係ニ
於テ此均霑問題ノ付クコトガ明確ニナリマ
ス時機ガ來マシタラ、或ハ關東長官ノ御說
ノ如キ事ガ實行出來ルカモ知レマセヌガ、
今日ハマダ其時機ニ違ヒシテ居リマセヌ

○岩切重雄君 只今上程サレマシタ大正十
三年法律第二十四號中改正法律案、即チ奢
侈稅法改正法律案ニ對シマシテ、大藏大臣ニ
質問致シタイト考ヘマス、本法律案ガ第四十
九議會ニ於テ本議場ヲ問題ニナリマシタ際
ニ、之ニハ與黨ノ側カラ致シマシテモ、本案
ノ實施ニ對シテハ相當ナル事項ヲ掲ゲマシ
テ注意ガアッタノデアリマス(拍手) 即チ本
法實施後ノ成績如何ニ鑑ミマシテ、將來ニ
適當ノ改正ヲ施スト云フコトガ一ツ、尙ホ
此法律案ガ奢侈稅以外ノ内地品ニ對シテ、
同一ナル物價ノ騰貴ヲ來スヤウナ場合ガア
リトスルナラバ、或ハ又内地品ガ同一ナル
理由ヲ以テ來ルト云フナラバ、之ニ對シテ
内地品ニモ課稅シナクレバナラナイト云フ
ヤウナ條件ガ附イテ居ッタト思フノデアリ
マス、私共ハ此法律案ニ對シテ、當時主ナ
ル點ニ於テ三ツノ點ヲ論議シタノデアリマ
スガ、其一ツハ奢侈稅法案ト申シマシテモ、
此中ニハ多クノ材料品、即チ原料品ヲ含ム
ガ故ニ、玉石混淆ノ虞レガナイデハナイカ
ト云フ點ガ一ツデアリマシタ、第二ハ奢侈
稅法律案ニ依ッテ國民思想ノ善導ヲ爲ス、即
チ國民ノ奢侈ヲ抑壓シヤウト云フガ如キコ
トハ、果シテ之ニ依ッテ出來ルモノデアリ
ヤ否ヤ、第三ニハ之ニ依ッテ内地ノ一般物
價ノ騰貴ヲ導クヤウナコトハナイカ否カ、
詰リ此三點ヲ吾々ハ問題トシタノデアリマ
スガ、其後政府ハ本案ヲ實施サレマシテ鑑
ミル所ガアリ、是等ノ關稅法中ノ中ヨリ主
トシテ材料品、即チ原料品ニ屬スルモノヲ
除キ、或ハ改正ヲ加ヘラレタト云フコトハ、
吾々モ此點ニ於テ政府ニ同意スル者デアリ
マス、併ナガラ尙ホ今日私ハ大藏大臣ニ對
シマシテ、本法ヲ實施サレマシタ後ニ於ケ
ル、他ノ二ツノ點ニ付テ、即チ一ツハ内地

ノ他ノ物價ノ騰貴ヲ導カザリシヤト云フコトガ一ツ、今一ツハ此法律ニ依リテ即チ國民ノ奢侈ノ風ヲ下ノ程度ニ抑壓スルコトガ出來タカト云フ、此二點ヲ御伺致シテ見タト思フノデアリマス、即チ内地一般ノ物價ニ對シテ何等ノ影響ガナキカ、或ハアリアリマスガ偶々新聞紙ヲ通ジマシテ、政府當局ノ御意見ナリトシテ吾々ガ承ル所ニ依リマス、本年ノ一月八日ノ新聞ニ於テ前大藏次官デアツカ、或ハ濱口藏相デアツカ、其點ハ記憶致シマセヌガ、斯ウ云フ趣旨ノコトガ現ハレテ居タ、新聞デアアルカラ責任ガ無イト言ハレルカモ分リマセヌガ、ソレニ依リマス日本銀行ノ統計ニ依リマシテ、輸入品ノ中カラ三十五品目ノ物價指數ガ全體ニ於テ二割ノ騰貴ヲ來シテ居ルケレドモ、同種類ノ内地品ニ對シテハ物價ノ騰貴ヲ來シタ如キ所ノ傾向ガ現ハレテ居ナイ、故ニ同一ノ内地品ニ對シテ今日俄ニ課税ヲスル必要ハ無イト云フコトガ言明サレテアルヤウシテ私ハ伺フノデアリマス、即チ是ハ新聞紙デアリマスカラ、政府ノ責任アル言明デアリマセヌケレドモ、假ニ是ガ大藏當局一部ノ御意向デアルト致シマスナラバ、四十九議會ニ於ケル奢侈品ト云フモノハ、全體ノ品目ニ於キマシテ約四百カラアルノデアリマス、四百ノ品目ヲ算ヘク中カラ、僅ニ二十五ノ輸入品目ニ對シテ、騰貴ノ事實ガ無イト云フ、此一事實ヲ以テ同一ノ内地品ガ騰貴シナイト云フ御説明ニナラノデアリヤ否ヤ、私ハ政府當局ヨリ材料ヲ得テ居ナイノデアリマスカラ、十分ナル調査ハ吾々トシテ致シ兼ネルノデアリマスカ、願クハ大藏大臣ハ此四百ノ品目ガ内地品ニ影響ヲ及ボサザリシト云フ、モウ少シ的確ナル御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、之ヲ吾々ガ日本銀行ノ調査ニ依ル一般物價ノ騰貴ノ指數ヲ調ベテ見マス、昨年ノ七月ヨリ十一月、十二月ニ掛ケマシテ内地品ノ物價ハ漸次騰貴ヲ來シテ居ルノデアリマス、即チ七月ニ於テハ六月ヨリ、七

月ノ當時ハ復興事業ニ依ル輸入品ノ材料ガ内地ニ蓄積致シマシタ結果、一時物價ハ下落シテ居リマスケレドモ、是等ノ材料ガ處分サレマシタ後ニハ、漸次一般物價ハ仰シニ於テモ、亦ハ小賣ニ於テモ、騰貴ノ趨勢ヲ見テ居ルノデアリマス、是ハ一面ニハ爲替相場ノ關係、或ハ輸入超過ノ關係ト云フコトモ影響シテ居リマスケレドモ、又其一面ニハ奢侈品ガ輸入ノ四百圓ノ品物ニ對シテ騰貴ヲ促シテ居ルコトハ爭ハレザル事實デアルト私ハ思フノデアリマス、例ヘバ鐘錶類ノ如キニ致シマシテモ、其他洋服類ノ如キニ致シマシテモ、吾々トシテハ必要品ナリト思フガ故ニ、内地ノ品物ニ對シテ多少ノ騰貴ヲ促シテ來タ、寧ロ之ニ依リテ一面ニハ失業問題ト共ニ物價ノ騰貴ガ、兩面ヨリシテ社會ノ思想問題ノ上ニモ偉大ナル影響ヲ及ボシテ來ツ、アル、今日ニ於テハ或ハ失業問題ノ及ボ所ハ、暴力ニ依リテ當豪ヲユスル、金錢ヲ強奪スルト云フガ如キ、洵ニ憂フベキ所ノ影響ガ、此物價騰貴アルト云フコトハ、爲政家ガ以テ大ニ注目ヲシナケレバナラヌ點デアルト私ハ思フノデアリマス(拍手)此點ニ付テ大藏大臣ハ何等對策ヲ御講ジニテラナイノデアリカ、之ヲ御伺致シタイト思フノデアリマス、今一ツノ點ハ即チ奢侈稅關稅法ノ最モ眼目デアリマス所ノ此關稅法ニ依リテ、國民ノ奢侈ヲ抑壓シヤウト云フ政府當局ノ精神ガ、果シテドノ程度ニ徹底サレタヤ否ヤト云フ點デアリマス、吾々ハ其當時、或ハ政府ハ財源ノ歲入ニ對シテ收入主義ノ意味ヨリ此稅ヲ課セラレルト云フノニアラズヤト云フ疑念ヲ持テ居タノデアリマスルガ、大藏大臣ハ決シテ是ハ收入主義デハナイ、飽迄モ國民ノ奢侈ノ氣風ヲ抑壓シテ、一面ニハ輸入ヲ防遏スル所ノ精神デアルト云フコトヲ述ベラレテ居ルノデアリマスガ、然ラバ昨年ノ四月ニ於テ以來、是等ノ奢侈品ガ日本内地ニ向テ輸入サレタ所ノ額ハ如何ナル數字ヲ示シテ居ルカ、果シテ國民ノ奢侈ガ抑壓サレタト云フナラバ、外國ヨリ入ル

是等ノ奢侈品ハ其輸入ガ防遏サレタヤ否ヤト云フ點ハ、是ハ重大ナ問題デアアル、私共ハ十分ナル統計ヲ持たまセヌガ、偶々新聞紙ニ依リテ伺ヒマス所ニ依ルト、橫濱ノ稅關ヲ通ジテ入りマシタ所ノ昨年八月、九月、十月、十一月ノ統計ナリトシテ傳ヘラレマシタ數字ヲ調ベテ見マスルト、八月ニ於テ所謂關稅法ニ掲ゲラレマシタ所ノ奢侈品ノ輸入ハ一萬七千九百餘圓デアアル、然ルニ九月ニ達シマシテハ、一萬七千圓ガ俄ニ突破シテ二十萬七千餘圓ト云フモノニナリテ居ル、十月ニハ更ニ倍加シテ四十六萬二千餘圓、十一月ニハ更ニ増加シテ五十六萬餘圓ト云フモノガ橫濱ノ稅關ヲ通ジテ、是等ノ奢侈品ト云フモノガ輸入テ來テ居ル、其後統計ハ私知リマセヌガ、併ナガラ政府當局ニハ分クテ居ルト思フノデアリマスガ、橫濱、神戸、長崎ノ是等ノ稅關ヲ通ジテ我が内地ニ入テ來タ是等ノ所謂奢侈品ナルモノガ、果シテドレダケ日本ニ入テ來テ居ルノデアリカ、此數字ハ大藏省トシテハ撮モ明白ニ御分リニナルト思フノデアリマスガ、此數字ヲ御示シテ願ヒタイ、吾々ハ一面ニハ失業問題ノアル今日ニ於テ、一面ニ社會ニハ尙ホ滔々トシテ奢侈ノ風ト云フモノハ決シテ減退シテ居ナイト私ハ思フノデアリカ(拍手)私ノ友人ガ三越ノ事務員ヲシテ居リマスガ、震災後ニ於テ一日ノ三越ノ賣高ガ約五十四萬圓デアアル、是ハ一日ニ五十四萬圓ノ賣高ガアルト云フガ如キコトハ、一面ニハ勿論日用品ト云フ物モ入ッテ居ルケレドモ、アノ格澤ナル空氣ノ中ニ浸ッテ、其中ニ於テ奢侈ノ心ヲ持ツ味ハフト云フヤツナ今日ノ國民ノ氣風ト云フモノハ、確ニ私ハアルト思フノデアリマス、殊ニ格澤品ノ多額ナル、即チ「グアイヤモンド」ノ値ガ高クナルト云フコトハ、其高イ物ヲ持ツ所ノ誇リ、他人ノ持ツザル高貴ノ品物ヲ所有スルト云フ一ツノ誇リノ觀念カラシテ、奢侈ノ觀念ト云フモノガ矢張出テ來テ之ヲ若シ抑ヘルコトガ出來ナケレバ、政府ノ眼目トスル國民思想ノ善導奢侈ノ抑壓ト云フ目的ハ達セラレナイモノデアルト私ハ考ヘルノデア

アリマス(拍手)故ニ大藏大臣ハ若シ國民ノ氣風ヲ指導シテ、奢侈ノ氣風ヲ抑壓スルト云フナラバ、尙ホ一歩進メテ、此關稅法ノ外ニ、社會的ニモ今少シ徹底シタル國民指導、奢侈抑壓ノ政策ヲ講ゼラレナケレバ、政治家トシテノ其一ヲ行テ、尙ホ後トノ九分ノ仕事ハ殘ッテ居ルモノト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)即チ此問題ニ對シテハ、大藏大臣ハ如何ニ御考ニナリテ居ルノデアリカ、奢侈稅ヲ課シテ國民ノ奢侈ヲ抑壓スルト云フ、其名前ハ宣シイノデアリマスケレドモ、此精神ニ依リテドノ程度ニ國民ノ奢侈ト云フモノガ抑壓サレタノデアアルト云フモノハ、サウ云フ眞面目ナル氣風ハ願ミラレズ、徒ニ一面ニ奢侈ニ趨リ、一面ニハ失業問題ノ爲ニ自暴自棄ニナリテ、國民思想ト云フモノガ日ニ陰惡ニ趨キツ、アルト私ハ思フノデアリマス(拍手)其出發點ハ政府當局トシテモ決シテ惡イコトハナイ、吾々ハ此政治家トシテ此出發點ハ正シイト思フノデアリマスガ、正シキ仕事ヲ爲サレナラバ、何等徹底スル所マデ之ヲ爲サナケレバ何ノ用ヲ爲サナイ、唯、形式ト名前ヲ得ルノデアラ、其實ヲ得ナイト云フコトナラバ、政治トシテハ是ハ空論ニ終ルコトニナルノデアリマス、願クハ此點ニ對シテ、大藏大臣ノ御答辯ヲ促シタイト思ヒマ

○副議長(小泉又次郎君) 濱口大藏大臣
(國務大臣濱口雄幸君登壇)
○國務大臣(濱口雄幸君) 岩切君ノ御質問ハ二點ニ互ニ居リタノデアリマス、第一點ハ格澤品稅ヲ重課シタ結果トシテ、同種類ノ内地製品ガ騰貴ヲ致シ、ソレガ更ニ延イテ内地ノ一般ノ物價ヲ騰貴セシメタト云フ事實ハ無イカト、是ガ第一ノ御質問デアリマス、此點ニ付キマシテハ、岩切君ノ御心配ニナリテ居ル如キ結果ヲ惹起シタモノトハ、政府ハ認メマセヌ、然ラバソレヲ證明スル所ノ統計ハ何デアアルカト申シマスレバ、大體ニ於テ只今岩切君ガ御質問ノ際ニ自ラ御答ニナリタ、即チ格澤品ヲ重課致シ

マシタ物品ノ中、主ナルモノ三十五種類ヲ選シテ其物價ノ騰貴ノ狀況ヲ調べタモノガアリマス、一面ニ於テハソレト對照スル所ノ同種類ノ同ジ數ノ内地製品ノ物價ヲ調べタモノガアリマス、如何ニモ細目ニ互テ申シマスレバ、警澤品ノ重課シマシタモノハ數百種ニ上テ居ルノデアリマス、ケレドモ、其一々ニ就テ其市價ノ騰落ヲ調査スルト云フコトハ甚ダ困難デアッタノデアリマス、是ガ調査ハ大藏省ニ於テモ試ミマシタケレドモ、ソレハ甚シキ困難ニ陥リマシタガ爲ニ、主ナルモノ三十五種類ニ就テ日本銀行ヲシテ調査ヲセシメタノデアリマス、其結果ニ依リマスレバ、是ハ最近ノ統計即チ本年二月ノ統計デアリマス、三十五種類ノ小賣相場ノ調査デアリマス、其調査ニ依リマスレバ、警澤品ニ重課スルト云フ法律案ガ未ダ議會ニ出マセヌ所ノ即チ昨年六月ニ於ケル物價、ソレニ對シテ本年二月ノ輸入品ノ物價、ソレト同種類ノ内地製品ノ物價ヲ比較ヲ致シテ見マシタ所ガ、舶來品ニ付キマシテハ昨年六月ノ小賣相場ニ對シマシテ平均三割五分ノ騰貴ヲ見テ居リマス、ソレト同種類ノ内地ノ製造品ニ付キマシテハ、僅ニ五分四厘ノ騰貴ヲ見ルニ止テ居リマス、五分四厘ノ騰貴ト申シマスレバ、他ノ一般ノ物價ノ騰貴ノ率カラ見マスレバ、殆ド是ハ論ズルニ足リマセヌ、即チ輸入品ニ付テハ警澤稅ヲ課シマシタ結果トシテ、茲ニ三割五分ノ騰貴ヲ見テ居リマスガ、毫モ是ト同種類ハ内地ノ製品ノ物價ニ影響ヲシテ居ナイト云フ證據デアリマス、既ニ同種類ノ内地ノ製品ノ物價ニ影響ガ無イ以上ハ更ニ進んで内地ノ物價全體ニ對シテ、何等ノ影響ヲ及ボシヤウガナイノデアリマス、斯様ニ考ヘテ見マス、此單純ナル統計ノ結果ニ依リテ、警澤品ニ重イ關稅ヲ課シタト云フコトノ爲ニ、内地ノ物價ニハ殆ド何等ノ影響ヲ及ボサナカッタト云フコトヲ論斷スルコトガ出來ルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ昨年七月ノ議會ニ於テ、諸君ハ御心配ニナリマシタ、私ハ

其御心配ニ對シマシテ、萬々左様ナル憂ハ無イモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタガ、幸ニシテ政府ノ所見ガ中ヲ致シ、今日マデノ所ニ於テハ諸君ノ御心配ハ杞憂ニ終リテ居ル上云フ證據ガ舉テ居ルノデアリマス、第二ノ御質問ノ要旨ハ、警澤品ニ重イ關稅ヲ課シタ結果トシテ、國民ノ奢修警澤ノ氣風ガドノ程度マデ減ジタト思フカト云フ御質問デアリマス、是ハ如何ニモムツカシイ御質問デアリマス、只今岩切君ガ御質問ノ中ニ御話ニナリマシタ通り、警澤品ニ關稅ヲ重課シテ以來、今日ニ至ルマデノ其稅ヲ課セラレタル品物ノ輸入ガ、稅ヲ重課セラレナイ以前ニ比較ヲ致シテ、如何ニ増減セラレカト云フ數字ヲ御覽ニ入レ、バ、御疑ハ自然ニ氷解スルコトデアラウト思フ、此點ニ付キマシテハ、政府ニ於テ正確ト信ズルニ足ルベキ統計ヲ持ッテ居リマス、其統計ニ依リマスレバ、昨年ノ四月、五月、六月、即チ此法律案ヲ特別議會ニ提案ヲ致サナカッタ其前ノ三箇月ノ平均デアリマス、其四、五、六、ノ三箇月間ニ於テ警澤品ノ輸入ガドレダケア、タカト云フコトヲ調べテ見マス、四月ニハ三百七十萬圓、五月ニハ四百二十萬圓、六月ニハ三百七十萬圓、此三箇月間ノ平均ガ約三百九十萬圓ニ達シテ居リマス、然ルニ警澤品ニ重稅ヲ課シマシタ結果トシテ、段々其品物ノ輸入額ガ減少シテ參リマシテ、本年ノ一月ノ統計ニ於テハ、警澤品ノ輸入致シマシタ總額ガ僅ニ二百二十萬圓ニナッテ居リマス、此百二十萬圓ト云フ數字ハ、即チ警澤品稅ヲ課サナカッタ時ノ三箇月間ノ輸入ノ平均ニ比較ヲ致シマシテ、三分ノ一ニモ足リナイ所ノ少額デアリマス、更ニ之ヲ昨年ノ一月ト比較ヲ致シマス、ト、昨年一月ノ輸入統計ハ二百八十萬圓デアリマス、ソレニ對シテ本年ノ一月ハ百二十萬圓、半額ニモ足リナイ數字ニナッテ居リマス、然ラバ本年一月ノ百二十萬圓ト云フ輸入ノ統計ハ、何カ偶然ノ事情ニ依リテ一時限リ減タモノデナイカト云フ疑ガ自ラ起リマス、其疑ヲ解ク爲ニハ、昨年十月

以降毎月減テ參リマシタ所ノ統計ヲ見レバ直ニ明瞭デアリマス、即チ昨年ノ九月ニ於テ警澤品ノ輸入總額ガ三百四十八萬、十月ニ於テ二百八十八萬、十一月ガ二百二十萬、十二月ガ百六十萬、一月ガ百二十萬、斯ノ如ク二月ヲ追ウテ漸次ニ減少シテ參テ居リマス、之ニ依リテ考ヘマスルト云フト、警澤品ニ關稅ヲ課シタ結果ハ、即チ警澤品ノ輸入ヲ非常ニ減少セシメタト云フ結果ニナッテ居ルノデアリマス、其輸入ガ減少スルト云フコトハ、取敢ヘズ此關稅ヲ課シタ結果トシテ國民ノ消費ノ節約ニ向ッテ相當ノ效果ガアッタト云フ何ヨリノ證據デアリマセヌカ(拍手)國民ノ奢侈警澤ガ如何ナル程度迄減タカト云フコトヲ、此統計以外ニ數字ヲ以テ證明スルコトハ岩切君モ御想像下サイマシタ通り、頗ル困難ノ事情デアリマス、何トナレバ奢侈警澤ト云フト、ドゥチカト云フト無形ノ心理狀態、其心理狀態ノ數字ヲ以テ證明スルコトハ頗ル困難デアリマス、併シ政府ガ奢侈警澤ヲ戒ム、國民ニ向ッテ勤儉力行ヲ獎勵スルト云フ手段方法ハ、前ニ申上ゲタ通り決シテ此警澤品稅ノ一方法ノみに依リテ居ルモノデナイノデアリマス、即チ屢々繰返シテ申上ゲル如クニ、此内閣ガ大正十四年度豫算ヲ編成スル時ニ當リテ、前ニ説明致シマシタ如クニ、行政財政ノ整理緊縮ヲ行ヒ、消極的ノ豫算ヲ編成シタト云フコトガ、是レ即チ國民ニ向ッテ消費節約ヲ獎勵スル一ツノ手段ニナッテ居ルノデアリマス、又其豫算ニ於テ御覽ニナリマスルガ如クニ、金額ハ十分デアリマセヌケレドモ、即チ勤儉獎勵ノ目的ヲ以テ豫算ニ要求ヲ致シテ居リマス、此豫算ガ幸ニシテ通過致シマスレバ、政府ハ此豫算ニ基キテ廣ク全國ニ亙リテ消費節約、勤儉力行ノ宣傳獎勵ニカメル積リデアルト云フコトハ、屢々繰返シテ申上ゲテ居ル所デアリマス、最近漠然トハ致シテ居リマスルケレドモ、私自ラ廣ク社會全體ノ氣風ヲ察シマスルニ、或ル一時ニ於ケルガ如ク奢侈警澤ノ氣風ト云フモノハ聊カ茲ニ緊張ヲ致シ、消費節約、勤儉力行ニ向ッテ、國民ハ

舉テ或ル程度ニ於テ緊張ヲ致シ、勵ミノ附イテ來タト云フコトハ、何トナク之ヲ看取スルコトガ出來ルト考ヘテ居ルノデアリマス、即チ政府ノ諸般ノ施設ノ結果並ニ國民ノ自省自發ノ結果ニ依リマシテ、滔々タル奢侈警澤ノ氣風ガ段々改良サレルト云フコトハ、御互ニ國家ノ爲ニ最モ喜ブベキ所デアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 前野芳造君 (前野芳造君登壇)

○前野芳造君 警澤品輸入稅ノ實施後ノ直接間接ノ影響ニ付キマシテハ、幸ニ岩切君ノ御質問ニ依リテ大藏大臣ノ御答辯ヲ得タ譯デアリマス、其御答辯ノ中、警澤品ノ輸入ノ減少シタコトハ承知致シマシタガ、但シ其輸入ノ減少ト云フコトハ必シモ警澤品ニ付キマシテ、一般輸入ノ減少ト云フコトニ基クモノアルカト考ヘマスガ、是ハ更ニ委員會ニ於テモ拜聽致スコトニ致シマス、私ハ唯、實際問題トシテ一ツ一ツ、今回ノ改正案ニ漏レタルモノニ付テ政府當局ノ御意見ヲ伺ヒタルモノニ付テ居ル、工業ノ原料、就中化學工業ノ原料ニ對シテ今此法律カラ除カレマシタコトハ、私共ガ昨年修正ノ動議ヲ提出致シマシタ趣旨ヲ徹底致シタ譯デゴザイマシテ、甚ダ喜ビトスル所デアリマス、茲ニ食料品ニ付テ工業原料ノ如キ御考ヲ以テ御觸レニナッテ居ラル、ト云フコトハ、如何ナモノデゴザイマセウカ、警澤品輸入稅法ニ於ケル食料品ハ、主トシテ歐米人ノ常用トスルモノ、或ハ日本ニ於テモ之ヲ常用トスル必要ヲ來シテ居ルカモ知レヌト云フ程度ノモノガ隨分アルデアリマス、サウシテ是等ノ物ハ嗜好品トカ云フ物ニ屬スルヨリハ、寧ろ必要的トナッテ居ルモノガ随分多イカト考ヘルノデアリマス、就中此法律ノ實施サレマシタ後ニ於ケル、我國ニ駐在シテ居リマスル外國ノ人々、並ニ觀光外人ナドガ常ニ不平ヲ惹ヘマスル所ハ、自分共ニ於テ嗜好品ニ非ズシテ日常必要ノ品物デアルト考ヘテ居ル

物ガ、偶々斯様ナ重稅ノ爲ニ非常ニ高價ナ物ト相成テ居ルト云フコトニ付テ、モアル如クニ考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ物ハ内地ノ産業ヲ保護スルトカ云フ特別ノ理由ガアルモノナラバ、別ノ方法ニ依テ然ルベク御保護ニ相成ル次第デアリマスガ、此贅澤品ノ輸入税ノ中ニ其儘ニ存置サレマス云フコトハ、如何デアラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、之ニ就テ政府ハ實施後ノ成績ニ鑑ミテ、如何様ナ御考ヲ御持チニナシテ居リマセウカ伺ヒタイ(其品名ヲ言ハナケレバイカヌ)ト呼フ者アリ(品名ハ「バター」「チーズ」並ニ野菜ノ罐詰ノ如キ物、是等ノ物ハドウシテモ贅澤品トハ言ヘナイノデアル)是ハモウ政府ノ方デハ能ク御分リニナシテ居ルト思ヒマスカラ詳シク申上ゲマセヌ、ソレカラ今一ツ伺ヒタイノハ、同じ商品デアリマシテモ、非常ニ高價ト非常ニ安イ物ト別ガアル、例ヘバ「ビストル」上云フヤウナモノデモ二百圓モ致ス物モアレバ、僅ニ十五圓位ノ物モアルノデアリマス、是ガ一率ニ贅澤品ナリト云フコトナリマスルト、ドウデアラウカト考ヘテ居リマスガ、斯ウ云フヤウナ非常ニ低價ノ高下ノアリマスル物、非常ニ高價ト安イ物トアリマス部分ニ付テ、何カ御考ニナシタコトデモアリマスマイカ、實施後ノ實狀ニ依テ御意見ヲ伺ヒタイ、此ニ點ヲ御伺ヒタイ

云フ風ナモノハ、之ヲ輸入ヲ抑制スル目的ヲ以テ此法律ノ中ニ掲ゲラレテ居ルノデアリマス、只今御述ニナリマシタヤウナ、例ヘバ「バター」ノ如キ、是等ハ内地ニ於テ立派ナ品物ガ出來ツ、アルノデアリマス、却テ外國カラ入ラテ來テ居リマスル罐詰「バター」ノ如キハ、寧ろ内地ノ品物ヨリモ其品質ガ劣ルト云フ風ナモノガ多イノデアリマス、唯、舶來品ト云フ美名ニ迷ハサレマシテ、外國品ガ優良ナリト云フ風ナ考ヲ懷クト云フコトハ、非常ナル誤リデアアルノデアリマス、其他ノ食料品ニ付キマシテモ、ソレ等ノ多クハ内地ニ於テ十分ニ日常ノ用ヲ充スニ足ルモノガアルノデアリマス、故ラニ外國品ヲ用ユル必要ハ無イト思フノデアリマス、實施後ノ狀況カラ見マシテモ、只今御舉ニナリマシタヤウナ品物ニ付キマシテ、是ガ除外ヲ要求シテ參ルコト云フ風ナコトハ、餘リ聞イテ居リマセヌノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ點ハ、品物ニ依テハ高價ナモノアリ、又安イモノモアルノデアリマスガ、ソレ等ニ對シテ如何ニ考ヘタカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ成程御尋ノ通り、或種ノ品物ニ付キマシテハ非常ニ其價格ノ不同ナル物モアルノデアリマス、併ナガラ今除外致シマセヌ、即チ現行ノ儘據置カレマシタ所ノ品物ニ付テ考ヘマスルト、大體ニ於テ價格ノ安イ物デアリマシテモ、是等ハ内地品ヲ以テ代ヘ得ルモノデアアル、必シモ外國品ヲ用ユル必要ハナイト云フ風ニ考ヘマスモノガ多イノデアリマス、隨テ唯、價格ニ依テ之ヲ區別スルト云フ必要ハ認メマセヌノデアリマス、唯、今回提案致シマシタ芳香性揮發油ノ中ニ、十數種ノ香料ヲ除キマシタノハ、是ハ概シテ價格ノ安イ物デアリマシテ、サウシテ是ガ使用ハ主トシテ外國ニ輸出致シマス、石鹼等ニ用キラレ、又内地ノ品物ニ用キラレマシテ大體實用ノ物ニ用キラレモノデアリマス、是等ハ大體其品物ト價格トヲ考ヘマシテ考慮致シタノデアリマスガ、其他ノ物ニ付キマシテハ、即チ現行ノ儘ニ據置キマシタモノニ付キマシテハ、特ニ左様ナ

必要ヲ考ヘテ居ラナイノデアリマス
○副議長(小泉又次郎君) 井坂豐光君
(井坂豐光君登壇)

○井坂豐光君 本員ハ大正十三年法律第二十四號中改正法律案ニ付キマシテ、一二ノ疑義ヲ有シテ居ルノデアリマス、大體ハ堀切氏ヨリ質疑ガアリマシタカラシテ、其點ヲ拔キマシテ極ク簡單ナル一、二ノ點ニ付テ質疑ヲ致サウト思フノデアリマス、本改正法案ハ昨年ノ臨時議會ニ於キマシテ、吾等ハ其品目ニ對シテ、十割ノ課稅ヲ致スト云フコトハ甚ダ面白クナイ、裁ガ生産發達ノ上ニ於テ、却テ阻得スルモノガアルト云フ意味ニ於キマシテ、反對ヲ表シタノデアリマス、其時ニ濱口大藏大臣ハ、製造原料ノ場合ニ於キマシテハ、假置場アルカラシテ、假置場ヲ利用スレバ何等ノ弊害ガナイト云フ御答辯デアッタノデアリマス、吾々ハ其假置場ニ付テハ深キ所ノ考ヲ有セズシテ、唯、其假置場ヲ利用スレバ、ソレデ製造原料ニ付テハ何等ノ害ガ無イモノト斯ウ信ジタノデアリマス、所ガ豈國ニ其法案通過ノ後ニ於キマシテ、其假置場ナルモノハ殆ド有名無實ナモノデアリマシタガ、其假置場ナルモノヲ作シタナラバ、却テ生産費ノ過重ヲ來スト云フコトノ結果ニ相成ルノデアリマス、爾來營業者ニ於キマシテハ甚ダ之ヲ遺憾トシテ、種々當局ニ陳情シタノデアリマス、所ガ今回濱口藏相ハ此奢侈稅法中ニ於テ、製造原料品ニ關係アル、或ル少部分ヲ免除スルコトノ法案ガ提出セラレタノデアリマス、政府ニ於カレマシテモ其非ヲ悟ラレテ、今日茲ニ上程サレルニ對シテ、吾々ハ其贊意ヲ吝ム者デハナイノデアリマス、唯、此品目中ニ於キマシテ實例ヲ以テ申上ゲマスルナラバ、此香料デアリマス、香料ハ甚ダ遺憾ナ次第デアリマスガ、我國ニ於テハ殆ド全部ハシナイノデアリマス、其香料ノ殆ド全部ハ海外ヨリ輸入スルモノデアリマス、其香料ヲ仔細ニ今調ヘマスニ九十五種植物性揮發油百三十四、百三十五、百三十六、百三十七、是ガ除外サレテ居リマスガ、百三十八

ノ沈香、百三十九ノ白檀、二百二十一ノ「マニリン」「アマリン」「ヘトロピン」是等ノ如キモノハ全然除外サレテ居ラナイノデアリマス、是ハ私ハ甚ダ不徹底ニ感ズルノデアリマス、政府ハ製造原料品ニ付キマシテ其非ヲ悟ラレタナラバ、何故一歩進ンデ是等ノ百三十八、百三十九、二百二十一ニ對シテ之ヲ除外セナンダカ、此邊ニ付テ甚ダ疑ヲ挾ム者デアリマス、マダ、質問致シタイノデアリマスガ、時間ノ經濟上茲ニ質問ヲ止メテ置キマスカラシテ、此點ニ付キマシテ明快ナル御答辯ヲ望ムノデアリマス
○副議長(小泉又次郎君) 黒田政府委員
(政府委員黒田英雄君登壇)

○政府委員(黒田英雄君) 御答ヲ致シマス、昨年本案ヲ提出致シマシタ際ニ只今御意見ノアリマシタ通り、工業用ノ原料品等ニ對シマシテ、海外ニ輸出致シマスル品物ノ原料ニ用キマスル物ニ付キマシテハ假置場、或ハ戻稅等ノ方法ヲ攻究スル積リデアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、隨テ施行後ニ於キマシテ是等ノ點ニ付キマシテ十分ニ調査ヲ致シタノデアリマス、近キ内ニ是等ノ香料ヲ原料ト致シマスモノニ付キマシテモ、數箇所ニ假置場ガ出來ルコトデアラウト私ハ豫期シテ居ルノデアリマスルガ、併シ大體ニ於キマシテ此所ニ掲ゲマシタヤウナ品物ハ、先程モ申上ゲマシタ通り、此價格ガ大體安イモノデアリマシテ、内地ニ是ガ使用サレマシテモ、主トシテ實用品ニ用キラレト云フ風ナ狀況デアルトコトヲ確メルコトガ出來タノデアリマスルカラ、是等ノ物ハ此所ニ法律ニ於テ除外スルコトガ適當デアラウト考ヘタノデアリマス、唯、其他尙ホ輸入ニ仰イデ居リマスル所ノ香料ハ、御承知ノ通り澤山アルノデアリマスルガ、是等ハ多ク高價ナモノデアリマシテ、是等ニ付キマシテハ之ヲ使用シマスル上ニ於テ、尙ホ假置場等ノ方法ヲ講ゼラレルトデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ只今御尋ノ沈香、白檀ヲ何故除カナカッタカト云フ御尋デアリマスルガ、是等ニ關シマス詳細ノコトハ、

必要ヲ考ヘテ居ラナイノデアリマス
○副議長(小泉又次郎君) 井坂豐光君
(井坂豐光君登壇)

○政府委員(黒田英雄君) 御答申上ゲマスガ、御尋ノ第一點ハ食料品、即チ嗜好品ト云フ如キ物ニ贅澤品ト致シテ重稅ヲ課シテ居ルガ、實施後ノ狀況ニ照シ、是等ノ物ヲ何故ニ除外致サナカッタカト云フ御尋ト承知致シタノデアリマス、此事ニ付キマシテハ昨年法案ヲ提出致シマシタ際ニ、詳シク御説明致シタノデアリマシタガ、此法律ニ掲ゲラレテ居リマスル所ノ品物ガ必シモ嚴格ナル意味ニ於テ贅澤品ト申スモノバカリニ限ラナイノデアリマシテ、只今御話ニナリマシタ通り嗜好品デアリマシテ、其消費ヲ節約スルコトハ必要デアリ、又ハ内地ノ品物ヲ以テ十分ニ其用ヲ充スコトガ出來ルト

云フ風ナモノハ、之ヲ輸入ヲ抑制スル目的ヲ以テ此法律ノ中ニ掲ゲラレテ居ルノデアリマス、只今御述ニナリマシタヤウナ、例ヘバ「バター」ノ如キ、是等ハ内地ニ於テ立派ナ品物ガ出來ツ、アルノデアリマス、却テ外國カラ入ラテ來テ居リマスル罐詰「バター」ノ如キハ、寧ろ内地ノ品物ヨリモ其品質ガ劣ルト云フ風ナモノガ多イノデアリマス、唯、舶來品ト云フ美名ニ迷ハサレマシテ、外國品ガ優良ナリト云フ風ナ考ヲ懷クト云フコトハ、非常ナル誤リデアアルノデアリマス、其他ノ食料品ニ付キマシテモ、ソレ等ノ多クハ内地ニ於テ十分ニ日常ノ用ヲ充スニ足ルモノガアルノデアリマス、故ラニ外國品ヲ用ユル必要ハ無イト思フノデアリマス、實施後ノ狀況カラ見マシテモ、只今御舉ニナリマシタヤウナ品物ニ付キマシテ、是ガ除外ヲ要求シテ參ルコト云フ風ナコトハ、餘リ聞イテ居リマセヌノデアリマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ點ハ、品物ニ依テハ高價ナモノアリ、又安イモノモアルノデアリマスガ、ソレ等ニ對シテ如何ニ考ヘタカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ成程御尋ノ通り、或種ノ品物ニ付キマシテハ非常ニ其價格ノ不同ナル物モアルノデアリマス、併ナガラ今除外致シマセヌ、即チ現行ノ儘據置カレマシタ所ノ品物ニ付テ考ヘマスルト、大體ニ於テ價格ノ安イ物デアリマシテモ、是等ハ内地品ヲ以テ代ヘ得ルモノデアアル、必シモ外國品ヲ用ユル必要ハナイト云フ風ニ考ヘマスモノガ多イノデアリマス、隨テ唯、價格ニ依テ之ヲ區別スルト云フ必要ハ認メマセヌノデアリマス、唯、今回提案致シマシタ芳香性揮發油ノ中ニ、十數種ノ香料ヲ除キマシタノハ、是ハ概シテ價格ノ安イ物デアリマシテ、サウシテ是ガ使用ハ主トシテ外國ニ輸出致シマス、石鹼等ニ用キラレ、又内地ノ品物ニ用キラレマシテ大體實用ノ物ニ用キラレモノデアリマス、是等ハ大體其品物ト價格トヲ考ヘマシテ考慮致シタノデアリマスガ、其他ノ物ニ付キマシテハ、即チ現行ノ儘ニ據置キマシタモノニ付キマシテハ、特ニ左様ナ

必要ヲ考ヘテ居ラナイノデアリマス
○副議長(小泉又次郎君) 井坂豐光君
(井坂豐光君登壇)

○政府委員(黒田英雄君) 御答ヲ致シマス、昨年本案ヲ提出致シマシタ際ニ只今御意見ノアリマシタ通り、工業用ノ原料品等ニ對シマシテ、海外ニ輸出致シマスル品物ノ原料ニ用キマスル物ニ付キマシテハ假置場、或ハ戻稅等ノ方法ヲ攻究スル積リデアルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、隨テ施行後ニ於キマシテ是等ノ點ニ付キマシテ十分ニ調査ヲ致シタノデアリマス、近キ内ニ是等ノ香料ヲ原料ト致シマスモノニ付キマシテモ、數箇所ニ假置場ガ出來ルコトデアラウト私ハ豫期シテ居ルノデアリマスルガ、併シ大體ニ於キマシテ此所ニ掲ゲマシタヤウナ品物ハ、先程モ申上ゲマシタ通り、此價格ガ大體安イモノデアリマシテ、内地ニ是ガ使用サレマシテモ、主トシテ實用品ニ用キラレト云フ風ナ狀況デアルトコトヲ確メルコトガ出來タノデアリマスルカラ、是等ノ物ハ此所ニ法律ニ於テ除外スルコトガ適當デアラウト考ヘタノデアリマス、唯、其他尙ホ輸入ニ仰イデ居リマスル所ノ香料ハ、御承知ノ通り澤山アルノデアリマスルガ、是等ハ多ク高價ナモノデアリマシテ、是等ニ付キマシテハ之ヲ使用シマスル上ニ於テ、尙ホ假置場等ノ方法ヲ講ゼラレルトデアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ尙ホ只今御尋ノ沈香、白檀ヲ何故除カナカッタカト云フ御尋デアリマスルガ、是等ニ關シマス詳細ノコトハ、

委員等御説明申上ゲタイト思ヒマスルガ、大體申上ゲマスレバ、是等ハ多ク香料ニ用キラレルノデアリマス、此所ニ除外致シマシクモノハ主トシテ輸出等ニナリマスル石鹼等ニ用キラレルモノ、若クハ賣藥等ニ、用キラレルヤウナモノヲ除外致シタノデアリマス、是等ノ物ハソレ等以外ノ所謂洗滌トカ、香料等ニ用キラレルノデアリマスカラ、之ヲ除外致サナカッタノデアリマス、白檀ノ如キモ醫藥ニ用キマスル、白檀ノ原料タルモノハ既ニ前同ニ於テ除外致シテ居ルノデアリマスシ、白檀油ニナッテ居リマスモノニ付キマシテモ、藥ニ用キマスル日本藥局法所定ノ白檀油ハ、今回ノ法案ニ於テ除外スルコトニ致シテ居ルノデアリマス、大體左様ナ趣旨ヲ提案致シテ居ルノデアリマス、詳細ノ事ハ又委員等ニ於テ御説明申上ゲマス

○副議長(小泉又次郎君) 武藤金吉君

○武藤金吉君 簡潔デスカラ此席ヨリ御尋致シマス、詳細ノ事ハ委員等デ尋ネタイト思ヒマスルガ、大切ノ事ヲ國務大臣ヨリ二三御答辯ヲ得タイト思ヒマス、此關稅定率ノ改正、關東州ニ關スル免稅デアリマス、特惠關稅デアリマスルガ、之ヲ出スト同時ニ承ル所ニ依ルト云フト、政府ニ於テ二十種ノ調査ニナッテ居ル、何故ニ此一般關稅ニ付テ調査ノ結果出來タモノヲ一緒ニ特惠關稅ヲ出サヌノデアルカ、之ヲ承リタイ、次ハ關東州ノ品目ハ關東州デ生産シタスル、輸入免除ノ品目ハ關東州デ生産シタ物ヲ指スノデアリマスルガ、之ヲ證明ヲ要スルトシテアリマスレドモ、其品目ヲ見マスルト、關東州内デ出來ルモノハ僅ニ數種ノヤウデアリマス、其中デ果物トカ、或ハ曹達、薑蓬灰、或ハ煉瓦、硝子粉、硝子板、斯ノ如キ物ガ關東州デ生産致シマスルガ、其外ノ物ハ悉ク是ハ關東州デ出來ナイノデアリマス、出來ナイモノヲ關東州ニ持テ來テ、彼處デ工場ヲ建テ造ラ場合ニハ、内地ノ同様ノ工業ト如何ナル關係ヲ持チ、又内地側カラ入りマスル關稅ト如何ナル關係ヲ持ツノデアリマスルカ、是等ニ付キマ

シテハ政府ハドウ云フ定見ヲ以テ御提案ニナッテデアリマス、殊ニ承リタイノハ鹽ノ關稅、鹽ノ形ガ變テ内地ニ入りマスコトガ出來ル、其等ニハ鹽ノ專賣制度ト低觸ハ致シマセヌカ、是等ノコトハ一般關稅ト頗ル重大ノ關係ヲ持ッテ居ル、會テ明治四十二年ニ一般關稅定率ヲ改正スルトキニハ、此滿洲、關東州ニ於ケル所ノ特惠關稅ニ付テハ頗ル議論ガアツテサウシテ其後ニ大分關東州ノ事業ハ擴張シテ増シテ居ルカラ、其當時ニ於テモ議論ガアツタノデアリマスガ、今日ハ一般關稅ト國內ノ工業トドウ云フ關係ヲ持ッテ居ルト云フコトガ、此案ダケデハ分ラヌノデアリマスガ、其大體ノ方針ヲ國務大臣ヨリ説明ヲ承リ、詳細ノコトハ委員會ニ於テ承ハル積リデアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 濱口大藏大臣

○國務大臣(濱口雄幸君) 武藤君ニ御答ヲ致シマスルガ、關東州ノ生産品ニ對シテ特惠關稅ノ制度ヲ用キントスルナラバ、何故ニ一般關稅改正案ヲ具シテ同時ニ出サナカッタノデアルカ、問ク所ニ依レバ一般關稅改正ノ案ハ、政府ニ於テ調査ガ出來テ居ルト云フコトデアアルガ、出來テ居ル以上ハ何故ニ提案ヲシナカッタカト云フガ第一問ノ要旨デアッタト承リマシタ、一般關稅ノ改正ノコトニ付テハ、昨年ノ議會開會以來、政府部内ニ於テハ銳意ニ於テ調査ニ盡力ヲ致シマシタガ、何分ニモ其品目ハ多ク、而モ之ニ對シテ關稅ヲ改正セントスルニ當テハ内地ノ産業、或ハ國民ノ生活、物價ノ問題、總テノ方面ニ於テ非常ニ重大ナル關係ノアル事柄デアリマスルガ故ニ、是ガ調査ハ案外ニ手間取リマシテ、議會開會後ニ於テモ屢々委員會ヲ開キマシテ調査ノ進捗ヲ圖リマシタケレドモ、何分ニモ其調査ガ意ノ如ク進行ヲ致シマセヌ、今日ノ實際ヲ申シマスレバ、關稅ノ定率表ニ上ッテ居リマス所ノ數百種類ノ品物ノ中、政府部内ノ委員會ニ於キマシテ調査ノ結果未決議ヲ致シタモノハ、一品モマダ無イト云フ狀況デアリマス、假決議ヲ致シマシタモノモ漸ク

二十何種類ニシカナッテ居リマセヌ、殊ニ重要ナル品物ニナリマスト云フト、其關係ガ複雜多端ヲ極メテ居リマス、結果、中々容易ニ結論ニ到達ヲ致シマセヌ、隨テ此議會ニ於テハ遺憾ナガラ一般關稅改正案ヲ提案スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、議會閉會ニナリマスレバ直チニ其調査ヲ續行致シマシテ、第五十一議會ニ於テハ一般關稅改正案ヲ提案ヲシタイト云フ考ヲ持ッテ居リマスガ、此議會ニ於キマシテハ其間ニ合ハナカッタノデアリマス、第二ハ特惠關係ノ品目ニ掲シテアル所ノ品物ハ、多クハ關東州外ニ於テ生産スル物、關東州ニ於テ生産スル物ハ餘リ多クナイヤウデアアルガト云フ意味ノ御質問デアリマス、如何ニモ關東州外ニ於テ生産スルモノガ多イノデアリマス、關東州外ニ於ケル所ノ無稅ナル原料ト申シマスレバ、ソレガ關東州(入)テ參リマシタ場合デモ、或ハ直接ニ日本ノ内地ニ入ッテ參リマシタ場合デモ、内地ノ産業ニ及ボス影響ハ餘リ異ナル所ハナイノデアリマス、而シテ此法案ニ掲上致シテアリマス所ノ總テノ品目ガ、今日關東州内ニ於テ悉ク完全ニ生産ヲセラレテ居ルモノト云フ一ツノ原因ハ、即チ外國品ト同様ニ課稅ヲ關東州ノ生産品ニ對シテモ致シテ居ル即チ關稅ヲ課シテ居ルト云フ結果デアアルト考ヘテ居リマス、隨テ今日ニ於テ此關稅ヲ撤廢シ、現在關東州内ニ於テ生産ヲサレテ居リマス所ノ品物、並ニ關稅ヲ撤廢致シマシレバ必ズ關東州内ニ於テ生産ノ事業ガ起ルデアラウト、推定ヲサル、所ノ品物ニ對シテ、茲ニ免稅ヲ致シマスルト云フコトハ、最モ適當ナ事デアアルマイカト斯様ニ考ヘタノデアリマス、第三ハ鹽ノ問題デアリマス鹽ノ形ヲ變ヘタモノガ此度無稅デ入ルト云フコトニナレバ、内地ノ鹽業トノ關係ハ如何ト云フ御質問ノ要旨デアッタヤウデアリマス、是ハ即チ曹達灰ノコトデアラウト伺ヒマシタガ、御承知ノ通り内地ノ鹽ノ生産費ガ非常ニ高イ結果ト致シマシテ、ドウシ

テモ内地ニ於テハ曹達ノ事業ガ發達ヲ致シマセヌ、此曹達ノ事業ト云フモノガ、多數ノ製造工業ノ爲ニ非常ナル必要ナル所ノ基礎工業デアアルト云フコトハ、何人モ異論ノ無イ所デアリマスガ、其曹達ノ事業ガ發達致シマセヌト云フコトハ、即チ日本ノ鹽ノ生産費ノ高イ爲デアリマス、此鹽ノ生産費ノ高イト云フコトハ、必シモ鹽業者ガ之ヲ努メザルニ非ズ、又政府ノ方針ガ違テ居ルニモ非ズ、御承知ノ通り日本ノ内地ニ於テハ、濕氣ノ非常ニ高イ結果トシテ、天日製鹽ヲ造ルコトガ出來マセヌ、況ヤ岩鹽ハ存在ヲシテ居ナイ、海水ヲ煮ナケレバナラヌ譯デアリマスカラ、其製鹽費ハドウシテモ高イ譯デアリマス、此高イ鹽ノ原料ト致シテ曹達ノ事業ノ發達ハ出來マセヌガ、幸ニ致シマシテ關東州ニ於テ天日製鹽ガ行ハレマス結果、鹽ノ製鹽費ガ内地ニ比シテ著シク廉價ニ出來ルノデアリマス、此廉價ナル鹽ヲ利用致シマシテ、關東州ニ於テ曹達ノ事業ヲ興スト云フコトハ、最モ是ハ必要ノ事デアラウト思ヒマス、其曹達ノ事業ヲ興サシメルニ付キマシテハ、曹達灰ノ關稅ヲ撤廢ヲシテヤルト云フコトガ先決問題ト考ヘマシタガ故ニ、此曹達ニ對シテ免稅ヲスルト云フ案ヲ立テタ譯デアリマス、大體御質問ニ對シテ御答致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 質疑ハ終了致シマシタ、日程第六、右三案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

第六 右各案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○副議長(小泉又次郎君) 井本常作君
○井本常作君 各案ヲ一括シテ政府提出、染料獎勵ニ關スル法律案外七件ノ委員ニ、併セテ付託セラレんコトヲ望ミマス
○贊成(贊成)ト呼ブ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認マラス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ
○作間耕逸君
○作間耕逸君 大正十一年度國有財産増減總計算審查ノ件ニ關スル動議ヲ提出致シマ

ス、即チ國有財産法ニ基キ報告セラレマシタル大正十一年度國有財産増減總計算書ハ、爾後監督ノ必要上本院ニ於テ特ニ審査スルノ必要ヲ認メマシタ、仍テ便宜決算委員ニ之ヲ付託シテ審査セシメラレタイトノ動議デアリマス、尙ホ將來モ之ヲ以テ例ト爲サレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ 作問君逸君

○作問君逸君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出シマス、即チ政府提出、日本無線電信株式會社法案ヲ此際特ニ上程シテ議題ト爲シ、其第一讀會ノ續ヲ開カレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕贊成ト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、日本無線電信株式會社法案第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長砂田重政君

日本無線電信株式會社法案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告) 報告書
一日本無線電信株式會社法案(政府提出) 右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月十二日 日本無線電信株式會社法案委員長 砂田 重政

衆議院議長相谷義三殿
〔砂田重政君登壇〕
○砂田重政君 只今議題ニ供セラレマシタ日本無線電信株式會社法案ニ付キマシテハ、過日來委員會ニ於キマシテ最モ慎重ニ審議ヲ致サレマシタ、其質問ノ結果明ニサレマシタ事實ハ、本案ハ我國ト諸外國トノ間ニ往復致シマスル通信事業ハ、今日マデ悉ク第三國ノ電信業者ニ依テ仲介サレツ、アル状態デアリマシテ、段々ニ通信事業ノ發達、通信事業ノ増加致シマスルニ伴ツテ、

我國ノ商工業ノ上ニ、其他諸種ノ上ニ幾多ノ不便ヲ感ジツ、アル現状デアリマス、此際ニ第三國ノ電信事業ノ仲介ヲ經ズシテ、對手國ト直接ニ正確ナル通信ヲ交換シ得ル獨立不羈ノ通信機關ヲ造リ上ダルト云フコトガ、今日ノ最大急務デアリマス、而モ此通信事業ノ中ニ於テ最モ必要ナルモノハ無線電信デアリマス、其直接通信ヲ爲ス無線電信ガ、今日ニ於テ國際間ノ遠距離ノ無線電信ニ於ケル電波長ハ有限デアリマシテ、其數ガ極メテ少ク、到底世界各國ノ要求ヲ充スコトガ出來ナイ状態ニ在リマスルガ故ニ、速ニ國際通信用ノ大無線電信局ヲ建設シテ、此電波長ヲ獨占シ、先占スルト云フコトニ列國共焦慮シテ居ル際デアリマスガ、我國ノ如キ此通信連絡ヲ開拓スル必要ノアル國ニ在リマシテハ、大無線電信局ヲ増設實施致シ、確實ニ此電波長ヲ獲得スルコトガ今日ノ急務デアリマスルケレドモ、之ヲ實行致シマスル爲ニハ非常ナル資力ヲ要シマスルガ、政府財政ノ現状カラ見マシテ、今日ニ於テ之ヲ實行スルコトノ困難ナル現状ニ在リマスル爲ニ、民間ノ資本ニ依リマシテ無線電信局ヲ設備シ、之ヲ維持セシメルコトニスルノ外、今日此電波長ヲ先占スル機會ガ無いト云フ意味ニ於キマシテ提案サレタノデアリマス、而シテ此株式會社ヲ設立致シ、外國無線電報ヲ取扱ヒマスル設備、及此設備ヲ維持スルコトハ會社ガ致ス、サウシテ此事業ハ所謂通信電報ノ受附配達、及機械上ノ受送信等ハ依然トシテ今日同様ニ政府ニ之ヲ爲サシメル、而シテ會社ノ資本金ハ之ヲ二千萬圓ト爲ス、此會社ニ對シテハ政府ガ現ニ所有致シテ居リマスル磐城無線電信局、及歐洲局建設ノ豫定ヲ以テ、既ニ購入ヲ致シテ居リマスル名古屋地方ノ土地ヲ政府ヨリ會社ニ賣物ヲ以テ提供ヲ致ス、其代リニ政府ハ此會社ノ設備ノ費用ニ對シテ、外國ヨリ收入致シ、若クハ日本ヨリ收入致シマスル電報料收入金ノ大部分ヲ割イテ此會社ニ交付スルト云フ計畫デアリマス、尙ホ會社ノ出資ヲ容易ナラシメル爲ニ、政府持株ニ對シテハ原則トシテ

十箇年間配當ノ免除ヲ爲ス、初期ヨリ平均ヲシテ八分以上ノ利益アル場合ニハ、一定ノ條件ノ下ニ政府ノ持株ニ配當ヲ致シ、又每期ノ決算期ニ於テ、資本金ニ對スル一割二分以上ノ利益アル場合ニハ、一定ノ報効金ヲ政府ニ納付セシメルト云フ計畫ニ相成テ居リマス、尙ホ會社ノ業務ニ關シテハ、種々ノ監督ヲ政府ニ於テ爲シ、又此會社ヲ設立ヲ致シマスル委員ノ任命、並ニ會社設立ノ事務ノ一切ハ、政府ニ於テ之ヲ任命實行セシメルト云フ案デアリマス、詳細ハ委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告ヲ致シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ノ二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○作問君逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシ〕異議ナシト呼フ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

日本無線電信株式會社法案 第二讀會(確定議)
○副議長(小泉又次郎君) 別ニ御異議ガナイヤウデアリマスカラ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手) 日程第七、醫師法中改正法律案(第一讀會)ヲ開キ提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス、神部爲藏君

第七 醫師法中改正法律案(神部爲藏君外六名提出) 第一讀會
醫師法中改正法律案
醫師法中左ノ通改正ス
第十一條中「若ハ第十三條第三項但書」ヲ削ル
第十三條第三項但書及第四項ヲ削ル

〔神部爲藏君登壇〕
○神部爲藏君 本案提出ノ趣旨ヲ極メテ簡單ニ辯明致シテ置キマス、醫師法ノ第十三條ノ其一項ニ「本法施行前ノ醫師開業免狀ハ本法施行ノ後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス」ト云フ一項ガゴザイマス、第二項ニ「本法施行前第一條第一項第一號ニ該當セサル官立府縣立醫學校ヲ卒業シタル者ニハ第一條第一項ノ資格ヲ有セサルモ免許ヲ與フルコトアルヘシ」其第三項ニ「本法施行前醫術開業免狀ヲ得タル者ハ本法施行ノ後ト雖醫業ヲ爲スコトヲ得但免許地域外ニ診察所診察所又ハ其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得ス」第四項ニハ「前項但書ノ規定ハ往診治療ヲ爲スコトヲ妨グス」斯ウ云フ條項ガアルノデゴザイマス、本條中ノ第三項ノ但書、即チ「但免許地域外ニ診察所」診察所デアリマセヌ「診察所診察所」又ハ其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得ス」ト云フ字句ト、第四項即チ「前項但書ノ規定ハ往診治療ヲ爲スコトヲ妨グス」ト云フ字句トヲ削除スベキデアルト信ジマシテ、本改正案ヲ提出致シタ次第デアリマス、申上グルマデモゴザイマセヌガ、本案ハ屢、前議會ニ於テ本議會ノ同情ヲ得テ居ル問題デアリマスガ、詳細ノ事ニ至リマシテハ委員會詳シク説明致シマス、一言申上ゲテ置キタイノハ明治十六年十二月二十三日ノ大政官布告ニ基キマシテ、醫師ニ乏シイ地方人民ノ要求ト醫師トナルベキ者ノ請願トニ依ツテ、或ハ一定ノ地域ヲ限テ許可セラレテアルノデアリマシテ、醫師普及ノ政策ニ出ダタモデアアルノデゴザイマス、然ルニ政府ハ明治三十一年以來此規定ガアルニモ拘リマセズ、絕對ニ許可ヲ與ヘナイノデアリマス、明治三十九年ノ醫師法改正ニ當リマシテ、域外往診ヲ妨グズトノ規定ヲ附加ヘテ、遂ニ全然許可シナイ方針ヲ執ツタノデアリマス、是ハ文運ノ進展ニ伴ヒマシテ、大學其他ノ學校カラ年々歳々幾千ノ醫師ガ輩出致シテ居ルノデゴザイマス、開業醫ヲ見ルニ至ラタノデアリマス、洵ニ結構ノ事デアリマスルガ、是ガ爲ニ一定ノ地域ヲ限ツテ

〔神部爲藏君登壇〕
○神部爲藏君 本案提出ノ趣旨ヲ極メテ簡單ニ辯明致シテ置キマス、醫師法ノ第十三條ノ其一項ニ「本法施行前ノ醫師開業免狀ハ本法施行ノ後ト雖仍其ノ效力ヲ有ス」ト云フ一項ガゴザイマス、第二項ニ「本法施行前第一條第一項第一號ニ該當セサル官立府縣立醫學校ヲ卒業シタル者ニハ第一條第一項ノ資格ヲ有セサルモ免許ヲ與フルコトアルヘシ」其第三項ニ「本法施行前醫術開業免狀ヲ得タル者ハ本法施行ノ後ト雖醫業ヲ爲スコトヲ得但免許地域外ニ診察所診察所又ハ其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得ス」第四項ニハ「前項但書ノ規定ハ往診治療ヲ爲スコトヲ妨グス」斯ウ云フ條項ガアルノデゴザイマス、本條中ノ第三項ノ但書、即チ「但免許地域外ニ診察所」診察所デアリマセヌ「診察所診察所」又ハ其ノ出張所ヲ設クルコトヲ得ス」ト云フ字句ト、第四項即チ「前項但書ノ規定ハ往診治療ヲ爲スコトヲ妨グス」ト云フ字句トヲ削除スベキデアルト信ジマシテ、本改正案ヲ提出致シタ次第デアリマス、申上グルマデモゴザイマセヌガ、本案ハ屢、前議會ニ於テ本議會ノ同情ヲ得テ居ル問題デアリマスガ、詳細ノ事ニ至リマシテハ委員會詳シク説明致シマス、一言申上ゲテ置キタイノハ明治十六年十二月二十三日ノ大政官布告ニ基キマシテ、醫師ニ乏シイ地方人民ノ要求ト醫師トナルベキ者ノ請願トニ依ツテ、或ハ一定ノ地域ヲ限テ許可セラレテアルノデアリマシテ、醫師普及ノ政策ニ出ダタモデアアルノデゴザイマス、然ルニ政府ハ明治三十一年以來此規定ガアルニモ拘リマセズ、絕對ニ許可ヲ與ヘナイノデアリマス、明治三十九年ノ醫師法改正ニ當リマシテ、域外往診ヲ妨グズトノ規定ヲ附加ヘテ、遂ニ全然許可シナイ方針ヲ執ツタノデアリマス、是ハ文運ノ進展ニ伴ヒマシテ、大學其他ノ學校カラ年々歳々幾千ノ醫師ガ輩出致シテ居ルノデゴザイマス、開業醫ヲ見ルニ至ラタノデアリマス、洵ニ結構ノ事デアリマスルガ、是ガ爲ニ一定ノ地域ヲ限ツテ

永イ間國民保健ノ保持者デア、ク限地醫ハ、年々歳々是等新進ノ開業醫ノ爲ニ其領域ヲ侵サレテ居リマス、轉地開業ノ權限ガ無イ爲ニ、殆ド其日ノ饑口ヲ凌グトモ出來ナイ程ニ困難ヲ致シテ居ルノデアリマス、是等ハ過去三十有餘年ノ間、山間僻地ニ在リマシテ地方住民ノ病苦ヲ救ヒ、國家保健ノ重責ヲ一身ニ荷ウテ來タニモ拘リマセズ、弊履ノ如ク捨テラレテ顧ミル者ガ無イト云フコトハ、海ニ言語ニ絶スル悲惨事デアルト申サナケレバナラヌノデアリマス、今日殘テ居リマス限地醫ハ、殆ド三十年間醫術ノ研究ト實驗トヲ積ンデ居ルノデオゴザイマシテ、隨テ其手腕ハ許可當時ニ比ベマシレバ大ニ進歩ヲ致シテ居リマス、三年乃至四年ノ學校教育ヲ受ケマシタ者ヨリモ寧ロ安全ニシテ確實ナル技術ヲ持テ居ルトハ信ジテ居ル次第デオゴザイマス、加之明治十四、五年頃ニ於キマシテ、單ニ一科ノミヲ修業致シマシタ者ニ對シテ、明治十八年五月四日、時ノ内務卿ガ全科ノ開業ヲ許シテ、醫師ノ子弟等ニ試驗ヲ要セズシテ普通醫師ノ免狀ヲ下付シテ實例モアルコトデアリマスカ、學術手腕ノ點ニ於キマシテモ何等顯慮スル所ガ無カラウト思フノデオゴザイマス、何卒限地醫ノ悲惨ノ境遇ニ一掬同情ノ涙ヲ注ガレマシテ、彼等ノ爲ニ其壓迫ノ領域ヲ撤去致シテ、自由ノ天地ニ自由ノ手腕ヲ振フコトヲ得セシムルヤウニ改正致シマシテ、限地醫ノ生存權ヲ確保ヲ致シタイト存ズルノデオゴザイマス、私ハ茲ニ抽象的理論ノ説明ヲ避ケマシテ、努メテ其實情ヲ諸君ニ訴ヘマシテ、限地醫ノ爲ニ御賛同ヲ下サイマシテ、ドウカ本案ノ通過致シマスルヤウニ切ニ御願致ス次第デオゴザイマス(拍手)

○作間耕逸君 本案ハ東武君外十一名提出ノ北海道農地特別處理法案ノ委員ニ併セテ付託セラレントヲ望ミマス
○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第八ハ提出者ヨリ延期ノ申出ガアリマシタ、許可スルニ御異議ア

リマセヌカ
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼ブ者アリ
○副議長(小泉又次郎君) 異議ナシト認メマス、仍テ延期ニ決シマシタ。日程第九、大正十一年法律第六十號中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、提出者ノ趣旨辯明ヲ求メマス——若尾璋八君
第九 大正十一年法律第六十號中改正法律案(增田義一君外四名提出) 第一讀會

大正十一年法律第六十號中改正法律案
大正十一年法律第六十號中左ノ通り改正ス
附則第二項ヲ左ノ如ク改ム
第十八條ノ改正規定中有價證券ノ賣買取引ノ期限ニ關スル規定ハ大正十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
〔若尾璋八君登壇〕

○若尾璋八君 私人本案提出ノ理由ヲ極メテ簡單ニ辯明致シタイト思ヒマス、有價證券取引ノ三箇月限月制度ハ、御承知ノ通り大正十一年法律第六十號ヲ以テマシテ、之ヲ二箇月ニ短縮セラレ、本年四月一日ヲ以テマシテ之ヲ實行セラル、コトニ相成テ居ルノデオゴザイマス、限月ノ短縮ニ依リマシテ、果シテ能ク投機思慮ヲ抑制スルコトガ出來ルヤ否ヤ、又大量ノ取引ヲ消化致シマシテ、因滿ニ市場ノ秩序ヲ保チ、以テ眞ニ公道市價ノ標準ヲ定メルコトガ出來得ルヤ否ヤ、即チ限月短縮ノ可否ニ關係致シマスル所ノ議論ハ倍極キマシテ、私ハ現下ノ我國ノ經濟事情ヲ顧ミ、此疲弊困憊ノ極ニ達シテ居リマスル所ノ實情ノ下ニ於キマシテ、此法案ヲ相當ノ期間其實施ヲ延期スルト云フコトガ、最も至當ナル處置デアラウト深ク信ズル者デアリマス(拍手) 顧ミマスレバ大正九年ニ於ケル財界ノ大動搖ハ、各方面ニ大打撃ヲ與ヘマシテ、其整理ガ未ダ付カザル間ニ、又一昨年ノ大震災災ニ遭遇致シマシテ、其創痛未ダ癒エザル時ニ當リマシテ、銀行ノ如キ又會社ノ如キ、其整理ニ汲々トシテ日モ亦足ラザル所ノ現狀デアルコト

ハ、諸君ノ御承知ノ通りデオゴザイマス、幸ヒ昨年ノ夏以來米國經濟界ノ景氣恢復ヲ先驅ト致シマシテ、英國ニ於キマシテハ御承知ノ如クニ彼ノ「ドーズ」案ノ通過可決ニ依リマシテ、經濟界ノ基礎ハ漸ク定マリ、財界好轉セル折柄、英國新内閣ノ出現ニ依リマシテ、内外ノ政局益々全ク安定シ、財政經濟ノ狀態ガ著シク其面目ヲ改メテ、今ヤ世界ノ經濟界ノ復興ト共ニ、我國ノ財界モ亦現政府ノ行政財政ノ整理ト相俟テ、漸ク安定ノ曙光ヲ認メントスル此際此時ニ於キマシテ、此法令ヲ實施スルコトニ依テ、有價證券ノ低落ヲ招致シ、財界ヲシテ再ビ沈靜ノ域ニ陥ラシムルニ至ラセ、私ハ我が經濟界ノ爲ニ洵ニ忍ビ得ザル所デオゴザイマス、然ルニ限月短縮ノ結果財界ニ左程ノ影響ハ無イ、大シク損害ハ無イダラウト云フ說モ各方面ニ起テ居リマスガ、論ヨリ證據、此限月短縮ノ豫想ノ下ニ於キマシテ、最近有價證券ハ著シク低落ヲ來シマシテ、其影響ハ既ニ綿絲其他一般ノ商品市場ニモ及ボシテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク險惡ナル暗流ガ證券市場ニ存在致シテ居リマシテ、愈々此限月短縮ガ實行セラレル曉ニ於キマシテハ、財界ノ各方面ニ相當ナル打撃ヲ與フルコトハ、去ル明治三十五年ノ實例ニ徴シテモ明白デアラウラウト深ク信ズルノデオゴザイマス(拍手) 明治三十五年ノ六月ニ於キマシテ、勅令第五百五十八號ヲ以テ從來ノ三箇月制度ヲ二箇月制度トスルト云フコトノ勅令ガ發布セラレラル、有價證券△非常ナ大暴落ヲ來セ、證券市場ハ大混亂ヲ來シマシテ、遂ニ其結果ハ金融界ヘモ其他ノ事業界ヘモ大ナル打撃ヲ與ヘ、而モ此打撃ガ一時的ニ非ズシテ、其翌年三十六年ノ八月ヲ以テマシテ、政府ハ勅令百二十七號ヲ以テ、限月制度ヲ再ビ三箇月限月制度ニ復舊致シタノデアリマス、其一年有餘ノ間ト云フモノハ財界ガ非常ニ沈衰ヲ極メマシテ、株式取引市場ノ如キ、一日ノ出來高ガ僅ニ一千株若クハ二千株位ノ悲境ニ沈淪致シテ居ラドゴザイマス、幸ニ今回ハ明治三十五年ノ如ク此法令ガ突發の二出ズ

シテ、三年モ前ニ豫告シテ居ラドデアリマスカラ、左様ニ急激ナル所ノ激變低落ト云フモノハ無イカモ知レマセヌガ、矢張相當ノ打撃ヲ得ルコトハ明デアラウラウト思フノデオゴザイマス、殊ニ其當時ニ於キマスル所ノ財界ト今日ノ財界ハ、其大小廣狹固ヨリ同日ノ論デハナイノデアリマス、其當時ノ我が株式會社ノ資本金總額ハ十三億餘圓ニ過ギナカ、今日ノデアリマシタガ、今日ハ株式ニ於キマシテハ、百八十餘億、公債社債ニ於テ八十億、有價證券合計二百六十億ニ達シテ居ルノデアリマス、假ニ論者ノ言フガ如ク限月短縮ノ影響ガ左程デモナイ、影響ハ大シクコトデモナイト致シマシテ、即チ極ク僅ナル所ノ影響ガアルモノト假定致シマシテ、平均價格五圓ノ低落ヲ招ケバ是ガ九億ニナリ、一割ノ低落ヲ招ケバ即チ十八億ト云フ金額ニ上ルノデアリマス、而シテ其九億若クハ十八億ト云フモノハ、ソレダケ融通力擔保力ト云フモノヲ減殺セララルガ故ニ、之ガ爲ニ金融業者ノ受クル所ノ影響ト云フモノハ非常ナルモノデアラウラウト想像サレルノデオゴザイマス、我が財界ノ狀態ハ、卑近ナル例ヲ以テ之ヲ申シマシタナラバ、最も絶對安靜ヲ必要トスル所ノ状態デアルノデアリマス、斯ノ如キ狀態デアリマスルカラ、事苟モ財界ノ動搖ヲ來スベキ所ノ虞アル事柄ハ、其大小如何ニ拘ラズ、其實施ヲ見合セルト云フコトガ當然デアラウト思フノデアリマス(拍手) 然ラド限月ノ制度ト云フモノハ、諸君御承知ノ如ク、四十七箇年間モ我國ニ於テ實行セラレ、我が經濟界ニ多年馴致セラレタル所ノ商習慣デアリマスルカラシテ、一層考慮スベキコト、考ヘルノデアリマス、尙ホ此問題ニ付キマシテハ、全國ノ商業會議所ハ其聯合會ニ於テ、經濟界ノ未ダ安定セザルノ際斯ル取引所慣習ノ革新ヲ斷行スルコトハ、其時機ヲ得タルモノニ非ザルヲ以テ、適當ノ時機ニ達スルマデは其實施ヲ延期セラレントノ決議ヲ爲シ、又日本郵船會社以下主ナル所ノ百四十ノ各事業會社、此總資本金額ガ三十一億餘萬、此總株數六千三十一萬株、彼ノ

○若尾璋八君 私人本案提出ノ理由ヲ極メテ簡單ニ辯明致シタイト思ヒマス、有價證券取引ノ三箇月限月制度ハ、御承知ノ通り大正十一年法律第六十號ヲ以テマシテ、之ヲ二箇月ニ短縮セラレ、本年四月一日ヲ以テマシテ之ヲ實行セラル、コトニ相成テ居ルノデオゴザイマス、限月ノ短縮ニ依リマシテ、果シテ能ク投機思慮ヲ抑制スルコトガ出來ルヤ否ヤ、又大量ノ取引ヲ消化致シマシテ、因滿ニ市場ノ秩序ヲ保チ、以テ眞ニ公道市價ノ標準ヲ定メルコトガ出來得ルヤ否ヤ、即チ限月短縮ノ可否ニ關係致シマスル所ノ議論ハ倍極キマシテ、私ハ現下ノ我國ノ經濟事情ヲ顧ミ、此疲弊困憊ノ極ニ達シテ居リマスル所ノ實情ノ下ニ於キマシテ、此法案ヲ相當ノ期間其實施ヲ延期スルト云フコトガ、最も至當ナル處置デアラウト深ク信ズル者デアリマス(拍手) 顧ミマスレバ大正九年ニ於ケル財界ノ大動搖ハ、各方面ニ大打撃ヲ與ヘマシテ、其整理ガ未ダ付カザル間ニ、又一昨年ノ大震災災ニ遭遇致シマシテ、其創痛未ダ癒エザル時ニ當リマシテ、銀行ノ如キ又會社ノ如キ、其整理ニ汲々トシテ日モ亦足ラザル所ノ現狀デアルコト

大震火災ノ創痛未ダ癒エズ、財界ノ安定セザル今日、多年馴致シ來タ所ノ有價證券ノ三箇月制度ヲ變革セントスルコトハ、其時機ヲ得タルモノニ非ザルコト、決議シタル全國株式取引所聯合會ノ署名同意ヲ表シタルガ如キ、復ニ限月短縮延期ノコトハ、實業界事業界ノ輿論デアリマス。政府ニ於テモ此法令ヲ實施斷行スルコトニ依テ、國家ガ何ノ利益スル所ナク、又此法令ヲ延期スルコトニ依テ、國家ガ其弊害ノ認ムベキモノノ無イト致シタラバ、此實業界及事業界ノ輿論ニ逆行シタ此法令ヲ斷行突破シナケレバナラヌ必要ガ、果シ何所ニ在ルノデアリマセウカ、此財界ニ於テ重要ナル問題、此焦眉ノ急ヲ要スル所ノ案件ニ付キマシテハ、有力ナル各政黨ノ力ニ依テ、始メテ是ガ解決セラルベキ問題デアリガ故ニ、速ニ其御提案ヲ願ヒ、吾々ハソレニ追隨シテ其目的ヲ達成センコトヲ希フモノデアリマス。會期切迫ノ今日、剩ス所僅ニナリマシタニ付テ、私ハ、僥越ヲモ願ミズ、一部同志ノ御賛成ヲ得テ本案ヲ提出致シタノデゴザイマス、之ヲ要シマスルノ、私ハ此際此法律ノ實施ヲ三箇月延期致スコトガ、目下ノ所最モ穩當ニシテ且ツ適切ナル處置デアラウト考ヘマシテ、改正案ヲ提出シタ次第デアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ希望シマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シ賛成ノ通告ガアリマス、堤康次郎君——堤康次郎君

(堤康次郎君登壇)

○堤康次郎君 極メテ簡單ニ本案ニ賛成ノ意見ヲ申上ダマス、秩序ヲ維持スルガ爲ニ制定シタル法律、其法律ノ爲ニ却テ秩序ヲ紊亂サレルコトガアルノデアリマス、新取引所法ニ依テ限月ガ短縮セラル、ト云フ此條文ハ、確ニ其一ツデアルト信ズルノデアリマス、此三箇月ノ限月制度ハ極メテ長イ間ノ歴史ヲ有シテ居リマシテ、我國ノ經濟事情トハ最モ能ク適合致シテ居ルノデアリマスルガ、此限月ヲ短縮スルト云フ議論ハドウシテ起リタカト申シマスルト、此

取引所ヲ會員組織ニスルト云フコトヲ前提トシタノデアリマス、歐米ノ如ク我ガ取引所ヲ會員組織ニスルト云フコトガ宜イト云フ議論ガ、此新取引所法ノ制定セラル、當時ハ盛ニナリテ、官民共ニ此議論ニカブレ、取引所ヲ會員組織ニスルト云フコトヲ前提トシテ、限月ノ短縮ヲスルト云フコトガ起リタノデアリマスルガ、既ニ今直ニ限月ヲ短縮スルト云フコトハ、經濟界ニ對シテハ勳搖ヲ來ス虞ガアルカラ、期間ヲ三箇月先ヘ延長シテ置ク、其間ニ株式會社ノ取引所ガ漸次會員組織ニ變更セラル、デアラウト思テ居リマシタガ、豫期ニ反シマシテ株式取引所デ會員組織ニ變更セラレタモノハマダ一ツモ無イデアリマス、寧ろ今日ニ於テハ、資力信用ガ、歐米ノ如ク皆ナ一致シテ居ナイ仲買人ガ、多數集テ賣買ヲスルノデアリカラ、取引所ト云フモノノ其間ニ介在シテ、取引所ノ資本ガ各自ノ取引ニ對シテ絶對ニ保障ヲスルト云フ現在ノ制度ガ、最モ我國ニ適合シテ居ルト云フ意見ガ輿論ニナリテ居ルノデアリマス、シテ見マスルト

此會員組織ヲ前提トシタ限月ノ短縮ト云フコトハ、全ク意味ヲ成サナイコトニナリテ居ルノデアリマシテ、此限月短縮ヲ延期スルト云フ本案ヲ提出スルヨリモ、議論ノ筋ト致シマシテハ、舊ノ通りニ還元スルト云フコトガ寧ろ徹底シテ居ルト思フノデアリマスルガ、併シ只今ハ之ヲ論ズル必要ハアリマセヌ、此限月短縮ヲ延期スルトガ善イカ惡イカト云フコトヲ論ズレバ、ソレデ宜シイノデアリマス、勿論此限月短縮ハ延期シナケレバナラナイト思フノデアリマシガ、延期シナイ方ガ宜イト云フ今ノ議論ハ、投機熱ヲ抑制スルト云フ一點ニ在ルノデアリマス、併シ此限月短縮政シマシテモ、必ズ投機熱ヲ抑壓スルコトガ出來ルカドウカ、是ハ疑問デアアル、今茲ニ三萬株ノ注文ガアルト致シマシテ(「簡單」ト呼フ者アリ)之ヲ三箇月ニ分ケルト二箇月ニ分ケルトノトハ、二箇月ニスル方ガ嵩ム、隨テ値段ノ高低ガ激シクナリマシテ、其所ニ投機ノ妙味ガ生ズル、隨テ投機熱ヲ助長ス

ルト云フコトニナルノデアリマスルカラ、必ズ限月ヲ短縮シタラバ、投機熱ヲ抑壓スルト云フ議論ハ絕對ノモノノデアリマセヌガ、一步譲リマシテ投機熱ヲ抑壓スルコトニ効果ガアルト假定致シマシテモ、投機熱ヲ抑壓スルト云フコトニハ自ら程度ガアリマス、性慾ト射倖心ト云フモノハ、人間ニ通有シテ居ル所ノ弱點デアリマシテ、是ノ排泄口ハ何所カニ求メナケレバナラナイ、歐洲ノ大陸ニ於テハ「モナコ」公國ヲ此射倖心ノ排泄口ト致シテ賭博ヲ公許致シテ居ル、「モナコ」公國ノ歳入ハ賭博ノ幸錢ヲ以テ宛行テ居リマシテ負ケタ者ガ自殺スルモノニ都合ノ好イヤウニ、國營ノ自殺所マデモ設ケテ居ルト云フヤウナ有様デアリマスガ、併シ我國ニ於テハ賭博ハ絕對ニ嚴禁致シテ居リマスガ、併シ各種ノ定期取引ニ於テ其一部分ニ轉賣買戻ノ差金取引ヲ許シ、此所ヲ國民ノ射倖心ノ排泄口ト致シテ居ルノデアリマス、又射倖心ヲ排泄スルト云フ自ラ程度ガアル、又射倖心ヲ排泄スルト云フコトハ三箇月ガ最モ適度デアルト私ハ考ヘマス、四箇月ハ長過ギルシ、二箇月ハ短過ギルト思フ、此三箇月ガ適當デアルト云フコトハ、長イ間ノ歴史ガ立證致シテ居ルノデアリマスガ、百歩ヲ譲リマシテ三箇月ハ不當デアアル、二箇月ニシナケレバナラナイト假定ヲ致シマシテモ、今之ヲ直ニ實行スルコトハ甚ダ宜クナイ、我ガ經濟界ハ未會有ノ震災ト云フ大打擊ヲ受ケテ、正ニ致命傷ノ瘡ヲ負ウタノデアアル、外科的ノ大手術ヲ受ケタ後デアリマスカラ、今ハ絕對ニ安靜デナケレバナラナイ、今變動ヲ來スト云フコトハ甚ダ宜クナイノデアリマス、會テ此限月ヲ二箇月ニ短縮シタ結果、財界ノ大動亂ヲ來シタ歴史ガアルノデアリマシガ、今日ニ於テハ左様ナ動搖ハ來サナイカモ知レナイガ、併シ相當ノ動搖ハアルモノト覺悟シナケレバナラナイ、ドウシテモ只

今此二箇月ノ限月制度ヲ實行スルト云フコトハ宜クナイコトハ明デアリマスルカラ、滿場ノ諸君ノ御賛成アラシコトヲ望ム次第デアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 平井光三郎君

(平井光三郎君登壇)

○平井光三郎君 本員ハ簡單ニ趣旨ヲ述ベマシテ、本提出案ニ賛成ノ意ヲ表スル者デアリマス、大正十一年法律第六十號ニ依リマシテ、株式取引所ノ定期取引ハ三箇月ノ限月ヲ二箇月ニ短縮スルト云フ法律ヲ定メラレタノデアリマス、ソレカラ此實施ノ期限ハ約三箇年間延期スルコトニナリテ居タノデアリマスガ、本年四月一日カラ愈、實行スルコトニナリタノデアリマス、政府ガ三箇月ノ限月ヲ二箇月ニ短縮スルト云フ意思ハ、三箇月ト云フ限月ヲ置イテ置クト、自然差金賣買ガ容易ニ行ハレ、隨テ投機心ヲ助長スルト云フ趣旨カラ出タノデアリマシ、ソレカラ第二ハ歐洲大陸ニ於キマシテハ此取引所ノ限月ハ長キハ二箇月、短キハ約二週間ノ期日ヲ決メテ取引ヲ行ヒテ居ルノデアリマス、又米國ニ於テハ此翌日制ノ短期賣買ト云フコトガ行ハレテ居ルノデアリマス、之ヲ參酌致シマシテ、歐洲大陸又ハ亞米利加ノソレノ如ク、日本ノ此取引所法ヲ接近セシメヤウト云フノガ此法律ヲ作リ趣意デアアルノデアリマス、併シ政府ガ此法律ヲ決メマシタ當時ニ於テハ、之ヲ直ニ實施スルコトハ財界ニ急激ナル變動ヲ與ヘマシテ、其結果非常ナル所ノ惡影響ヲ及ボスト云フノデ、三箇年ノ期間ヲ置イテ今日マデ實施ヲ延期致シテ居タノデアリマス、然ルニ此三箇年ノ間ニ於テハ、既ニ御承知ノ通り一昨年大震火災ガ勃發致シマシテ、是ガ爲ニ東京ニ於ケル事業會社ト言ヒ、或ハ實業關係ノ人ミト云ヒ、非常ナル打擊ヲ受ケタノデアリマス、此打擊ガドノ程度ニ達シテ居ルカラ概略此處デ申シマシナラバ、東京株式取引所ニ上場サレマシテ賣買サレテ居ル株式、ソレノ會社ノ數ガ百六十社デアリマス、サウシテ株式ノ種類ガ二百四十六種、公稱資本金ガ三十七億二千

取引所ヲ會員組織ニスルト云フコトヲ前提トシタノデアリマス、歐米ノ如ク我ガ取引所ヲ會員組織ニスルト云フコトガ宜イト云フ議論ガ、此新取引所法ノ制定セラル、當時ハ盛ニナリテ、官民共ニ此議論ニカブレ、取引所ヲ會員組織ニスルト云フコトヲ前提トシテ、限月ノ短縮ヲスルト云フコトガ起リタノデアリマスルガ、既ニ今直ニ限月ヲ短縮スルト云フコトハ、經濟界ニ對シテハ勳搖ヲ來ス虞ガアルカラ、期間ヲ三箇月先ヘ延長シテ置ク、其間ニ株式會社ノ取引所ガ漸次會員組織ニ變更セラル、デアラウト思テ居リマシタガ、豫期ニ反シマシテ株式取引所デ會員組織ニ變更セラレタモノハマダ一ツモ無イデアリマス、寧ろ今日ニ於テハ、資力信用ガ、歐米ノ如ク皆ナ一致シテ居ナイ仲買人ガ、多數集テ賣買ヲスルノデアリカラ、取引所ト云フモノノ其間ニ介在シテ、取引所ノ資本ガ各自ノ取引ニ對シテ絶對ニ保障ヲスルト云フ現在ノ制度ガ、最モ我國ニ適合シテ居ルト云フ意見ガ輿論ニナリテ居ルノデアリマス、シテ見マスルト

此會員組織ヲ前提トシタ限月ノ短縮ト云フコトハ、全ク意味ヲ成サナイコトニナリテ居ルノデアリマシテ、此限月短縮ヲ延期スルト云フ本案ヲ提出スルヨリモ、議論ノ筋ト致シマシテハ、舊ノ通りニ還元スルト云フコトガ寧ろ徹底シテ居ルト思フノデアリマスルガ、併シ只今ハ之ヲ論ズル必要ハアリマセヌ、此限月短縮ヲ延期スルトガ善イカ惡イカト云フコトヲ論ズレバ、ソレデ宜シイノデアリマス、勿論此限月短縮ハ延期シナケレバナラナイト思フノデアリマシガ、延期シナイ方ガ宜イト云フ今ノ議論ハ、投機熱ヲ抑制スルト云フ一點ニ在ルノデアリマス、併シ此限月短縮政シマシテモ、必ズ投機熱ヲ抑壓スルコトガ出來ルカドウカ、是ハ疑問デアアル、今茲ニ三萬株ノ注文ガアルト致シマシテ(「簡單」ト呼フ者アリ)之ヲ三箇月ニ分ケルト二箇月ニ分ケルトノトハ、二箇月ニスル方ガ嵩ム、隨テ値段ノ高低ガ激シクナリマシテ、其所ニ投機ノ妙味ガ生ズル、隨テ投機熱ヲ助長ス

ルト云フコトニナルノデアリマスルカラ、必ズ限月ヲ短縮シタラバ、投機熱ヲ抑壓スルト云フ議論ハ絕對ノモノノデアリマセヌガ、一步譲リマシテ投機熱ヲ抑壓スルコトニ効果ガアルト假定致シマシテモ、投機熱ヲ抑壓スルト云フコトニハ自ら程度ガアリマス、性慾ト射倖心ト云フモノハ、人間ニ通有シテ居ル所ノ弱點デアリマシテ、是ノ排泄口ハ何所カニ求メナケレバナラナイ、歐洲ノ大陸ニ於テハ「モナコ」公國ヲ此射倖心ノ排泄口ト致シテ賭博ヲ公許致シテ居ル、「モナコ」公國ノ歳入ハ賭博ノ幸錢ヲ以テ宛行テ居リマシテ負ケタ者ガ自殺スルモノニ都合ノ好イヤウニ、國營ノ自殺所マデモ設ケテ居ルト云フヤウナ有様デアリマスガ、併シ我國ニ於テハ賭博ハ絕對ニ嚴禁致シテ居リマスガ、併シ各種ノ定期取引ニ於テ其一部分ニ轉賣買戻ノ差金取引ヲ許シ、此所ヲ國民ノ射倖心ノ排泄口ト致シテ居ルノデアリマス、又射倖心ヲ排泄スルト云フ自ラ程度ガアル、又射倖心ヲ排泄スルト云フコトハ三箇月ガ最モ適度デアルト私ハ考ヘマス、四箇月ハ長過ギルシ、二箇月ハ短過ギルト思フ、此三箇月ガ適當デアルト云フコトハ、長イ間ノ歴史ガ立證致シテ居ルノデアリマスガ、百歩ヲ譲リマシテ三箇月ハ不當デアアル、二箇月ニシナケレバナラナイト假定ヲ致シマシテモ、今之ヲ直ニ實行スルコトハ甚ダ宜クナイ、我ガ經濟界ハ未會有ノ震災ト云フ大打擊ヲ受ケテ、正ニ致命傷ノ瘡ヲ負ウタノデアアル、外科的ノ大手術ヲ受ケタ後デアリマスカラ、今ハ絕對ニ安靜デナケレバナラナイ、今變動ヲ來スト云フコトハ甚ダ宜クナイノデアリマス、會テ此限月ヲ二箇月ニ短縮シタ結果、財界ノ大動亂ヲ來シタ歴史ガアルノデアリマシガ、今日ニ於テハ左様ナ動搖ハ來サナイカモ知レナイガ、併シ相當ノ動搖ハアルモノト覺悟シナケレバナラナイ、ドウシテモ只

今此二箇月ノ限月制度ヲ實行スルト云フコトハ宜クナイコトハ明デアリマスルカラ、滿場ノ諸君ノ御賛成アラシコトヲ望ム次第デアリマス

今此二箇月ノ限月制度ヲ實行スルト云フコトハ宜クナイコトハ明デアリマスルカラ、滿場ノ諸君ノ御賛成アラシコトヲ望ム次第デアリマス

六百八十万圓デアリマス、又大阪株式取引所ニ上場サレテ居リマス其株式會社ノ數ハ百十社デアリマス、其株式ノ種類ハ二百七種、公稱資本金二十九億九千九百圓デアリマス、京都取引所ハ七十二會社、此公稱資本金ガ二十四億二千圓デアリマス、名古屋取引所ニ上場サレテ居リマスモ、ガ會社ノ數ガ四十八會社其株式ノ種類ハ七十五種、此資本金ガ十七億四千七百圓デアリマス、神戸ノ取引所ニ上場サレテ居リマス株式ノ數ガ七十九、此資本金ガ十二億九千九百圓デアリマス、ソレカラ博多ガ資本金ガ十一億二千圓、現在帝國ニアリマスル六取引所ニ上場サレテ居リマス我ガ株式會社ノ公稱資本金ハ實ニ百三十三億二千圓ノ巨額ニ達シテ居ルデアリマス、一昨年ノ日本銀行ノ調査ニ依リマスルト、我國ノ事業會社ノ公稱資本金ハ百八十四億圓ニナリテ居ルデアリマス、即チ其七割ガ株式市場ニ上場サレ、是ガ賣買サレテ居ル此賣買サレテ居ルガ故ニ相當ノ價值ヲ持テ居ル、所デ此株式ハドウ云フ風ニ是ガ流通シテ居ルカト申シマスレバ、是ハ既ニ諸君御承知ノ通り、是ハ殆ド銀行ニ擔保トシテ入レテ居ル、サウシテ其資金ガ又次ノ事業ニ流用サレテ居ルデアリマス、然ルニ一昨年ノ大震災災ニ因リマス、殆ド事業會社ト言ヒ、或ハ有ユル實業家ト言ヒ、非常ナル所ノ打撃ヲ被テ居ルデアリマス、是ニ於テ只今此震災後ノ創痍ノ癒エナイ只今ニ於キマシテ、急激ニ此限月短縮ヲ實行致シマスルナラバ、取引所ノ方面ヨリ致シテ、此株式ガ暴落スルト云フコトハ、是ハ何人モ豫想シ得ル所デアアル、又三十五年ノ實例ニ徴シテモ明デアアル、此問題ハ表面小ナルガ如キモ實ハ重大ナル所ノ關係ヲ持テ居ルデアアル、故ニ私ハ此限月ノ短縮ト云フコトニ付キマシテハ、モウ前途三年バカリ延期ヲ致シマシテ、サウシテ財界ガ恢復ヲ致シ、サウシテ事業界ニ於テモ稍、恢復ノ曙光ヲ現シタ時分ニ、是ハ實施ヲシテモ敢テ遅クハアルマイルト云フ自分ハ考ヲ持テ居ルデアリマス、此點ニ

付キマシテハ、前提案者ヨリ種々説明ガアリマシタカ、簡單ニ申上ダテ置キマスガ、斯様ナル重大ナル問題ヲ黨派ノ爲ニ葬リ去ルガ如キハ、是ハ諸君ガ其責任ヲ負ハナケレバナラヌ、殊ニ農商務大臣ハ之ニ對シテ重大ナル責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトヲ斷言シテ此壇ヲ降ルデアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 三土政府委員(政府委員三土忠造君登壇)

○政府委員(三土忠造君) 只今議題ニナリテ居リマスル所謂取引所法ノ改正案ニ付キマシテ、此際政府ノ所見ヲ簡單ニ申述ベテ置ク必要ガアラウト思フデアリマス、取引所ノ改正——言換ヘレバ限月短縮問題ナルモノハ、我國ノ財界ニ於キマシテ二十幾年ノ長イ問題デアッタノデアリマス、大正十一年法律改正ノ際ニ、此問題ハ主題トナテ論議サレタノデアリマス、即チ大正十一年ニ政府ガ改正法律案ヲ提案致シマスルマデニ、數年間ニ互リマシテ斯道ノ專門學者並ニ權威者ヲ集メテ十分ニ其意見ヲ徵シ、政府ニ於キマシテ嚴正公平ニ考ヘテ最モ適當ト信ズル所ニ依テ改正案ヲ提案致シタコトハ、諸君ノ御承知ノ通りデアリマス、其當時ニ於キマシテ、隨分此改正案ハ根本ニ互リ改正デアリマシタガ、他ノ部分ハ全部大正十一年ヨリ實施致シマシタガ、唯、限月ニ關スル此條項ノ致ハ非常ナ重大ナル問題デアリマス、取引ノ商習慣ニ激變ヲ來サシメル問題デアリマスルカラ、相當ニ準備期間ヲ與ヘル必要アリト致シマシテ、殊ニ三箇年間ノ猶豫ヲ與ヘ——本年即チ大正十四年ノ四月一日ヨリ之ヲ實施スルト云フコトニ致シテ居タノデアリマス、然ルニ實施間際ニナリマシテ、當業者ノ間ニ限月短縮ノ延期ノ運動ヲ起シマシテ、色々ナル理由ヲ述ベテ居リマスガ、私共ノ耳ニ達シテ居リ、且ツ吾々共直接承リマシタ所ニ依リマスト云フト、主トシテ限月其モノガ宜シクナイト云フ議論ガ多イデアリマス、即チ現在ノ三箇月ガ我國ノ經濟界ノ商習慣ニ最モ適當シタモノデアッテ、二箇月ニ短縮スルト云フコトハ其宜シキヲ得ナ

イ、斯ウ云フコトヲ論ズル人ガアリマスルガ、左様ナル問題ハ既ニ大正十一年ノ法律改正ノ前ニ論ジ盡サレタ問題デアリマシテ(拍手)殊ニ我ガ帝國議會ニ於テモ、上下兩院共此問題ニ付テハ寧ろ三箇月ヲ二箇月ニスルヨリモ、尙ホ一步進メテ一箇月ニシタラドウカト云フ議論サヘアッタノデアリマス(ヒヤ)斯様ナ問題デアリマスカラシテ今更三箇月ガ宜イ、二箇月ガ惡イト云フコトヲ論ズル必要ハナカラウト思ヒマス、(其通りト呼フ者アリ)ソコデ政府ガ最初提案致シマシタ通り、即チ豫期致シマシタ通り、三箇年ノ猶豫ガ滿了シマシタ此時機ニ於テ、之ヲ實行スルノガ其時機ヲ得タルヤ否ヤ、即チ豫想致シタヨリモ特殊ノ事情ガ起リテ、之ヲ實施スレバ不都合ガ生ズルカ否ヤト云フコトガ前記詰メラレタ問題トシテ起ルデアリマス、之ニ對シマシテ當事者ノ申ス所ハ、一昨年ノ大震災災ガアツテ經濟界ハ沈没状態ニ陥テ居ルカラ、此際之ヲ實施スルコトハ其當ヲ得ナイト、斯ウ言フ、只今私ノ尊敬スル若尾君ノ提案理由ヲ承リマシテモ、同様に事ヲ言ハレルデアリマス、而シテ此限月短縮問題ヲ此際實行致シマスト云フト、財界ニ非常ナ打撃ヲ與ヘル、明治三十五年ノ限月斷行ノ際ニ於ケル程ナ打撃ハナイカモ知レマセヌケレドモ、餘程ノ打撃ヲ與ヘル、是ガ爲ニ單リ有價證券ノミナラズ商品ニ迄打撃ヲ與ヘル、金融業者ニ非常ナ苦痛ヲ與ヘ、財界ヲ混亂スルカラシテ此際暫ク延スコトガ適當ヂヤナイカト云フ御議論ト承タノデアアル、然ルニ限月問題ハ三年前カラ覺悟致シタ問題デアリマシテ、堅實ナル實業家ハ勿論其用意ヲ致シテ居ルデアリマス(其通りト呼フ者アリ)現ニ此問題ニ對シテ運動致シテ居リマス取引所ノ内情ヲ聽キマシテモ、實際他ノ取引所ノ人々ハサウ熱心デナイデアリマス、獨り東京ノ取引所ノ人々ガ熱心ノヤウニ思フデアリマス、財界ニ影響ガ非常ニ大キイ、即チ限月短縮斷行ト同時ニ非常ニ打撃ヲ及ボスト云フコトガ、確カナ事實ト致シマスナラバ、考慮ス

ル餘地モアリマスケレドモ、政府ノ調査致シタ所ニ依リマシテモ、且又具眼者ノ意見ヲ徵シマシテモ左様ナ憂ハ少シモ無イト考ヘマス、即チ限月短縮問題ガ議會ノ問題トシテ起ラウト云フ場合ニナリマシテ、多少希望ヲ持タガアリマシテ、波動ガアリマシタケレドモ、今日ニ於キマシテハ大體ニ於キマシテ、現實ニ取引所ノ相場ニ於キマシテ、所謂短縮相場ナルモノガ現ハレテ居ルデアリマス、若シ之ヲ四月一日カラ斷行致シマシタ際ニ影響ガアルト致シマシテモ、只今ノ短縮相場ノ現ハレテ居ル上ニ、更ニ何カ現ハレルナラバ當所株ノミデアリマス、當所株ニ致シマシテモ最早限月短縮ヲ豫期シタ相場ガ現ハレテ居ルト思フデアリマス、他ノ事業株ニ付キマシテハ更ニ影響ハアリマセヌ、現ニ株式取引所ニ於ケル最モ花形株ト稱セラル、所、鐘紡新株ノ如キハ、少シモ動イテ居リマセヌ、是等ノ狀況ヲ以テ考ヘテ見マシテモ、經濟界ニ非常ナ打撃ヲ與ヘルト云フヤウナ御心配ハ、全ク私ハ御無用デアルト考ヘルノデアリマス、其上政府ハ既ニ此準備ヲ急ギマスル爲ニ、即チ三箇月ヲ二箇月ニ致スノデアリマスカラシテ、或ハ一箇月建ニスルニスルカ、或ハ二十日限ノ三本建ニスルカ、十五日限ノ四本建ニスルカト云フコトハ、此移リ變リト云フモノハ非常ナ複雑ナ關係ヲ生ジマスガ故ニ、之ヲ圓滑ニ移リ變ラシムルト云フコトガ、寧ろ限月ノ斷行ニ依リ影響ヨリモモット心配シナケレバナラヌ問題デアリマス、故ニ豫メ政府ハ當業者ニ注意ヲ與ヘマシテ、此用意ヲ怠ルコトナキコトヲ注意致シタノデアリマス、幸ニシテ當業者モ其覺悟ヲ致シテ、限月斷行ノ際ニ於ケル、即チ限月ヲ二箇月ト致シマシタ結果ト致シマシテ、其取引ノ方針ニ付キマシテ段々協議致シテ居ルデアリマス、是ガ最早一日モ緩ウスベカラザル状態デアアルデアリマスカラ、若シ茲ニ此案ガ通ルヤウナ事ガアルト假定致シマスナラバ、非常ナ騒ギガ起ルデアリマス、又貴族院ノ此ノ改正案ノ通過ノ時分ノ關係ヲ見マシテモ、貴族院

大正十四年三月十三日 衆議院議事速記録第二十六號 大正十一年法律第六十號中改正法律案 第一讀會

ハ限月短縮二箇月、即チ二箇月程度ニスルコトハ長過ギル、寧ロ一箇月ニスベシト云フ議論ガ多クアリマシテ、委員會ハ正半數デアリマシタノヲ、幸ニ當時ノ委員長奥平伯爵ガ政府案ニ賛成致シマシタ爲ニ、原案ハ通シタヤウナ次第デアリマシテ、斯様ナ歴史ヲ有スル貴族院ニ於テ、斯様ナ案ガ通ル譯ガナイト思フ、サウ致シマスト斯様ナ望ムベカラザルモノニ望マシテ、事情ニ通ジナイ者ガ此爲ニ却テ財界ヲ亂スヤウナ結果ヲ來スモノト思フデアリマス(拍手)

故ニ私ハ成ベク速ニ此問題ヲ解決シテ、サウシテ徒ニ望ムベカラザルモノニ希望ヲ附シテ、財界ヲ騒ガスヤウナコトハセヌヤウニ致シタイト思ヒマス、此趣意ニ於テ此案ガ成ベク速ニ否決セラレンコトヲ政府ハ希望スルデアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 是ニテ討論ハ終結致シマシタ、本案ノ二讀會ヲ開クヤ否ヤノ採決方法ニ對シ、若尾璋八君外二十八名ヨリ無記名投票ノ要求ト、井本常作君外五十名ヨリ記名投票ノ要求トガアリマス、就テハ其孰レカニ決シナケレバナリマセヌガ、其決ハ起立ニ依リテ決シマス——本案ノ採決ハ無記名投票ヲ以テスベシトスルニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者起立〕
○副議長(小泉又次郎君) 起立少數デアリマス、仍テ記名投票ヲ以テ決スルコトニ致シマス、——是ヨリ記名投票ヲ行ヒマス、本案ノ第二讀會ヲ開クハシトスルニ賛成ノ諸君ハ白票、開クベカラズトスル諸君ハ青票ヲ御持參アランコトヲ望ミマス——閉鎖——氏名點呼ヲ行ヒマス

○副議長(小泉又次郎君) 投票漏ハアリマセヌカ——投票漏ハ無イト認メマス——投票函閉鎖——開匣——開鎖

〔書記官投票ノ數ヲ計算ス〕
○副議長(小泉又次郎君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告セシメマス

〔中村書記官長朗讀〕

投票總數二百五十五
可トスル者 白票 三十六
否トスル者 青票 二百十九
〔拍手起立〕
○副議長(小泉又次郎君) 本案ハ第二讀會ヲ開カザルコトニ決シマシタ

〔參照〕
第二讀會ヲ開クヘシトスル議員ノ氏名左ノ如シ

田崎 信藏君 井上 孝哉君
磯部 保次君 石塚 豊一君
坂東幸太郎君 堀田義次郎君
小川郷太郎君 若宮 貞夫君
若尾 璋八君 高島 順作君
堤 清六君 長岡 外史君
永田新之允君 武藤 嘉門君
浦山助太郎君 畔田 明君
山口 左一君 曾田 義一君
小屋 光雄君 秋田寅之介君
佐藤 潤象君 佐々木平次郎君
宮島幹之助君 平井光三郎君
河崎 龜禰君 杉 山治君
森崎助太郎君 武藤 宜治君
前野 芳造君 小林 彌七君
古林喜代大君 森田 金藏君
猪野毛利榮君 湛増 庸一君
大幸 孫九君 堤 康次郎君

第二讀會ヲ開クヘカラズトスル議員ノ氏名左ノ如シ

一柳仲次郎君 井本 常作君
石川安次郎君 石塚 三郎君
石黒大次郎君 飯塚春太郎君
服部 英明君 原 脩次郎君
岡本實太郎君 奥村 千藏君
片岡 直温君 川崎安之助君
川崎 克君 河波荒次郎君
加藤政之助君 加藤 綱一君
神谷 彌平君 神田 正雄君
神部 爲藏君 横山金太郎君
横山 一格君 吉川吉郎兵衛君
吉原 義雄君 吉田 儀吉君
頼母木桂吉君 武内 作平君
田中 萬逸君 田中 武雄君
田中 善立君 高橋元四郎君

谷口宇右衛門君 谷口源十郎君
建部 遜吾君 永田善三郎君
永井柳太郎君 中原徳太郎君
中野 寅吉君 中野 正剛君
中野猪之助君 村上 國吉君
村上紋四郎君 村山喜一郎君
生方 大吉君 宇田友四郎君
野村 嘉六君 黒田重兵衛君
工藤 鐵男君 山宮 藤吉君
山根 儀重君 山田 助作君
山田 道兄君 松井 郡治君
九山 五郎君 町田 忠治君
藤澤義之輔君 福田 五郎君
小島 證作君 小山 松壽君
小池 仁郎君 木楡三四郎君
河野 正義君 近藤重三郎君
手代木隆吉君 淺賀長兵衛君
淺川 浩君 荒井 建三君
安達 謙藏君 蟻川五郎作君
佐藤富十郎君 佐藤 實君
齋藤 隆夫君 齋藤仁太郎君
齋藤 金吾君 澤田 利吉君
由谷 義治君 三橋四郎次君
三好榮次郎君 箕浦 勝人君
下元鹿之助君 清水留三郎君
信太儀右衛門君 隨田 團平君
平野 光雄君 比佐 昌平君
森田 茂君 望月小太郎君
關矢 孫一君 關 俊吉君
鈴置倉次郎君 菅村 太事君
磯部 尙君 岩崎幸治郎君
岩崎 勳君 石井 謹吾君
伊澤平左衛門君 八田 宗吉君
泰 豊助君 西澤 定吉君
堀切善兵衛君 長田 桃藏君
大竹 謙治君 岡田伊太郎君
岡崎 邦輔君 小野 義一君
渡邊 伍君 渡邊 祐策君
河上 哲太君 吉田 眞策君
高井 商二君 高山 長幸君
高木 音藏君 中島 守利君
中村 巍君 中村 清造君
武藤 金吉君 内野辰次郎君

熊谷 巖君 黒住 成章君
山本条太郎君 山口 義一君
山口恒太郎君 山内 範造君
山下 谷次君 山崎達之輔君
松實喜代大君 二木 洵君
藤澤萬九郎君 藤川 清助君
小久保喜七君 小泉策太郎君
神崎 勳君 青木 精一君
東 武君 有馬 頼寧君
齋藤 珪次君 榎原 經武君
佐々木文一君 佐々木春作君
佐々木長治君 坂井 大輔君
坂梨 哲君 水戸 豊吉君
三善 清之君 三土 忠造君
志賀和多利君 嶋居 哲君
望月 圭介君 菅原 傳君
隅田 豊吉君 井上 利八君
西村丹郎治君 富永孝太郎君
土井 權大君 大内 暢三君
高草美代藏君 高島 兵吉君
植原悦二郎君 秋田 清君
齋藤眞三郎君 湯淺 凡平君
關 直彦君 砂田 重政君
井坂 豊光君 井口延次郎君
井上 虎治君 池田 泰親君
原 惣兵衛君 本多貞次郎君
星 康平君 富田應之助君
床次竹二郎君 東郷 實君
陣 軍吉君 小島 善作君
小野 寅吉君 大園榮三郎君
奥野小四郎君 大城幸之一君
川原 茂輔君 川口 義久君
河崎 清君 加藤久米四郎君
伯田 忠一君 神村 吉郎君
高見 之通君 田中 隆三君
筒井民次郎君 津崎 尙武君
中村四郎兵衛君 中村 嘉壽君
中林 友信君 中山 貞雄君
長峰 與一君 成田 榮信君
植場 平君 浦野 謙朗君
上林安太郎君 則元 由庸君
野村治三郎君 倉元 要一君
工藤十三雄君 熊谷五右衛門君

藏園三四郎君 栗林 五朔君
前田房之助君 牧山 耕藏君
松田 源治君 麓 純義君
小橋 一太君 櫻内 幸雄君
佐藤 重遠君 岸本 賀昌君
宣保 成晴君 清水市太郎君
清水 長郷君 廣岡宇一郎君
平田民之助君 森 肇君
元田 肇君

○副議長(小泉又次郎君) 日程第十、會計士法案第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長清水留三郎君

第十 會計士法案(高木益太郎君外二名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告) 報告書

一會計士法案(高木益太郎君外二名提出) 右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月十日

會計士法案委員長 清水留三郎

衆議院議長粕谷義三殿
會計士法案中左ノ通修正ス
第十六條中「會計士ノ稱號ヲ用キ」ノ下「又ハ」ヲ削ル

○清水留三郎君 會計士法案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ極ク簡單ニ御報告致シマス、本案ハ多數衆議院ヲ通過致シタ案デゴザイマシテ、大正九年時ノ農商務大臣仲小路廉君ガ委員會ニ於キマシテ、此次ノ議會ニハ政府ハ必ズ本案ヲ提出スルコト云フ風ナ聲明ヲ與ヘテ居リタノデアリマス、此案ノ要旨ハ、即チ銀行會社ノ會計事務ヲ監査シ、財產狀態ノ調査書類ヲ證明スルコトガ主ナル目的ナノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ幾多ノ質疑應答ガゴザイマシテ、詳細ハ速記録ニ於テ御覽ヲ願ヒタイノデアリマス、唯、其中ノ一二ノ主ナル點ダケヲ申シマスルト、或ル委員ヨリ何故ニ此法案ハ農商務大臣ノ監督ノ下ニ置クカト云フ質問ニ對シマシテ、提案者並ニ政府委員ヨリ、農商務省ガ一番密接ノ關係ヲ持テ居ルカラ、

農商務省ノ監督ニスル、司法省、大藏省ニ關係モアリマスガ、ソレヨリハ農商務省ノ方ノ監督ガ密接デアルト云フコトヲ答辯セラレタノデアリマス、而シテ司法當局モ居リマシタガ、別ニ反對ノ意見ヲ申出ナク、デアリマス、又他ノ質問ニ於キマシテ會計士ハ監査役トシテ會計士ノ監督後ト抵觸スルノ心配ハナイカト云フ風ナ質問ニ對シマシテ、監査役ハ會計士ノ機關デアル、會計士ハ會計士ノ職務ニ依リ會計士ノ監督、調査、承認、報告等ヲ爲スノデアリカラ、其間何等ノ抵觸ハナイト云フコトヲ提案者ハ説明シテ居リタノデアリマス、之ニ對スル政府ノ意見ハ會計士法制定ノ必要ハ夙ニ認ムル所デアル、然レドモ同法ノ關係スル所ハ頗ル廣ク、大藏、司法、兩省トモ十分評議スルノ必要アリ、又現在經濟界ノ狀況ニ鑑ミテ、最モ慎重ナル考慮ヲ要スルモノアリ、隨テ政府ハ本法法律案ニ對シテ直ニ同意ヲ表スルコトハ出来ナイ、然レドモ政府ハ、

其時期ヲ得テ、且ツ經濟界ノ狀況ニ鑑ミ、就時期ヲ得テ、成案ヲ得テ諸君ノ協賛ヲ求メントシテ居ルノデアリマス、何卒御承知ヲ願ヒマシテ云フガ政府當局ノ答辯デアリマス、委員會ニ於キマシテハ此案ノ第十六條ニアリマス——第十六條ヲ讀ミマスルト「第七條ノ登錄ヲ受ケサル者會計士ニ加入セサル者又ハ職務停止中ノ者會計士ノ稱號ヲ用キ又ハ」此「又ハ」ト云フ一字ヲ削除致シマシテ、次ニ「其ノ職務ヲ行ヒタルトキハ六月以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス」ト云フコトニ修正シタノデアリマス、即チ「又ハ」ト云フ二字ヲ削除スルコトニ委員一致ヲ以テ修正シタノデアリマス、是非委員會ニ於テ修正致シマシタ通り御承認セラレンコトヲ希望スルノデアリマス(拍手)

○副議長(小泉又次郎君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセウカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○井本常作君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決アラントヲ望ミマス
〔贊成ニ贊成ノ聲起ル〕

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

會計士法案 第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定サレマシタ、日程第十一、國幣中社眞清田神社陸格ニ關スル建議案ヲ議題ト致シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ求メマス——提出者服部英明君

第十一 國幣中社眞清田神社陸格ニ關スル建議案(服部英明君提出)
國幣中社眞清田神社陸格ニ關スル建議案

國幣中社眞清田神社陸格ニ關スル建議案
尾張國一宮市所在國幣中社眞清田神社陸格ニ關スル建議案

○服部英明君 私立眞清田神社陸格ニ關スル建議案ヲ提出致シテ置キマシタニ付キ、簡單ニ其理由ヲ説明致シマス、本文ニ入ル前ニ一言御断リヲ申上ゲテ置キマス、本案ハ事神様ニ關スル事デゴザイマシテ、而モ神代ニ於ケル神様ノ御名前ヲ申上ゲルコトデアリマスカラ、間違ヒマシテハ洵ニ恐懼ノ至リニ存ジマスカラ、原稿ヲ朗讀ノ致シマスコトヲ御承引願ヒタイノデアリマス、尙ホ速記ノ方モ御困難ト存ジマスカラ、極メテ緩慢ニ申上ゲマスルカラ此段御諒水ヲ願ヒマス、謹ンデ惟ルニ眞清田神社ハ神代ノ御創立ニ係リ、古ヨリ官社ニ列セラレ正一位ヲ賜リシ、吾國中國第一ノ明神大社デゴザイマシテ、維新後ニ至リマシテ明治十八年國幣社ニ列セラレ、尾治田ノ田原ノ里、松子島即チ今ノ愛知縣尾張國一宮市

ニ鎮マリ座シ給フ、抑モ眞清田神社ハ天孫天日子火、瓊々杵尊ノ御時、御畏クモ右大臣家大物主命之ヲ創立シテ、自ラ止ラセ給ヒシガ、日子火火出見尊ノ御宇ニ至リマシテ、尾張國造天別天之火明命此ノ宮ニ移リ止ラセ給ウタノデゴザイマス、天日子火、瓊々杵尊ノ御時西北ノ大陸ヨリ外寇筑紫島ニ攻メ來リマシテ、即チ、高天原ニ天ツ神國ツ神八萬神ヲ集ヒニ集ヒ給ヒ、神議リニ議リ給ヒテ、竟ニ尊親ヲ神后ト西征マシマスコトニ決シマシタ、(此時發言スル者アリ)一寸申上ゲマスガ、先刻申シマシタ通り事神事ニ關シマスルカラ、御騒ギ下サリマスルト神罰ノ恐レガアリマスカラ、御靜ニ願ヒマス、乃チ右大臣家武知男命ヲ總軍司令頭長トナシ、經津主命、武甕槌命、稚武王命、建御名方命ヲ初メ玉柱屋命、顯國玉命、豐城入毘古命、前玉命、五十猛命、隨主翁命、豐玉武甕古命、味耜託彥根命ノ諸軍神ヲ從ヘ、軍勢一万八千神ヲ率ヘテ田原古命ヲ嚮導トシテ天降リマシ、給ウタノデアリマス、日夜重ヌルコト五十三日ニシテ西國ニ著御マシマス、先ヅ關ヲ立テ、筑紫島ノ賊軍ヲ防ガセ給フ、其地ヲ住防ト云フノデアリマス、尊ハ總軍司令頭長武知男命、並ニ智略ニ富ムル少名毘古那命、事代主命ノ兄弟ト等フ陣中ニ運シメ給フ、一日賊將軍勢ヲ更ニ南島ニ移サントト告グルモノガアリマシテ、乃チ神后木花咲耶姬尊ハ親ヲ將トナリ、味耜託彥根命、與玉命ヲ副將トシ、軍勢八千五百神ヲ率キテ、又猿田毘古命ヲ嚮導トシテ、軍船ニテ南島ニ渡リ之ヲ防ガセ給ウタノデアリマス、然ルニ外寇日夜大舉シテ來リ攻メ、既ニ壹岐對馬ヲ掠奪シ、更ニ筑紫島ヲ襲ヘリ、我軍大ニ防ギ戰フト雖モ衆寡敵セズ、屢利ヲ失フ、乃チ尊四方諸々ノ州國ニ詔シテ軍兵ヲ催サシメ給フ、義ニ輝ク神々亦多シ、我軍大ニ振フ、尊ハ諸將ニ命ジ都督ヲ定メ、一齊ニ奮ヒ戰ハシメ、竟ニ賊軍ヲ塵ニセシメタノデアリマス、三十六日運レマシテ南島ノ賊軍亦平定致シマシタノデアリマス、尊ハ筑紫ヲ隨主翁命、豐玉武甕古命ニ

二鎮マリ座シ給フ、抑モ眞清田神社ハ天孫天日子火、瓊々杵尊ノ御時、御畏クモ右大臣家大物主命之ヲ創立シテ、自ラ止ラセ給ヒシガ、日子火火出見尊ノ御宇ニ至リマシテ、尾張國造天別天之火明命此ノ宮ニ移リ止ラセ給ウタノデゴザイマス、天日子火、瓊々杵尊ノ御時西北ノ大陸ヨリ外寇筑紫島ニ攻メ來リマシテ、即チ、高天原ニ天ツ神國ツ神八萬神ヲ集ヒニ集ヒ給ヒ、神議リニ議リ給ヒテ、竟ニ尊親ヲ神后ト西征マシマスコトニ決シマシタ、(此時發言スル者アリ)一寸申上ゲマスガ、先刻申シマシタ通り事神事ニ關シマスルカラ、御騒ギ下サリマスルト神罰ノ恐レガアリマスカラ、御靜ニ願ヒマス、乃チ右大臣家武知男命ヲ總軍司令頭長トナシ、經津主命、武甕槌命、稚武王命、建御名方命ヲ初メ玉柱屋命、顯國玉命、豐城入毘古命、前玉命、五十猛命、隨主翁命、豐玉武甕古命、味耜託彥根命ノ諸軍神ヲ從ヘ、軍勢一万八千神ヲ率ヘテ田原古命ヲ嚮導トシテ天降リマシ、給ウタノデアリマス、日夜重ヌルコト五十三日ニシテ西國ニ著御マシマス、先ヅ關ヲ立テ、筑紫島ノ賊軍ヲ防ガセ給フ、其地ヲ住防ト云フノデアリマス、尊ハ總軍司令頭長武知男命、並ニ智略ニ富ムル少名毘古那命、事代主命ノ兄弟ト等フ陣中ニ運シメ給フ、一日賊將軍勢ヲ更ニ南島ニ移サントト告グルモノガアリマシテ、乃チ神后木花咲耶姬尊ハ親ヲ將トナリ、味耜託彥根命、與玉命ヲ副將トシ、軍勢八千五百神ヲ率キテ、又猿田毘古命ヲ嚮導トシテ、軍船ニテ南島ニ渡リ之ヲ防ガセ給ウタノデアリマス、然ルニ外寇日夜大舉シテ來リ攻メ、既ニ壹岐對馬ヲ掠奪シ、更ニ筑紫島ヲ襲ヘリ、我軍大ニ防ギ戰フト雖モ衆寡敵セズ、屢利ヲ失フ、乃チ尊四方諸々ノ州國ニ詔シテ軍兵ヲ催サシメ給フ、義ニ輝ク神々亦多シ、我軍大ニ振フ、尊ハ諸將ニ命ジ都督ヲ定メ、一齊ニ奮ヒ戰ハシメ、竟ニ賊軍ヲ塵ニセシメタノデアリマス、三十六日運レマシテ南島ノ賊軍亦平定致シマシタノデアリマス、尊ハ筑紫ヲ隨主翁命、豐玉武甕古命ニ

二鎮マリ座シ給フ、抑モ眞清田神社ハ天孫天日子火、瓊々杵尊ノ御時、御畏クモ右大臣家大物主命之ヲ創立シテ、自ラ止ラセ給ヒシガ、日子火火出見尊ノ御宇ニ至リマシテ、尾張國造天別天之火明命此ノ宮ニ移リ止ラセ給ウタノデゴザイマス、天日子火、瓊々杵尊ノ御時西北ノ大陸ヨリ外寇筑紫島ニ攻メ來リマシテ、即チ、高天原ニ天ツ神國ツ神八萬神ヲ集ヒニ集ヒ給ヒ、神議リニ議リ給ヒテ、竟ニ尊親ヲ神后ト西征マシマスコトニ決シマシタ、(此時發言スル者アリ)一寸申上ゲマスガ、先刻申シマシタ通り事神事ニ關シマスルカラ、御騒ギ下サリマスルト神罰ノ恐レガアリマスカラ、御靜ニ願ヒマス、乃チ右大臣家武知男命ヲ總軍司令頭長トナシ、經津主命、武甕槌命、稚武王命、建御名方命ヲ初メ玉柱屋命、顯國玉命、豐城入毘古命、前玉命、五十猛命、隨主翁命、豐玉武甕古命、味耜託彥根命ノ諸軍神ヲ從ヘ、軍勢一万八千神ヲ率ヘテ田原古命ヲ嚮導トシテ天降リマシ、給ウタノデアリマス、日夜重ヌルコト五十三日ニシテ西國ニ著御マシマス、先ヅ關ヲ立テ、筑紫島ノ賊軍ヲ防ガセ給フ、其地ヲ住防ト云フノデアリマス、尊ハ總軍司令頭長武知男命、並ニ智略ニ富ムル少名毘古那命、事代主命ノ兄弟ト等フ陣中ニ運シメ給フ、一日賊將軍勢ヲ更ニ南島ニ移サントト告グルモノガアリマシテ、乃チ神后木花咲耶姬尊ハ親ヲ將トナリ、味耜託彥根命、與玉命ヲ副將トシ、軍勢八千五百神ヲ率キテ、又猿田毘古命ヲ嚮導トシテ、軍船ニテ南島ニ渡リ之ヲ防ガセ給ウタノデアリマス、然ルニ外寇日夜大舉シテ來リ攻メ、既ニ壹岐對馬ヲ掠奪シ、更ニ筑紫島ヲ襲ヘリ、我軍大ニ防ギ戰フト雖モ衆寡敵セズ、屢利ヲ失フ、乃チ尊四方諸々ノ州國ニ詔シテ軍兵ヲ催サシメ給フ、義ニ輝ク神々亦多シ、我軍大ニ振フ、尊ハ諸將ニ命ジ都督ヲ定メ、一齊ニ奮ヒ戰ハシメ、竟ニ賊軍ヲ塵ニセシメタノデアリマス、三十六日運レマシテ南島ノ賊軍亦平定致シマシタノデアリマス、尊ハ筑紫ヲ隨主翁命、豐玉武甕古命ニ

二鎮マリ座シ給フ、抑モ眞清田神社ハ天孫天日子火、瓊々杵尊ノ御時、御畏クモ右大臣家大物主命之ヲ創立シテ、自ラ止ラセ給ヒシガ、日子火火出見尊ノ御宇ニ至リマシテ、尾張國造天別天之火明命此ノ宮ニ移リ止ラセ給ウタノデゴザイマス、天日子火、瓊々杵尊ノ御時西北ノ大陸ヨリ外寇筑紫島ニ攻メ來リマシテ、即チ、高天原ニ天ツ神國ツ神八萬神ヲ集ヒニ集ヒ給ヒ、神議リニ議リ給ヒテ、竟ニ尊親ヲ神后ト西征マシマスコトニ決シマシタ、(此時發言スル者アリ)一寸申上ゲマスガ、先刻申シマシタ通り事神事ニ關シマスルカラ、御騒ギ下サリマスルト神罰ノ恐レガアリマスカラ、御靜ニ願ヒマス、乃チ右大臣家武知男命ヲ總軍司令頭長トナシ、經津主命、武甕槌命、稚武王命、建御名方命ヲ初メ玉柱屋命、顯國玉命、豐城入毘古命、前玉命、五十猛命、隨主翁命、豐玉武甕古命、味耜託彥根命ノ諸軍神ヲ從ヘ、軍勢一万八千神ヲ率ヘテ田原古命ヲ嚮導トシテ天降リマシ、給ウタノデアリマス、日夜重ヌルコト五十三日ニシテ西國ニ著御マシマス、先ヅ關ヲ立テ、筑紫島ノ賊軍ヲ防ガセ給フ、其地ヲ住防ト云フノデアリマス、尊ハ總軍司令頭長武知男命、並ニ智略ニ富ムル少名毘古那命、事代主命ノ兄弟ト等フ陣中ニ運シメ給フ、一日賊將軍勢ヲ更ニ南島ニ移サントト告グルモノガアリマシテ、乃チ神后木花咲耶姬尊ハ親ヲ將トナリ、味耜託彥根命、與玉命ヲ副將トシ、軍勢八千五百神ヲ率キテ、又猿田毘古命ヲ嚮導トシテ、軍船ニテ南島ニ渡リ之ヲ防ガセ給ウタノデアリマス、然ルニ外寇日夜大舉シテ來リ攻メ、既ニ壹岐對馬ヲ掠奪シ、更ニ筑紫島ヲ襲ヘリ、我軍大ニ防ギ戰フト雖モ衆寡敵セズ、屢利ヲ失フ、乃チ尊四方諸々ノ州國ニ詔シテ軍兵ヲ催サシメ給フ、義ニ輝ク神々亦多シ、我軍大ニ振フ、尊ハ諸將ニ命ジ都督ヲ定メ、一齊ニ奮ヒ戰ハシメ、竟ニ賊軍ヲ塵ニセシメタノデアリマス、三十六日運レマシテ南島ノ賊軍亦平定致シマシタノデアリマス、尊ハ筑紫ヲ隨主翁命、豐玉武甕古命ニ

守ラセ、南島ヲ興玉命、味耜託彥根命ニ守ラセ、住防下ノ關ヲ玉柱屋命ニ守ラシメ、其他ノ諸軍神初メ軍勢ヲ從ヘ、高天原ニ還リ上ラセ給ウタノデアリマス、後西征ノ功ヲ論ジ其實ヲ定メ給フ、即チ總軍司令頭長武知男命ニ特ニ詔シテ、諱ヲ大物主命ト賜ヒ、其子孫一族ヲ豐阿始原瑞穗國ノ中央ニ於テ東南西北ノ海ニ至ルマデノ總司令頭長ノ家ト定メ給フ、命乃チ瑞穗國ノ中央ナル尾田田ノ田原ノ里松子島ニ宮殿ヲ建テ、止マラセ給ウタノデアリマス、之ヲ眞清田ノ宮ト申上ゲルノデアリマス、其他ノ十七軍神ハ各州國ヲ賜リ各地ニ割據シテ命ノ軍令ニ從ヒ、各國々ヲ治メシメ給ウタノデアリマス、日子火々出見尊ノ御時代ニ至リマシテ、第三ノ皇子天別天之火明命ヲ尾田田ノ國造ト爲シマシ、命ハ母神佐奈木毘女命ト共ニ高天原ヨリ同國田原ノ大物主命ノ止マリマシ、眞清田ノ宮ニ移リ止マラセ給ウタノデアリマス、然ルニ今ヤ大物主命ノ麾下ニ座シマシ、經津主命、是ハ香取神社ニ御祀リシテアルノデアリマス、武甕槌命、是ハ鹿島神社ニ御祀リシテアルノデアリマス、建御名方命ハ諏訪ニ御祀リ致シテアルノデアリマス、各神社ハ何レモ官幣ヲ祀レル神廟ニ、其國ノ國造火明命ヲ配祀シ給ヘル眞清田神社ノミガ、反テ國幣中社ナルハ、其權衡ヲ失スルノミナラズ、實ニ皇室尊嚴ノ神聖ニ關スルモノナリト信ズルノデアリマス、仍テ茲ニ默視セント欲スルモ默視スル能ハザルモノデアリマス、是レ本員ガ政府ヲシテ速ニ調査審理ヲ進メシメ、官幣大社ニ陞格スルノ手續ヲ爲サシムル爲テ本案ヲ提出シ、諸君ノ協賛アランコトヲ切望スルノデアリマス

○井本常作君 本案ハ岡本實太郎君提出、復按神社昇格ニ關スル建議案ノ委員ニ併セ付託セラレントコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニハ御異議ナイト認メマス、仍テ其通り決シマス、日程第十二、高等師範學校設置ニ關

スル建議案ヲ議題ト致シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ求メマス——提出者佐々木春作君

第十二 高等師範學校設置ニ關スル建議案(佐々木春作君外三名提出)

高等師範學校設置ニ關スル建議案

山形縣山形市ニ高等師範學校ヲ設置シ優良ナル中等學校教員ヲ養成セラレムコトヲ望ム

右建議ス

○佐々木春作君 提案ノ趣旨ヲ簡單ニ説明致シマス、高等師範學校ヲ山形市ニ建設スルコト云フ案デゴザイマス、適材ヲ適處ニ配シマシテ其能率ノ増進ヲ圖ルト云フコトハ、恰モ適當ナル地所ニ適當ナル學校ヲ建設シテ、其進歩發達ヲ圖ルト云フコト、意味ハ殆ド似テ居ルノデアリマス、乃チ學校ヲ建設スルニ於キマシテモ、或ハ工業學校ハ工業學校ノ特色ガアリマス、商業學校ハ商業學校ノ特色ガアリマス、師範教育ハ又師範ノ特色ガアリマシテ、其土地ノ狀態、其土地ノ總テノ環境ガ其學校ニ適當センケレバ、將來ニ於テ其發達進歩ト云フコトヲ期スル譯ニハ參リマセウ、其次ニハ交通ノ便モ必要デゴザイマセウ、併ナガラ絕對必要トスル所ハ何デアリマスカト申シマス、即チ其土地ニ流行病デアルトカ、風土病デアルトカ、傳染病デアルトカ、絕對ニ無イト云フコトガ第一ノ問題デアリマス、其以上ニ只今申シマシタ師範教育ニ適當スル所ノ學校ノ歴史ニ徵シテ最モ適シテ居ル、是ガ必要デゴザイマス、第三ニ若夫レ重大ナル山川草木ガ背景トナリ、保護色トナッタコトナラバ、ヨリ以上ノ適地ト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、山形市ハ此師範教育ニ付キマシテハ、縣外ニ要求サレテ澤山ノ教師ガ出テ居リマス、是ハ全ク雄辯ニ物語テ居ルモノト確信シテ疑ハナイノデアリマス、總テノ意味ニ於テ此師範教育ナルモノハ、山形市ガ最モ適地デア

コト、確信シテ提案シタ次第デゴザイマス、宜シク御審議セラレテ、御贊成アランコトヲ希望シマス

○井本常作君 本案ハ議長指名、九名ノ委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ其通り決シマス、日程第十三、國立公園調查會設置ニ關スル建議案ヲ議題ト致シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ求メマス——嶋居哲君

第十三 國立公園調查會設置ニ關スル建議案(鈴木隆君外四名提出)

國立公園調查會設置ニ關スル建議案

國立公園ニ關スル政策ヲ確立シ其ノ候補地ト計畫ノ大要ヲ調査決定セシムルカ爲ニ適當ナル調査機關ヲ設置セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(嶋居哲君登壇)

○嶋居哲君 國立公園調查會設置ニ對スル建議ノ趣旨辯明ヲ簡單ニ申述ベタイト存ジマス、國立公園設置ノ論、此可否ニ至テハ既ニ問題デアリマセウ、唯、是ハ實現アリマス、是ガ實現ニ向テ一歩ヲ進メンガ爲ニ、茲ニ調査會ヲ設置スルノ建議ヲ爲シタノデアリマス、本議會ニ於キマシテモ、多クノ國立公園ノ建議案ガ提出サレテ居ルコトニ鑑ミテ見マシテモ、其必要ガアルト信ズルノデアリマス、歐洲大戦前後ニ於キマシテ、諸種ノ文化的施設ガ陸續トシテ現レテ居リマスニモ拘ハリマセウ、我ガ大日本帝國ハ自然ノ大公園ガアルニモ拘ラズ、此事ニ未ダ著手セラレナイノハ洵ニ遺憾ニ堪ヘザル次第デアリマス、故ニ此建議案ヲ提出致シマス其理由ト致シマシテ、此公園ノ區域ヲ明ニシ、又計畫ノ大綱ヲ示スト云フコトハ、各方面ニ於テ或ハ林業ニ、或ハ河川ニ、或ハ海岸ニ、ソレノ地方民ノ施設經營ニモ大關係ガアリマスカ

シテ、茲ニ諸君ノ贊成ヲ得テ調査會ヲ設置致シマシテ、政府當局ガ賢明ナル舉ニ出テラレントコトヲ希望シテ已マザル次第デアリマス、簡單ニ趣旨ヲ申述ヘマス

○井本常作君 本案ハ議長指名九名ノ委員ニ付託セラレントコトヲ望ミマス

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナイト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、日程第十四、國立公園調查ニ關スル建議案ヲ議題ト致シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ求メマス——提出者小西和君

第十四 國立公園調查ニ關スル建議案(小西和君提出)

國立公園調查ニ關スル建議案

帝國ノ地理歴史及自然現象社會ノ趨勢輿論ノ傾向並各般ノ實情ニ鑑ミレハ國立公園ヲ建設スルノ必要アリ本件ニ就テ論議スル者相次キ帝國議會ニ之ガ建議案及請願書ヲ提起セラルルモノ亦尠カラサルハ其ノ證左ニ非スヤ又國立公園トシテ指定セルルヘキ豫想シ勞資ヲ吝マシテ若干ノ施設ヲ試ミムトスル者續出ス故ニ政府ハ速ニ相當ノ人物ヲ朝野ニ需メ適切ナル方法ヲ立テ以テ國立公園ノ選定乃至其ノ施設經營ニ關スル調査ヲ遂行セラレムコトヲ望ム

右建議ス

(小西和君登壇)

○小西和君 本案提出ノ理由ハ此建議案ノ趣意書ノ本文ニ詳カデアリマスルカラ、此場合改メテ申上ゲル必要ハアリマセウ、全部省略シタイト思ヒマス(贊成ト呼フ者アリ)殊ニ只今嶋居君カラ御述ベニナリマシタノデ、此建議案モ亦花ヲ添ヘタヤウナ心持ガ致シマス、旁々一入省略スルノ當然デアルト云フコトヲ認ムル次第デアリマス、唯、一言致シタイトハ、私ト致シマシテハ國立公園トシテ、世界ノ狀態ニ鑑ミ、日本ノ有様ニ察シマシテ、ドウシテモ海ヲ中心トシタモノデナケレバナラヌト思フノデアリマス(ノウノウ)ノノウト仰セラル

ル方モアリマスルケレドモ、ソレハ以テノ外デアリマス、我が日本ハ西ノ方ニ於テ英國ト相並ンデ我が日本ハ一大海洋國デア

ル、殊ニ我が日本ハ英國ニモ増シテ海ト關係ガ極メテ深イ國デアリマス、其國ニ於

テ日本ノ國民ハ海ニ御尻ヲ向ケテ山ノミヲ眺メテ居ルト云フ状態デアリカラスシテ、我

國ハ一向發展シナイノデアリ、此點カラ言

ウテモ大ニ海國思想、海洋趣味ヲ發揮サセ

ナケレバナラズ、然ルニ山ノミヲ眺メテ或

ハ海ヲ忘レルナドト云フコトハ以テノ外ニ

事デアリマス、殊ニ我が日本ノ小サナ土地

ニ於テ、山ノミヲ眺メテ居ル、其山ハド

ナ山デアリカ「アルプス」ニ較ベテ殆ド其若

干分ノ一ニ過ギナイ斯ノ小サナ山「ヒマラ

ヤ」ニ較ベテ殆ド丘陵ノ如キ山ヲ捉ヘテ、

是デ以テ我が日本ノ誇ニシヤウト云フコト

ガ日本ノ發展、國民ノ向上ヲ期サウト云フ

コトハ思モ寄ラヌノデアリ、所ガ日本ノ國

民ハドウシテモ此海ト云フモノニ親シムト

云フコトニ致シタイ、此意味ニ於テ、私ハ瀨

戸内海ヲ國立公園トスルト云フコトガ最も

其當ヲ得タモノト信ジマス、併ナガラ此場合

ニ於テ私ハ必シモ瀨戸内海ヲ主張スル者デ

ナイ、公正ナル方法ニ依リマシテ、政府ニ

於テ朝野ニ適當ナル人ヲ求メテ、此人ガ公明

正大ニ調査研究ヲ遂ゲラレテ、サウシテ其

磐梯山猪苗代湖ヲ中心トスル國立公園

設定ニ關スル建議案

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ

御異議ナシト認メマス、併ナガラ何レニシ

テモ、公明ナル調査研究ヲ希望スルノデア

リマス、此意味ニ於キマシテ此建議案ヲ提

出シテ切望シマス(拍手)

○井本常作君 本案ハ日程第十三議案ノ委

員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ

御異議ナシト認メマス、併ナガラ何レニシ

テモ、公明ナル調査研究ヲ希望スルノデア

リマス、此意味ニ於キマシテ此建議案ヲ提

出シテ切望シマス(拍手)

○井本常作君 本案ハ日程第十三議案ノ委

員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成〕(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ

御異議ナシト認メマス、併ナガラ何レニシ

テモ、公明ナル調査研究ヲ希望スルノデア

リマス、此意味ニ於キマシテ此建議案ヲ提

出シテ切望シマス(拍手)

○井本常作君 本案ハ日程第十三議案ノ委

員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

六議會ヨリ、ソレ以前ニモ一二回アリマシ

タガ、當議場ノ滿場一致ノ決議ニ依リテ通

過致シテ居ル案デアリマスカラ、今蛇足ヲ加

テハ、三間ナリ四間ナリノ幅デ用ガ足りテ

居リマス、將來國立公園トナテテ其用ヲ爲

スニハ、之ヲ五間幅ニシ七間幅ニスル、例

ヘバ治水上ノ設備ヲスルト致シマシテモ、

サウ云フ必要ガアラウト思ヒマスカラ、調

査ヲ要セズシテ國立公園トシテ差支ナイダ

ケノ素質ヲ備ヘテ地方ノ候補地ニ向テハ、

豫メ政府ガ指定シテ置クコトガ、將來國立公

園ヲ實現シ、達成スル捷徑デアラウト私ハ

信ズル者デアリマス、尙ホ申上ダマスレバ

澤山アリマスガ、大體以上申上ダタ點デ詳

細ノ事ハ委員會ニ譲リマスガ、區域ノ事ヲ申

上ダテ置キマス、此建議案ノ區域ハ栃木縣

ノ方ハ日光男體山、中宮洞ヲ中心トシ、日

光山ヲ含ム鹽原温泉、或ハ那須温泉、其他附

近ノ一帯ノ區域、群馬縣ノ方ハ栃木縣ニ接

續セル白根山、茲ニ菅沼、九沼、大尻沼ヲ

中心トスル東小川山林、之ニ接續セル平川

山林、尾瀬沼ヲ包含セル戸倉山林、武尊山、

追貝、吹割瀧、赤城山、並ニ伊香保、榛名

シタモノニ付テ例ヲ申上ダルト、栃木縣テ

日光カラ群馬縣ニ通ズル道路ヲ假ニ造ルト

致シマシテモ、現在ノ道路ヲ造ル規定ニ於

テハ、三間ナリ四間ナリノ幅デ用ガ足りテ

居リマス、將來國立公園トナテテ其用ヲ爲

スニハ、之ヲ五間幅ニシ七間幅ニスル、例

ヘバ治水上ノ設備ヲスルト致シマシテモ、

サウ云フ必要ガアラウト思ヒマスカラ、調

査ヲ要セズシテ國立公園トシテ差支ナイダ

ケノ素質ヲ備ヘテ地方ノ候補地ニ向テハ、

豫メ政府ガ指定シテ置クコトガ、將來國立公

園ヲ實現シ、達成スル捷徑デアラウト私ハ

信ズル者デアリマス、尙ホ申上ダマスレバ

澤山アリマスガ、大體以上申上ダタ點デ詳

細ノ事ハ委員會ニ譲リマスガ、區域ノ事ヲ申

上ダテ置キマス、此建議案ノ區域ハ栃木縣

ノ方ハ日光男體山、中宮洞ヲ中心トシ、日

光山ヲ含ム鹽原温泉、或ハ那須温泉、其他附

近ノ一帯ノ區域、群馬縣ノ方ハ栃木縣ニ接

續セル白根山、茲ニ菅沼、九沼、大尻沼ヲ

中心トスル東小川山林、之ニ接續セル平川

山林、尾瀬沼ヲ包含セル戸倉山林、武尊山、

追貝、吹割瀧、赤城山、並ニ伊香保、榛名

ヲ最モ完全ニ遺擲ナク遂行スルト云フ意味ニ於キマシテ、本案ヲ提出致シタ次第デアリマス、ドウカ満場ノ諸君ノ御賛成ヲ願フ次第デアリマス

○井本常作君 本案ハ柏田忠一君外一名提出、清國及朝鮮國在留帝國臣民取締法廢止法律案外五件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第二十一、貴生川加茂間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ議題ト致シ、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス。提出者高井商二君

第二十一 貴生川加茂間鐵道速成ニ關スル建議案(高井商二君外二君提出)

貴生川加茂間鐵道速成ニ關スル建議案

政府ハ速ニ草津線貴生川驛ヨリ關西本線加茂驛ニ至ル鐵道ノ敷設ヲ速成シテ交通運輸ノ便ヲ開キ産業開發ノ資ヲ擧ゲラレムコトヲ望ム

右建議ス

〔高井商二君發言〕

○高井商二君 只今上程ニナリマシタ建議案ノ趣旨ヲ極メテ簡單ニ辯明ヲ致シマス、本鐵道ハ滋賀縣ノ草津線ノ貴生川驛カラ、京都府下ノ關西本線ノ加茂驛ニ至ル二十有七哩餘ノ鐵道デアリマス、此鐵道ニ地方ノ文化並ニ産業ノ開發上、或ハ交通政策ノ點カラ考ヘマシテ、非常ニ必要ナル線路デアルト云フコトハ明ナコトデアリマス、既ニ四十六議會ニ於テ、大正十三年度カラ起工サレルト云フ線路ニナテ居リ、タノデアリマス、元來此鐵道ハ多年地方民ガ其敷設ヲ希望シテ居リマシタモノデアリマスガ故ニ、此決定ヲ見マシテ地方民ハ非常ニ喜ビヲ持テ居リ、タノデアリマス、然ルニ不幸ニシテ彼ノ大震災ノ影響ヲ受ケ、且又財政緊縮方針ノ時ニ際會シマシタ爲ニ、是ガ十六年度迄起工ガ延期サレタト云フ次第デアリマス、餘リニ地方民ガ此決定ヲ歡喜シテ迎ヘタト正反對ニ、此延期ニナリマシタコトニ對シテ非常ニ失望シテ居ルノデアリマス、ドウカ政府ハ地方ノ産業並ニ文化ノ開發ヲ促進スルガ爲ニ、又交通政策完備ノ點カラ考ヘマシテモ此地方民ノ熱烈ナル懇

請ヲ斟酌サレマシテ、成ベク速ニ本鐵道ノ起工並ニ完成ニ考慮ヲ拂ハレタイト云フコトヲ切望シテ已マナイ次第デアリマス、是レ私ガ本案ヲ提出シマシタ理由デアリマス、ドウカ満場各位ノ御賛成ヲ願フ次第デアリマス

○井本常作君 本案ハ日程第十九議案ノ委員ト同一委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ。日程第二十二、淡水魚族増殖施設ニ關スル建議案ヲ議題ト致シ、提出者藤澤萬九郎君

第二十二 淡水魚族増殖施設ニ關スル建議案(藤澤萬九郎君外二君提出)

淡水魚族増殖施設ニ關スル建議案

政府ハ淡水水産利源開發ノ急務ナルニ鑑ミ左ノ施設ヲ完備シ以テ地方産業ノ振興並ニ食糧生産ノ增加ニ資セラレムコトヲ望ム

一 國立淡水魚族試驗研究機關

一 種苗場

一 蛙蟬人工孵化事業ノ國營右建議ス

〔藤澤萬九郎君發言〕

○藤澤萬九郎君 只今議題ニ供セラレマシタ案ニ對シマシテ、至極簡單ニ其理由ヲ述ベテ諸君ノ御贊同ヲ仰ギタイト思ヒマス、(簡單ニ又ハ「諷刺」ト呼ヒ其他發言スル者多シ)

○副議長(小泉又次郎君) 藤澤君願ヒマス、四面海デアリマスガ爲ニ、水産ト申シマスルカ、漁業ト申シマスレバ、殆ド鹹水漁業ニ極、タヤウニ御考ニナテ居ルノデアリマス、隨テ淡水魚族ノ漁業ニ對シマシテハ殆ド顧ミラレヌデアリマス、是ハ漁獲ノ上カラ申シマシテモ無論十分ノ一ニモ足リナイ漁獲デゴザイモスカラ、左様ニ政府當局ガ考ヘラレドモ、併シ斯ノ如ク農村ノ疲弊困憊ガ高調サレテ居リマスル今日ニ於テ、此淡水魚族ノ増殖ヲ圖ルト云フコトハ、農村振興ノ立場ト致シマシテ最モ緊要

ナル事ナリト私ハ考ヘマス、固ヨリ淡水魚族ノ棲息致シマスル所ハ、何レノ土地ト雖モ棲息シナイ、所ハナイ山間ノ溪流カラ河川湖沼ニ至ルマデ何レノ所ニモ棲息致シテ居ルマシ、又淡水魚族ノ漁獲ハ遠洋漁業デアルトカ、近海漁業デアルトカ云フモノトハ甚ダ其趣ヲ異ニ致シマシテ、其安全ナル點ニ於テハ、收獲ガ必ズ得ラレルト云フ點ニ於テハ、殆ド植林ヤスルノト同一ナモノデアリマスカラ、從來此淡水魚族ノ漁獲ト云フモノハ、其沿岸ノ住民ハ皆之ヲ以テ副業ト致シテ居ルノデアリ、此位安全ナル農村ノ副業ハ無イト私ハ信ジテ居ル、之ヲ獎勵致シ、之ヲ助長致シマスルコトハ、所謂農村振興ニ付テ最モ安全ナル方法デアリ、之ヲ選算ノ無イ、今日ノ國家トシテ最モ緊要ナル事件ト考フルノデアリ、假ニ此面積ガ如何デアルト云フコトヲ考ヘマスレバ、此面積ハ湖沼ト云フモノハ、琵琶湖ト云フモノハ、八郎湯デアルトカ、霞ヶ浦ト云フモノナモノヲ含シマスルト、三十二町歩程アルノデアリマス、ソレカラ河川ト云フモノナ沼デアルトカ、河川デアルトカ云フ淡水魚族ノ棲息スルニ甚ダ適當ナル場所ガ、完全ナル統計アルゴザイモセケレドモ、約之ガ百町歩程アルノデアリマス、雙方合セマシテ百三十三町歩ト見ルノガ大シテ間違ナイ見當デアラウト考ヘマス、而シテ其產額ハ如何ト申シマスレバ、總計致シマシテ二千四百萬圓カラ三千萬圓ノ間デアリ、之ニ少シク人工ヲ加ヘマスルナラバ、或ハ私ハ一億圓以上ノ收獲ヲ得マスルコトハ左シテ困難ナ事デハナイ考ヘマスルコトシカ付イテ居リマセヌガ、此中縣デヤリマスカ、或ハ又組合デ經營ヲ致シテ居リマシテ、多少今日ノ減退致シテ居リマスル漁業ヲ支持致シマシテ、現状ヲ維持シ努力マシマス所、或ハ多少擴張ノ意味ヲ以テヤテ居リマス所ハ、一町歩當リ二百七十圓マデ舉ゲテ居ル所ガ多クアルノデアリマス、ソレハ下度木場湖、或ハ十和田湖、十和田湖ノ如キハ甚ダ幼稚デアリマスカラ、四圓位ニシカ當リテ居ラセケレドモ、木場湖ノ如キハ一町歩四百十圓ト云フマデ、當リテ居ルノデアリマス、ソコモヤルト云フコトハ最モ困難デハアリマセウケレドモ、相當ノ資力ト相當ノ努力ヲ費シマスレバ、之ヲ一町歩百圓位マデ舉ゲルコトハ左程困難デナイノ

デアル、百三十町歩ノ面積ニ對シマシテ、一町當リ百圓ト假定致シマスルナラバ、一億三千万圓以上ノ收獲ヲ得ルノデアリマス、國家ノ見地カラ見マシテ決シテ等閑視スベキモノデハナイト私ハ考ヘラレデアリマス、之ヲドウ云フヤウニスルカト申シマスレバ、御承知ノ如ク淡水魚ニハ冷水性ノモノト温水性ノモノトアルノデアリマス、又其養殖ヲ圖リマスニ付テハ、其土地ノ氣候ト云フモノノ第一ニ調査ヲシテ、レバナリマセヌ、ソレカラ其池ノ湖水ナリ川ノ水ノ深イ浅イト云フコトモ調査ヲシナレバナリマセヌ、同時ニ其水温ト云フモノモ亦調査研究ヲ要スルノデアリ、尙其上ニ適當ナル所ノ漁業ヲ發見致シマシテモ、ソレノ餌ト云フモノガ其池沼ニ有ルカ無イカト云フコトモ最モ考慮ヲシタレバナラヌコトデアリ、斯ウコトヲ能ク考慮致シマスルガ爲ニ、所謂淡水魚族ノ試驗研究ノ機關ヲ是非政府ニ於テ具ヘラレタイト云フコトハ私ハ希望スルノデアリマス、ソレカラモウツ御速感ナガラ御聽取ヲ願フテ置キマス、ソレハ魚苗、所謂魚ノ苗デアリマス、此魚苗ヲ製造スル所ガナカレバ、如何ニ適當ナル場所ヲ見付ケ、如何ニ適當ナル魚族ヲ發見致シマシテモ、魚苗ヲ製造スル所ガナカレバ駄目デアリマス、今日各府縣ニ於テ養殖者ガ一番困厄ヲ感ジテ居リマスルコトハ、此魚苗ヲ供給スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマス、故ニ此魚苗ノ供給ヲ圓滿ナラシメ、稻澤ナラシメマス爲ニ、國立魚苗製造所ヲ設置スルコトガ是亦最モ緊要ナルコト、考ヘラレデアリマス、之ヲ要シマスルニ淡水魚族ノ繁殖ヲ圖リマスニハ、第一中央魚苗製造所ノ設置ト、ソレカラ魚族ニ關スル試驗研究ヲスル所ノ機關ヲ拵ヘル、此二ツノ作用ニ依テ之ガ圓滿ナル發達ヲ助長セシムコトガ最モ緊要ナルリト信ジテ、茲ニ本案ヲ提出シタモノデアリマス、尙終ニ臨ニテ其設置場所ハ何レノ點カラ考察致シマシテモ、滋賀縣ノ琵琶湖ニ置クコトヲ以テ最モ適當ナリト信スルノデアリマス、諸君ハ宜シク御審議下サイマシテ、是非共御贊同ヲ仰ギタウゴザイマス(拍手)

○井本常作君 本案ハ森田君提出、京都市ニ國立音樂學校設置ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミ

○井本常作君 本案ハ森田君提出、京都市ニ國立音樂學校設置ニ關スル建議案外一件ノ委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍テ其通りニ決シマシタ、日程第二十三、二十四ハ提出者ガ同一デアリマスカラ一括議題トナスニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
 ○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第二十三、小牧、廣尾間鐵道速成ニ關スル建議案、日程第二十四京極紋籠間及京極壯督間鐵道速成ニ關スル建議案ヲ一括シテ議題トシ、提出者ノ趣旨辯明ヲ求メマス、提出者手代木隆吉君

第二十三 小牧廣尾間鐵道速成ニ關スル建議案(手代木隆吉君外一名提出)
 小牧廣尾間鐵道速成ニ關スル建議案 小牧廣尾間鐵道速成ニ關スル建議案 小牧廣尾間鐵道速成ニ關スル建議案 小牧廣尾間鐵道速成ニ關スル建議案

第二十四 京極紋籠間及京極壯督間鐵道速成ニ關スル建議案(手代木隆吉君外一名提出)
 京極紋籠間及京極壯督間鐵道速成ニ關スル建議案 京極紋籠間及京極壯督間鐵道速成ニ關スル建議案 京極紋籠間及京極壯督間鐵道速成ニ關スル建議案

〔手代木隆吉君登壇〕
 ○手代木隆吉君 簡單ニ提案ノ理由ヲ説明致シマス、本建議案ハ北海道膽振國、小牧、牧野カラ日高ノ浦河ヲ經テ十勝國廣尾ニ達スル所ノ百二十八哩ノ線路デアリマス、此線路ヲ要望スル所ノ建議デアリマス、本線路ノ沿線ハ北海道ニ於キマシテモ古カラ開クタ所デアリマスガ、從來交通ノ煩ク不便デアリマス、此沿線ニハ將來開拓スベキ所ノ土地ガ非常ニ多ク、又森林ニ富シキ材ノ搬出ガ將來頗ル多イコトガ豫想ザレルデアリマス、又荒地モ多ク之ガ開發ハ

同地方ノ發展ノ爲ニ最モ有力ナル基礎ヲナスモノデアリマス、又海岸ガ北海道ニ於キマシテモ最モ魚族ニ富シク方面デアリマシテ、此海田ノ開發ト云フコトモ亦非常ニ將來ノ事業ニナリテ居ルデアリマス、然ルニ此地方ノ交通ハ頗ル不便デアリ、先程申シタ通りデアリマスガ、殊ニ日高國、是ハ三百十万里ノ面積ヲ持テ居リマス、是ハ三未ダ一寸ノ國有鐵道ヲモ有シナイノデアリマス、斯ノ如ク一寸ノ國有鐵道モ持タヌヤウナ所ハ他ニ其例ヲ見ナイ所デアリマス、北海道ノ平均カラ申シマスト云フト、百方里ニ對シテ二十七哩以上ノ國有鐵道ヲ有シテ居ルデアリマス、ソレデアリマスカラ日高國ガケデモ、少クモ、八九十哩ノ鐵道ヲ持タナケレバナラヌ割合ニナリテ居ルデアリマス、ソレ程此地方ガ交通ノ上ニ待サレテ居ルノデアリマシテ、是非此點ニ付キマシテハ當局ノ十分ナル注意ヲ煩シクイト思フデアリマス、此鐵道ハ只今工事ノ進行中デアリマス、輪西カラ長萬部ニ通スル、所謂長輪線ノ開通ト相俟チマシテ、此線路ハ北海道ニ於ケル南部ノ交通機關ノ幹線ヲ爲スモノデアリマス、東部北海道カラ西部北海道ニ通ジ、内地ニ交通スル所ノ最モ短イ距離ニ在ルデアリマス、現在東部北海道ニハ常ニ百萬噸以上ノ荷貨ガアリ來益ニ增加スル所ノ貨物ノ運輸ガ付カ底ヲデアリマス、其上カラ見マシテモ是非此線ヲ速ニ建設シテ交通ヲ發達スルコトガ必要ナノデアリマス(拍手)モウ一ツ議題ニナリテ居リマス所ノ京極紋籠間及京極壯督間、此線路ニ付テ簡單ニ説明ヲ致シマス、此線路ハ今ノ長輪線ノ一驛デアル所ノ紋籠カラ函館線ノ京極ニ連絡スル所ノ四十六哩、ソレカラ京極カラ留壽都ヲ經テ壯督ニ至ル所ノ二十九哩ノ鐵道デアリマス、而モ此沿線ニハ將來開拓スベキ所ノ土地ガ非常ニ多ク、木材、鑛物、サウ云フモノニ非常ニ富シク居ル、北海道ニ於テ是非開發シナケレバナラス所ノ地方ニ在ルデアリマス、殊ニ此線路ハ室蘭ト小樽ヲ連絡スル所ノ最短期間ニ至ル、現在室蘭カラ岩見澤、札幌ヲ經テ小樽ニ至ル所ノ距離ハ百三十三哩一分ニナリテ居リマス、併シ此線路ニ依リマスト云フト九十四哩四分、差引三十八哩七分ノ短縮ガ出來ルノデアリマシテ、交通上最

モ便利ナル所ノ線デアリマス、一面是ガ將來北海道ノ軍事上ニ取テモ重要ナル路線ノ一ツニナルデアリマス、是モ前ト同ジヤウナ理由ニ依リマシテ速成ヲシテ、此地方ノ開發ニ資セラレンコトヲ要望スル者デアリマス、何卒御贊成ヲ願ヒマス(拍手)
 ○副議長(小泉又次郎君) 井本常任君
 ○井本常任君 本案ハ日程第十九議案ノ委員ト同一委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス
 (贊成) 贊成ト呼フ者アリ
 ○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、日程第二十五、速記ノ事項ヲ國定教科書ニ記載ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ求メマス
 黑住成章君
 第二十五 速記ノ事項ヲ國定教科書ニ記載ニ關スル建議案(作間耕逸君外二名提出)
 速記ノ事項ヲ國定教科書ニ記載ニ關スル建議案 速記ノ事項ヲ國定教科書ニ記載ニ關スル建議案 速記ノ事項ヲ國定教科書ニ記載ニ關スル建議案

日本速記術發明セラレテヨリ茲ニ四十有餘年帝國議會ヲ初メ公私各般ノ會議講演著述通信等ニ利用セラレ我カ國ノ文化貢獻スル所頗ル大ナルモノアリ、今ナラス將來之カ普及ニ依リテ益人ノ促進ニ資セルヘキハ論ヲ俟ツル所ナリ然ルニ速記ニ關スル一般ノ知見ニ至リテハ毫モ國民ノ間ニ周知セラレズ隨テ之ニ對スル理解ノ缺如セルハ頗ル遺憾トスル所ナリ仍テ國定教科書中ニ速記ニ關スル梗概ヲ記述セラレムコトヲ望ム
 右建議ス
 ○黑住成章君 社會ノ發達ニ伴ヒマシテ、一面速記ノ利用ガ益盛ニナリテ參リマシタ、仍テ今後一層國民ニ此速記ヲ普及セシメル目的ヲ以テマシテ、此速記ノ概念ノ國定教科書ニ加ヘラレンコトヲ要望スル建議デゴザイマス、委員會ニ於テ詳述致シマスカラ御贊成ヲ願ヒマス
 (贊成) 贊成ト呼フ者アリ
 ○副議長(小泉又次郎君) 井本常任君
 ○井本常任君 本案ハ山根儀重君外二名提出、教育ノ機會均等ニ關スル建議案外十二件ト同一委員ニ併セテ付託セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成) 贊成ト呼フ者アリ〕
 ○副議長(小泉又次郎君) 井本君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、作間耕逸君
 ○作間耕逸君 議事日程ノ順序變更ニ關スル緊急動議ヲ提出致シマス、即チ日程第四十七以下ノ建議案ノ委員長報告ヲ特ニ線上ダテ議題トナシ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
 (贊成) 贊成ト呼フ者アリ
 ○副議長(小泉又次郎君) 作間君ノ動議ニ御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、日程第四十七、酒類專賣ニ關スル建議案ヲ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長武内作平君、委員長ガ見エマセヌカラ一時後廻シニ致シマス、日程第四十八乃至第五十三ハ同一委員ニ付託セラレタル議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ
 (異議ナシ) 異議ナシト呼フ者アリ
 ○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第四十八、武道普及ニ關スル建議案、日程第四十九、高等師範學校設置ニ關スル建議案、日程第五十、青少年訓練實施ニ關スル建議案、日程第五十一、高等師範學校設置ニ關スル建議案、日程第五十二、鶴岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案、日程第五十三、少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案、一括議題ト致シ委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長荒川五郎君
 第四十八 武道普及ニ關スル建議案(田中善立君外一名提出) (委員長報告)
 報告書
 一 武道普及ニ關スル建議案(田中善立君外一名提出)
 右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候候此段及報告候也
 大正十四年二月十七日
 武道普及ニ關スル建議案委員長 荒川 五郎
 衆議院議長粕谷義三殿
 武道普及ニ關スル建議案
 政府ハ青少年ノ心身ヲ修養鍛鍊シテ實質健全ノ精神ヲ涵養スル爲メ武道ヲ小學校ノ教科目ニ加ヘ其ノ素地ヲ作り中等學校ニ於テハ速ニ之ヲ必須科トシ殊ニ師範學校

ニ於テハ一層其ノ程度ヲ高メ以テ其ノ普及及發達ニ力ヲ致サレムコトヲ望ム
右建議ス

第四十九 高等師範學校設置ニ關スル建議案(黒住成章君外二名提出)
委員長報告

報告書
一 高等師範學校設置ニ關スル建議案(黒住成章君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月五日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(黒住成章君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

第五十 青少年訓練實施ニ關スル建議案(田中萬逸君提出)
委員長報告

報告書
一 青少年訓練實施ニ關スル建議案(田中萬逸君提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月五日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(柳仲次郎君外六名提出) 委員長 荒川 五郎

第五十一 高等師範學校設置ニ關スル建議案(柳仲次郎君外六名提出)
委員長報告

報告書
一 高等師範學校設置ニ關スル建議案(柳仲次郎君外六名提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月五日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(柳仲次郎君外六名提出) 委員長 荒川 五郎

第五十二 鶴岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(齊藤眞三郎君提出)
委員長報告

報告書
一 鶴岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(齊藤眞三郎君提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月五日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(齊藤眞三郎君提出) 委員長 荒川 五郎

第五十三 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
委員長報告

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 鶴岡市ニ高等師範學校設置ニ關スル建議案(齊藤眞三郎君提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月五日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(齊藤眞三郎君提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

神ヲ普及セシメタイト云フニ在ルノデアリマス、委員會ハ建議ノ趣旨ヲ採リマシテ、報告申上ゲタヤウニ修正可決シマシタ、全會一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

國ニモ陸軍健兒ノ社ノ知キ既ニ其發達ノ基礎ハ在ルノデアリマシテ、是等ニ依テ此純粹無垢ナル少年ヨリ國民精神ヲ養成スルコトハ必要ナルカ、其事業ニ對シテ毎年十四年度ヨリ十箇年間十萬圓ヲ補助シテ實ヒタイト云フコトヲ決定シマシタ、更ニ手ヲ削テ速ニ云フコトヲ決定シマシテ、更ニ手代木君ヨリ毎年十萬圓ヲ十箇年ト云フノ「相當」ト云フコトニシタイト云フ説モ出マシタ、此兩説ヲ合シテ此年度及年限、金額ヲ削リ速ニ相當ノ上修正致シテ滿場一致可決致シマシタ、以上御報告申上ゲマス、(拍手)其中ニ付キマシテ武道普及ニ關シテハ坂井君ヨリ東京府ニ於ケル右武會ノ東京支部、東京中等學校剣道部員會ニ於テ、劍道ヲ何如ニ實施スベキカト云フ具體案ヲ坂井君ヨリ紹介セラレマシタ、是モ委員會ニ於テハ大ニ參考トナルコトヲ認メマシタガ、此場合時期ヲ省略スル爲ニ、此具體案ハ說明ヲ略シマシテ、議長ノ許可ヲ得テ速記録ニ掲載スルコトヲ許セラレシコトヲ望ミマス(拍手)

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

報告書
一 少年團日本聯盟事業助成ニ關スル建議案(山口義一君外二名提出)
右ハ本院ニ於テ別紙ノ通修正スヘキモノト議決致候此段及報告候也
大正十四年三月九日

衆議院議長柏谷義三殿
スル建議案(山口義一君外二名提出) 委員長 荒川 五郎

〔參照〕
劍道普及ニ關スル具體案
(一) 劍道(武道)ヲ中等學校ノ獨立必修科トナスコト
(二) 劍道(武道)ヲ小學校ニ正科トシテ課スルコト
(三) 青年團、在郷軍人團、少年團並ニ一般有志ニ武道ノ普及ヲ計ルコト
右具體案

目次
(一) 教師ノ養成法
一、中等學校
(イ) 速成法
(ロ) 普通養成法
(二) 設備
一、道場(教室)
(イ) 中等學校
(ロ) 小學校
(三) 青年團、在郷軍人團、少年團並ニ一般有志

一、中等學校
(イ) 速成法
(ロ) 普通養成法

一、中等學校
(イ) 速成法
(ロ) 普通養成法

一、中等學校
(イ) 速成法
(ロ) 普通養成法

一、中等學校
(イ) 速成法
(ロ) 普通養成法

一、中等學校
(イ) 速成法
(ロ) 普通養成法

一、中等學校
(イ) 速成法
(ロ) 普通養成法

一、中等學校
(イ) 速成法
(ロ) 普通養成法

二、用具

- (一)中等學校
- (二)小學校
- (三)青年團、在郷軍人團、少年團

(四)教授時間

(五)教材

(六)監督官

(七)速成法

(八)中等學校

支那省ハ各地地方長官ノ推薦セル優良ナル劍道教師ヲ體育研究所、東京高等師範學校ニ召集シ少クモ三週間講習スルコト

各府縣ハ支那省ノ講習ヲ受ケタル者ヲ講師トナシ各學校劍道教師若シハ體操教師ヲ少クモ三週間講習セシム

講習科目

劍道ノ目的及本質、劍道ノ國民教育上ニ於ケル位置、劍道教授法、劍道生理學、基本教授法、帝國劍道形、劍道理論、地稽古、試合法

(一)普通養成法

一、東京高等師範學校劍道科ノ收容人員ヲ増加シ毎年少クモ五十名以上ノ卒業生ヲ出スコト

(二)廣島高等師範學校ニ劍道科ヲ新設スルコト

一、京都私立武道專門學校ヘ支那省ヨリ補助ヲ與ヘ收容人員ヲ増加セシメ毎年少クモ八十名以上ノ卒業生ヲ出スコト

一、體育研究所、東京、廣島兩高等師範學校陸軍戸山學校、武道專門學校ニ二年度程度ノ臨時劍道教師養成科ヲ新設シ少クモ毎年各三十名以上ノ卒業生ヲ出スコト

一、陸軍戸山學校劍道科教官並ニ助教ニテ成績優良ナル者ニ中等教員(劍道)無試験檢定ノ資格ヲ附與スルコト

(注意)師範學校ニハ特ニ優秀ナル劍道教師ヲ配屬スルコト

二、小學校

(イ)各府縣ハ支那省ノ講習ヲ受ケタル者及ヒ優秀ナル劍道教師ヲ講師トナシ、各郡市、視學及小學教師中劍道ニ比較的優秀ナルモノヲ各郡市ヨリ召集シテ少クモ二週間ノ講習ヲ行フコト

各郡市ハ府縣講習ヲ受ケタル者及ヒ優秀ナル劍道教師ヲ講師トナシ各小學校ヨリ一名又ハ二名ヲ召集シ少クモ二週間ノ講習ヲ行フコト

各町村ハ郡市講習ヲ受ケタル者及ヒ優秀ナル劍道教師ヲ講師トナシ尋常四年以上受持(男)ノ教師全部ヲ召集シテ少クモ二週間講習ヲ行フコト

(一)普通養成法

師範學校劍道科ノ程度ヲ高メ卒業生ハ少クモ段外二級以上ノ技術ヲ具ヘシメ其教授法ニ精通シタル者トナス

三、青年團、在郷軍人團、少年團並ニ一般有志

警察署教師、中等學校教師並ニ私設道場教師ノ中ヨリ人物、技術共ニ優秀ナル人物ヘ囑託ス

(一)中等學校

講堂、雨天體操場又ハ控所ヲ使用スルコト

(二)小學校

若シ經費カ許セハ獨立セル道場ヲ建設スルコト

(三)青年團、在郷軍人團、少年團並ニ一般有志

警察署道場、小學校教室又ハ私設道場以上ノ如クスレハ設備ニ對シテ經費ヲ要セス

二、用具

(一)中等學校

- 一、竹刀、稽古衣及袴、自辨
- 一、防具學校又ハ校友會ノ備品トス

(二)小學校

一、木刀六十本學校備品

(三)青年團、在郷軍人、少年團並ニ一般有志

一、竹刀、稽古衣、袴自辨

一、防具ハ使用道場所管者ト團トノ共同負擔

(三)教授時間

(一)中等學校

師範學校ハ每週三時間各學年共課ス其他ノ中等學校ハ少クトモ二時間各學年共課ス

(二)小學校

尋常科五、六年及ヒ高等科一、二年ニハ少クトモ每週一時間ヲ課スルコト

(四)教材

(一)中等學校

- 正面、籠手、右衛、喉ヲ擊突スル徒手基本動作、執刀基本動作、對敵基本動作、道リ著用基本動作、對敵執刀應用動作、道具著用應用動作、形、精神講話、稽古、試合、準備及終末動作

(二)小學校

尋常五年徒手基本動作、執刀基本動作

(三)青年團、在郷軍人、少年團並ニ一般有志

尋常六年、執刀基本動作及對敵執刀基本動作

(四)教授法

高等科一年對敵執刀基本動作、對敵執刀應用動作

(五)中等學校

尋常六年以上ノ希望者ニシテ教師ノ適當ト認メタルモノニ道具ヲ著ケテ基本動作、互格試合ヲ課ス

(一)中等學校

生徒ノ心身ノ發育及ヒ技術ノ進歩ニ伴ヒ教授シ、最初ハ愛護ノ觀念ヲ以テシテ次ニ發育ノ觀念ニ移リ最後ニ鍛練ニ移リ、鍛練ニ移ル時期ハ師範學校本科二年以上中等學校ハ三年以上徒手ニテ十分ニ正シキ姿勢、執刀ノ理合、足ノ運用等ヲ練習セシメ餘リ意識ヲ用ヒスニ確實ニ行ヘルニ至ラハ木刀又ハ竹刀ヲ持タセ

徒手ノ時ノ要領以外ニ刀ヲ持ツテ行フ注意ヲ與ヘテ練習セシム、刀ヲ持テ確實ニ行ヘルニ至ラハ教師カ敵トナテ對敵ノ觀念ヲ與ヘ加フルニ動作ノ迅速機敏ヲ要求スル然ル後テ互格動作ヲ行ハシム

以上小學校

(一)監督官

對敵基本動作ニ依ッテ正確ナル姿勢、確實ナル擊突、充實セル氣合ヲ會得セシメ次ニ道具ニ就テノ智識ヲ與ヘ、道具著用シテ更ニ基本動作ヲ課ス之ニ熟練スルニ至タリ應用動作ヲ課ス、應用動作ニ習熟セハ互格稽古ニ移リ次ニ試合ヲ行フ

(二)講習官

支那省ニ劍道監督官ヲ置キ各府縣ヲ巡視シ之ヲ指導監督ス

(三)青年團、在郷軍人團、少年團並ニ一般有志

支那省ニ劍道指導員ヲ置キ各郡市ヲ巡視シ之ヲ指導監督ス

(四)講習官

支那省ニ劍道講習官ヲ置キ各府縣ヲ巡視シ之ヲ指導監督ス

(五)講習官

支那省ニ劍道講習官ヲ置キ各府縣ヲ巡視シ之ヲ指導監督ス

(六)講習官

支那省ニ劍道講習官ヲ置キ各府縣ヲ巡視シ之ヲ指導監督ス

(七)講習官

支那省ニ劍道講習官ヲ置キ各府縣ヲ巡視シ之ヲ指導監督ス

(八)講習官

支那省ニ劍道講習官ヲ置キ各府縣ヲ巡視シ之ヲ指導監督ス

(九)講習官

支那省ニ劍道講習官ヲ置キ各府縣ヲ巡視シ之ヲ指導監督ス